

平成 20 年度厚生労働省 老人保健健康増進等事業

認知症介護指導者の安定的な確保と
効果的な活動のあり方に関する研究事業

報 告 書

平成 21 年 3 月

社会福祉法人 浴 風 会

認知症介護研究・研修東京センター

はじめに

認知症介護の質の向上を目指して、平成13年度より国の認知症介護研修事業として認知症介護実践研修（実践者研修ならびに実践リーダー研修、ただし、平成16年度までは認知症介護実務者研修基礎課程・専門課程）が実施されてきた。この研修は地域密着型サービスを行う際の介護保険事業者の指定要件にもなっている。この認知症介護実践研修の企画・運営、さらに地域における認知症介護のスーパーバイザーとしての役割を担う人材、すなわち認知症介護指導者を養成するために、同じく平成13年度より認知症介護指導者養成研修が行われてきたが、平成19年度までに認知症介護指導者の人数が1000人を上回った。このような背景を踏まえるとともに、今後も認知症の利用者が日本において増加し続けていくこと、認知症介護のサービス形態の多様化や認知症介護におけるさまざまな課題が山積していることを鑑みると、各都道府県政令市には今後も認知症介護指導者を安定的に確保していくことと認知症介護指導者の効果的な活用が求められる。

そこで、本研究事業では、①認知症介護指導者が企画・運営している認知症介護実践研修（実践者研修ならびに実践リーダー研修）の効果の検証を行うこと、②各都道府県政令市が認知症介護指導者を安定的に確保できるための、認知症介護指導者養成研修における効果的なカリキュラム開発をすること、③認知症介護における現状と課題を適切に把握し、それらの解決を目指して認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発を行うことを目的とする。

認知症介護指導者の安定的な確保と
効果的な活動のあり方に関する研究事業 報告書 目次

はじめに

下部研究

認知症介護実践者研修の効果の検証	1
------------------	---

第1章 研究の枠組み	1
第2章 研究結果	2
第3章 考察	11
図表	15

下部研究 2

認知症介護指導者の安定的な確保のための効果的な研修カリキュラムの開発	83
------------------------------------	----

第1章 認知症介護指導者養成研修新カリキュラムの作成	83
第2章 認知症介護実践研修等事業都道府県等担当者研修会	86

下部研究 3

これからの認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発	93
-------------------------------	----

第1章 b e i n g ブロック会視察	93
第2章 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修	95

巻末資料	105
実践研修効果測定調査票	107

委員名簿	134
------	-----

下部研究 1 認知症介護実践者研修の効果の検証

第1章 研究の枠組み

第1節 背景と目的

認知症介護の質の向上を目指して、平成13年度より国の認知症介護研修事業として認知症介護実践研修（実践者研修ならびに実践リーダー研修、ただし、平成16年度までは認知症介護実務者研修基礎課程・専門課程）が実施されてきた。認知症介護実践研修は、全国3か所（東京・仙台・大府）に設置されている認知症介護研究・研修センターにおいて実施する認知症介護指導者養成研修を修了した認知症介護指導者を中心に運営されている。本事業では、認知症介護実践研修を修了した介護従事者について、実践研修受講後の学びの評価を行い、もって実践者研修・実践リーダー研修の効果を検証することを目的とした。

第2節 研究方法

1. 調査方法

東京・仙台・大府センターが担当する地域からそれぞれ4地域ずつ、合計12地域を選定し、研究協力依頼を行った。研究に協力の得られた地域において実践研修を修了した者のうち、平成19年度及び平成20年度に研修を修了した者を対象に、郵送法によりアンケート調査を実施した。調査票は、当該地域において平成19年度及び平成20年度に研修を修了した者全員に送付した。調査票は、実践研修の標準的カリキュラムにおいて設定されている各単元のねらいを参考に研修の効果を測定するための評価項目を作成し、それらの項目について研修修了後「意識できるようになったか」「考えられるようになったか」を問う内容とした。また、同時に自由記述により、「実践研修での学びを現場でどのように活用しているか」「さらに学びを活かすためにはどうすればいいか」「現場で困っているケース」などについて回答を求めた。回答者の属性としては、「認知症介護の経験年数」「所属施設・事業所のサービス種別」「所持資格」「職位」「実践研修を知ったきっかけ」「実践研修の受講理由」「受講後の職位の変化」「自施設・事業所における実践研修修了者の有無」「自施設・事業所での研修の実施状況」「外部研修の受講状況」「所属学会」「今後さらに研修を受講したいか」などについて回答を求めた（＊調査票は

照)。調査期間は、平成 21 年 1 月 27 日（火）～平成 21 年 2 月 17 日（火）とし、調査票が本人以外に開封されると、回答結果に大きく影響することが予測されたため、調査票を郵送した封筒には本人が開封する旨を表記した。回収率を高めるために、期間中、調査票の返送を求めるはがきを対象者全員に郵送した。

第2章 研究結果

第1節 調査票の発送数と回収率

調査に協力の得られた地域は、川崎市、群馬県、新潟県、熊本県、北海道、福島県、島根県、愛媛県、京都市、滋賀県、長野県の合計 11 地域であった。各地域への調査票の発送数を表 1-1 に示す。また、各調査票の回収数及び回収率を表 1-2 に示す。

表 1-1 調査票発送件数

都道府県政令市	リーダー研修	実践者研修
川崎市	20	113
群馬県	32	647
新潟県	14	339
熊本県	101	522
北海道	60	1051
福島県	58	675
島根県	54	311
愛媛県	47	419
京都市	23	347
滋賀県	28	290
長野県	51	400
計	488	5114

表 1-2 調査票回収数と回収率

	リーダー研修			実践者研修		
	発送件数	入力件数	回収率	発送件数	入力件数	回収率
計	488	298	61.0	5114	2778	54.3

第2節 調査結果

1. 回答者の属性等について

1) 認知症介護の経験年数（表 1-3、表 1-4）

回答者の認知症介護の経験年数について5年刻みで示した。実践者研修修了者を対象としたアンケートの回答者（以下、実践者研修編回答者）は、5年以上10年未満が最も多く1314名（47.3%）であった。また、認知症介護の経験年数の平均は7.3年であった。リーダー研修修了者を対象としたアンケートの回答者（以下、リーダー研修編回答者）も、5年以上10年未満が最も多く、147名（49.3%）であった。また、リーダー研修編回答者の認知症介護の経験年数の平均は9.3年であった。

2) 回答者の所属施設種別（表1-5、表1-6）

実践者研修編回答者の所属施設種別は、グループホーム（1068名、38.4%）が最も多く、デイサービス・デイケア（461名、16.6%）、特別養護老人ホーム（349名、12.6%）、小規模多機能型居宅介護支援事業所（221名、8.0%）、老人保健施設（208名、7.5%）などであった。リーダー研修編回答者の所属施設種別は、同じくグループホーム（142名、47.7%）が最も多く、特別養護老人ホーム（38名、12.8%）、老人保健施設（37名、12.4%）、デイサービス・デイケア（36名、12.1%）などであった。

3) 回答者の所持資格（表1-7、表1-8）【複数回答】

実践者研修編回答者が最も多く所持していた資格は、介護福祉士（1769名、63.7%）であり、次いでホームヘルパー（1307名、47.0%）、介護支援専門員（1031名、47.0%）であった。一方、リーダー研修編回答者が、最も多く所持していた資格は、同じく介護福祉士（210名、70.5%）であり、介護支援専門員（152名、51.0%）、ホームヘルパー（116名、38.9%）と続いていた。

4) 回答者の職位（表1-9、表1-10）

実践者研修編回答者の職位は、管理者が662名（23.8%）、リーダー・サブリーダーが1259名（45.3%）、一般職員が781名（28.1%）であり、リーダー・サブリーダーの立場での受講者が最も多かった。リーダー研修編回答者の職位は、管理者が129名（43.3%）であり、リーダー・サブリーダーが137名（46.0%）、一般職員が30名（10.1%）と実践者研修編回答者に比べ、リーダー研修編回答者の方が管理者の比率が高かった。

5) 実践研修を知った方法・受講のきっかけ・受講理由（表 1－11～表 1－16）

実践者研修編回答者の実践研修を知った方法は、上司から伝達された者が最も多く 1992 名（71.7%）であった。次いで職場での掲示・回覧によって知った者 238 名（8.6%）、研修を受講した同僚から知った者が 212 名（7.6%）であった。リーダー研修編回答者の実践研修を知った方法は、上司から伝達されたものが最も多く、134 名（45.0%）であり、実践者研修の受講により知った者が 71 名（23.8%）、行政の受講者募集から知った者が 38 名（12.8%）となっており、実践者研修編回答者と比較して、上司から伝達された者の割合が低かった。

また、実践研修の受講のきっかけは、実践者研修編回答者については、施設・事業所の指示による受講と回答した者が 2194 名（79.0%）であり、自ら希望して受講と回答した者が 560 名（20.2%）であった。一方、リーダー研修編回答者の受講のきっかけは、施設事業所の指示による受講と回答した者が 160 名（53.7%）であり、自ら希望して受講と回答した者が 136 名（45.6%）であった。

さらに、実践研修の受講理由は、実践者研修編回答者については、認知症介護に関する知識・技術の向上のためと回答した者が最も多く 2162 名（77.8%）であり、次いで自施設・事業所の認知症介護の質向上のためと回答した者が、1687 名（60.7%）であった。また、上司からの指示があったためと回答した者は 731 名（26.3%）、地域密着型サービスの指定要件を満たすためという理由で受講したと回答した者は 630 名（22.7%）であった。一方、リーダー研修編回答者については、認知症介護に関する知識・技術の向上のためと回答した者が最も多く 252 名（84.6%）であり、次いでリーダーとしての知識・技術の向上のためと回答した者が 209 名（70.1%）であった。上司からの指示があったためと回答した者は、32 名（10.7%）、ショートステイ利用のための要件を満たすためと回答した者は 52 名（17.4%）であった。

6) 学んだことを職場にどのように伝えたか（表 1－17、表 1－18）
【複数回答】

実践研修で学んだことを職場にどのように伝えたかについては、レポート

や報告書等文書で伝えた（1886 名、67.9%）、カンファレンスやミーティングなどで伝えた（1653 名、59.5%）、日々の業務の中で個別に伝えた（1511 名、54.4%）などがあった。伝達研修により伝えたと回答した者は 711 名（25.6%）、学んだ内容は伝えていないと回答した者は 42 名（1.5%）であった。リーダー研修編回答者については、カンファレンスやミーティングなどで伝えた者が最も多く、215 名（72.1%）、レポートや報告書等文書で伝えた者が 212 名（71.1%）、日々の業務の中で個別に伝えた者が 165 名（55.4%）であった。伝達研修により伝えた者は 118 名（39.6%）、学んだ内容を伝えていない者は、3 名（1.0%）であった。

7) 受講後の職位の変化（表 1－19、表 1－20）

受講後の職位の変化は、実践者研修編回答者については、職位が上がった者が 439 名（15.8%）、職位の変化がない者が 2203 名（79.3%）であり、リーダー研修編回答者については、職位が上がった者が 29 名（9.7%）、職位の変化のない者が、259 名（86.9%）であった。実践者研修編回答者の方が職位が上がった者の比率が高かった。

8) 実践研修修了者等の有無（表 1－21～表 1－26）

所属施設・事業所の実践者研修修了者の有無は、実践者研修編回答者については、2372 名（85.4%）、リーダー研修編回答者については、269 名（90.3%）がいると回答していた。また、所属施設・事業所のリーダー研修修了者は、実践者研修編回答者については、1428 名（51.4%）、リーダー研修編回答者については、155 名（52.0%）がいると回答していた。さらに所属施設・事業所の指導者養成研修修了者は、実践者研修編回答者については、731 名（26.3%）、リーダー研修編回答者については、63 名（21.1%）がいると回答していた。

9) 回答者の所属施設・事業所での集合研修の実施状況（表 1－27～表 1－36）

所属施設・事業所における集合研修の実施状況については、実践者研修編回答者の所属施設のうち 1443 施設（51.9%）の施設で集合研修を実施しており、集合研修を実施している施設の実践者研修編回答者のうち 314 名（21.8%）

が研修を企画し、306名（21.1%）が研修の講師を担当していた。また、1289名（89.3%）が集合研修を受講していた。集合研修の受講回数は、1回～5回が822名（63.8%）であり、6回～10回が301名（23.4%）であった。実践者研修編回答者の所属施設・事業所のうち集合研修を実施している施設・事業所での集合研修の受講回数の平均は、5.2回であった。受講した研修の種類として最も多いのは、認知症の知識に関する講義であり、690名（53.5%）が回答しており、次いで、介護事例検討会が472名（36.6%）、さらに身体介護技術指導・研修で、420名（32.6%）などが続いていた。

一方、リーダー研修編回答者の所属施設のうち227施設（76.2%）の施設で集合研修を実施しており、集合研修を実施している施設のリーダー研修編回答者のうち42名（18.5%）が研修を企画し、109名（48.0%）が研修の講師を担当していた。また222名（74.5%）が集合研修を受講していた。集合研修の受講回数は、1回～5回が107名（48.2%）であり、6回～10回が65名（29.3%）であった。リーダー研修編回答者の所属施設・事業所のうち集合研修を実施している施設・事業所での集合研修の受講回数の平均は、7.3回で実践者研修編回答者より多かった。受講した研修の種類として最も多いのは、認知症の知識に関する講義であり、136名（61.3%）が回答しており、次いで、介護事例検討会が88名（39.6%）、さらに身体拘束防止で、80名（36.0%）などが続いていた。

10) 回答者の外部研修の受講状況（表1－37～表1－42）

外部研修は、実践者研修編回答者については、1376名（49.5%）が受講たと回答し、リーダー研修編回答者については、202名（67.8%）が受講したと回答した。これら外部研修受講者の平均受講回数は、実践者研修編回答者については、2.9回、リーダー研修編回答者については4.0回であった。さらに受講した研修の内容は、実践者研修編回答者については、認知症に関する講義が最も多く655名が回答しており、次いで介護事例検討会が339名（24.6%）、さらにケアマネジメントに関する研修314名（22.8%）であった。リーダー研修編回答者については、認知症に関する講義が最も多く118名（58.4%）が回答しており、次いで介護事例検討会67名（33.2%）、さらにケアマネジメント57名（28.2%）であった。

1 1) 回答者の所属施設・事業所における個別研修の実施状況（表 1 - 4 3 ～表 1 - 4 8）

回答者の所属施設・事業所における個別研修を行う仕組みの有無について尋ねたところ、実践者研修編回答者については、714 名（25.7%）、リーダー研修編回答者については、91 名（30.5%）から個別研修を行う仕組みがあるという回答が得られた。また、個別研修を担当したかについては、実践者研修編回答者については、313 名（11.3%）、リーダー研修編回答者については、70 名（23.5%）から担当したという回答が得られた。また、個別研修を受けたかどうかについては、実践者研修編回答者については、268 名（9.6%）、リーダー研修編回答者については、25 名（8.4%）から指導を受けたという回答が得られた。

1 2) 学会への所属（表 1 - 4 7、表 1 - 4 8）

学会への所属の有無を尋ねたところ、実践者研修編回答者については、197 名（7.1%）が自分の職務に関連する学会に研修受講前から所属しており、29 名（1.0%）が、実践者研修修了後学会に所属した。一方、リーダー研修編回答者については、43 名（14.4%）が研修受講前から学会に所属しており、研修修了後に学会に所属したと回答した者は、18 名（6.0%）であった。

1 3) 今後の実践者等養成事業で実施される研修への参加意欲
（表 1 - 5 1、表 1 - 5 2）

実践者研修編回答者には今後リーダー研修を受講したいか、リーダー研修編回答者には今後、指導者養成研修を受講したいかを尋ねた。結果、実践者研修編回答者については、512 名（18.4%）が必ず受講したいと回答し、1799 名（64.8%）が、出来れば受講したいと回答した。これらを合わせると 2311 名（83.1%）の回答者が今後リーダー研修を受講したいと答えた。

また、リーダー研修編回答者については、58 名（19.5%）が必ず受講したいと回答し、143 名（48.0%）ができれば受講したいと回答した。これらを合わせると、67.4%の回答者が今後、指導者養成研修を受講したいと答えた。

1 4) リーダー研修修了者を対象とした項目（表 1 - 5 3 ～表 1 - 5 7）

リーダー研修編回答者に対し、リーダーの属性に関する質問を行った。回

答者のリーダーとしての経験年数の平均は 4.6 年であり、5 年刻みで集計したところ、5 年未満が最も多く、148 名（49.7%）であった。

実践者研修の受講経験を尋ねたところ受講した者は 294 名であり、98.7% が実践者研修を受講したと回答した。また、研修の受講年度は、平成 16 年～18 年度に受講した者が最も多く、174 名（58.6%）であった。また、所属施設に教育担当者が位置づけられているかという設問に対しては、154 名（51.7%）が位置づけられていると回答し、それらの中で自分自身が教育担当者として位置付けられていると回答した者は、100 名（64.9%）であった。リーダー研修編回答者の約半数が所属する施設事業所で教育担当の職員が位置づけられており、その中の半数は自分自身が教育担当者であった。

2. 質問 1 の回答結果の加重平均とクロス集計（実践者研修）

1) 質問 1 の加重平均結果（図 1-1、図 1-2）

質問 1 では、実践者研修編回答者、リーダー研修編回答者に対し、それぞれの研修を受講することにより、厚生労働省により示されている実践研修の標準的カリキュラムのねらいにおいて設定されている学習内容について、どの程度意識できるようになったか、どの程度考えられるようになったかを訊ねた。ほとんど意識できる（考えられる）ようにならなかったを 0 点、少し意識できる（考えられる）ようになったを 1 点、だいたい意識できる（考えられる）ようになったを 2 点、かなり意識できる（考えられる）ようになったを 3 点とし、各設問の加重平均を算出したところ、図 1-1、図 1-2 のような結果となった。意識できるようになった項目の上位 5 項目を挙げると、「職員の不適切な対応によって認知症の人が不安になっていないか意識する（2.57 点）」「自分の介護が認知症の人を虐待・拘束することになっていないか意識する（2.50 点）」「他の職員の意見考えを聞くことを意識する（2.45 点）」「自分自身がチームの一員として力を発揮しようと意識する（2.41 点）」「認知症介護において、自分と認知症の人との間で交わしている言語的コミュニケーションを意識する（2.35 点）」であった。また、加重平均が 2 点を割った項目は、「認知症の人の家族成員、一人ひとりが抱えている課題を意識する（1.99 点）」「一人ひとりの認知症の人の生活がよりよいものになるように地域社会に働きかけることの大切さを意識する（1.85 点）」「認知症の人の生活の質向上のための援助者として認知症の人、家族、

地域住民等と対人関係を持つことができているかを意識する(1.83点)」「地域社会が認知症の人に与えている影響を意識する(1.73点)」であった。

リーダー研修編回答者の加重平均の上位5項目を挙げると「自施設・事業所の認知症介護にどのような課題があるのかを考える(2.31点)」「職員が所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識できるためにはリーダーとしてどうしたらよいかを考える(2.22点)」「職員の人材育成に取り組むために、リーダーとしてどうしたらよいかを考える(2.16点)」「職員の意欲や動機付けを高めるためにカンファレンスにおいてリーダーとしてどうしたらよいかを考える(2.14点)」「自分の施設・事業所で効果的なチームケアを行っていくためには、リーダーとしてどう行動したら良いのかを考える(2.14点)」となった。

また、加重平均の下位5項目を挙げると、「自施設・事業所で認知症介護の質向上を目指し、OJT(日常業務を通じての研修)を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える(1.97点)」「職員が自分認知症介護の理念を意識しているか考える(1.92点)」「スーパービジョンやコーチング」を適切に行っていくためにリーダーとしてどう行動したら良いのかを考える(1.91点)」「自施設・事業所を利用する認知症の人の支援において地域資源を適切に活用するためにリーダーとしてどうしたら良いのかを考える(1.72点)」「自施設・事業所で認知症介護の質向上を目指し、Off-JT(勤務を離れた教育の場での研修)を行うときにリーダーとしてどうしたら良いのか考える(1.70点)」などが挙げられた。

2) 質問1において「実践研修を受講する前から意識できる(考えられる)」と回答した者の割合(図1-4-1、図1-4-2、図1-5)

質問1の各項目において、「研修を受講する前から意識できる(考えられる)」と回答した者の割合を図1-4-1、図1-4-2、図1-5に示した。実践者研修編回答者の中で受講前から意識できている割合が多かった項目の上位5項目を挙げると「自分の介護が認知症の人を虐待・拘束することになっていないか意識する(24.0%)」「他の職員の意見・考えを聴くことを意識する(19.6%)」「職員の不適切な対応によって認知症の人が不安になっていないか意識する(17.2%)」「自分自身がチームの一員として力を発揮しよう意識する(16.8%)」「認知症介護において、自分は「認知症の人本人」

でも「家族」でもなく、あくまで認知症の人の生活の質向上のための援助者であることを意識する（15.9%）」が挙げた。

リーダー研修編回答者の中で受講前から意識できている割合が高かった項目の上位5項目を挙げると、「職員が自分の認知症介護の理念を意識しているかどうかを考える（10.4%）」「職員の人材育成に取り組むために、リーダーとしてどうしたらよいのかを考える（10.1%）」「自施設・事業所の認知症介護にどのような課題があるのかを考える（10.1%）」「職員が、所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識しているかどうかを考える（9.7%）」「認知症の人の家族を支援するためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（9.7%）」などが挙げた。

受講前から意識できているという回答の割合が低かった項目は、実践者研修編回答者については、「自分の施設・事業所の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか意識する（5.7%）」「一人一人の認知症の人の生活がよりよいものになるように地域社会に働きかけることの大切さを意識する（5.1%）」「自分の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか意識する（4.9%）」「地域社会が一人一人の認知症の人の生活に与えている影響を意識する（4.7%）」「認知症の人の生活の質を高めるために、自分の認知症介護にどのような課題があるのかを意識する（4.7%）」などであった。リーダー研修編回答者については、「自施設・事業所の認知症介護の課題を克服するためにはリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（6.4%）」「自施設・事業所を利用する認知症の人の支援において地域資源を適切に活用するためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（6.0%）」「自施設・事業所で認知症介護の質向上をめざし、Off-JT（勤務を離れた教育の場での研修）を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（6.0%）」「自施設・事業所で認知症介護の質向上をめざし、OJT（日常業務を通じての研修）を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（5.7%）」「スーパービジョンやコーチングを適切に行っていくためにリーダーとしてどう行動したらよいのかを考える（5.4%）」などが挙げた。

3) 質問1において「実践研修の効果かどうか分からない」と回答した者の割合

実践者研修編回答者について「実践研修の効果かどうか分からない」と回

答した割合が最も高かった設問は「地域社会が一人一人の認知症の人の生活に与えている影響を意識する（3.1%）」であり、最も低かった項目は「中核症状によって一人一人の認知症の人がどのような思いをしているかを意識する（0.9%）」「自施設・事業所での認知症の人の介護において、一人一人の利用者の中核症状を意識する（0.9%）」であった。リーダー研修編回答者について最も割合が高かったのは「職員の意欲や動機付けを高めるためにカンファレンスにおいてリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（2.3%）」であり、最も低かった項目は「自施設・事業所の認知症介護の課題を克服するためにはリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（0.0%）」であった。

4) 質問1のクロス集計結果(表1-58～表1-105)

質問1について、属性ごとにクロス集計を行った。実践者研修に関する質問項目は表1-58～表1-89であり、リーダー研修に関する質問項目は表1-90～表1-105である。クロス集計に用いた属性は「認知症介護の経験年数」「職位」「研修の受講のきっかけ」「研修受講後の職位の変化」「平成20年度の集合研修の実施状況」「平成20年度の外部研修の受講状況」「平成20年度の個別研修の実施状況」「今後の実践者等養成事業における研修の受講希望」であった。

第3章 考察

第1節 回収率について

本調査は、半数以上の対象者から回答を得られた。(実践者：54.3%、リーダー：61.0%) 同様の調査の中では比較的高い回収率であった。ただし、回答していない者が4割存在し、調査結果を読み解く際には注意が必要となる。今後、全国の実践研修修了者の属性について明らかにし、それらと比較して今回の回収結果の代表性について検討する必要がある。

第2節 回答者の属性について

本調査の回答者は、実践者研修編回答者で経験年数が平均7.3年、リーダー研修編回答者で9.3年であり、職位としては実践者では7割、リーダーでは9割が主任以上の職位であり、現場の認知症介護実践のリーダー的な役割を担っている者が中心であった。受講のきっかけは実践者で約2割実践リー

ダーで4割5分の回答者が自ら希望して受講しているが、実践研修の受講理由をみると認知症介護に関する知識・技術の習得のため、自施設・事業所の認知症介護の質向上のため等を受講の理由と回答している者も多く、上司からの指示、サービスの指定要件を満たすためという回答が2割～1割であることを考えると、きっかけが施設・事業所の指示であっても、実践研修の受講の中で意欲を持って学ぶ姿勢を形成していることが伺える。

職場の状況としては、実践者等養成研修事業について回答者以外に受講者の派遣経験がある施設・事業所がほとんどを占めていた。また、回答者は、集合研修や外部研修などによって、施設内外でのOff-JTの受講機会を確保できている状況であった。ただし、個別研修を行う仕組みの有無については、仕組みのある施設・事業所が3割程度にとどまっており、外部研修等の研修機会は積極的に設けているものの、Off-JTでの学びを現場での実践に結びつける仕組みが十分整っていない施設・事業所が多い可能性が示唆される。

第3節 実践研修等事業の成果について

1. 実践研修における学びの主観的評価と学習意欲

実践研修の單元ごとのねらいについて、意識できるようになったか、または考えられるようになったかを尋ねた質問1の評価項目の加重平均は、実践者研修修了者、リーダー研修修了者とも、ほとんどの項目で2点を超えており、実践研修による能力向上について、高い自己評価が得られていることが確認された。また、「研修の効果であるかどうか判断できない」と回答する者も最大でも3.1%と極めて少なく、ほぼすべての修了者が学びの成果を実践研修と結び付けていた。さらに質問1の各設問について「研修を受講する前からできている」との回答が、実践者研修では24%～4.7%であり、リーダー研修では10.4%～5.4%となっており、実践研修で提供されている学習内容は、対象者にとって未習得の知識や技術であることが確認された。本調査は研修を終えてから2年～数カ月後に行っている調査であり、これらの回答が研修後実際に現場での実践を行った上での評価であることを合わせて考えると、実践者研修、実践リーダー研修とも受講対象者の能力の向上に大きく寄与していることが示唆される。実践者研修修了者、リーダー研修修了者とも次のステップとしてのリーダー研修、指導者研修の受講に意欲を示している回答者が多く、継続的学習の意欲が高いことから受講者が自己の

能力向上を実感していることが推測できる。

2. 自己評価の高い学習内容と自己評価の低い学習内容

質問1について回答を得点化して平均を出したところ、実践者研修編回答者は、認知症者の立場に対する意識やチームアプローチに関連する意識などの項目が、加重平均の得点が高く、それらと比較すると家族支援や地域社会とのつながりに関する項目が低い得点となった。実践者研修は単なる知識の伝達ではなく、グループワークや実際の体験を通しての学びの形態を採用しており、そのことが認知症者に対する介護技術の向上にとどまらず、チームアプローチやコミュニケーションなどを含めた幅広く実践的な技術習得につながっていると考えられる。家族支援や地域社会とのつながりに関する内容は、施設種別や職位により直接的にかかわれない回答者がいたため低い評価となったも可能性があるが、実践研修で実施する講義の内容や方法についても見直す必要があるだろう。

一方、リーダー研修においては、自施設・事業所の課題や理念の意識化、カンファレンスにおける行動、チームケアにおけるリーダーシップなどチームアプローチや課題解決に関する評価の加重平均の得点が上位となり、職場内 Off-JT や地域資源の活用に関する内容について低い評価となった。「人材育成に取り組むためにリーダーとしてどうしたら良いか考える」という項目が 2.16 点（16 項目中、第 3 位）と平均値が上位であったのに対し、「OJT を行うためにどうしたら良いか考える」が 1.97 点（16 項目中、12 位）、「スーパービジョンやコーチングを適切に行っていくためにリーダーとしてどのようにしたらよいか考える」が 1.91 点（16 項目中、第 14 位）、「Off-JT を行うためにリーダーとしてどうしたら良いか考える」が 1.70 点（16 項目中、第 16 位）など、人材育成のための具体的行動に関する項目の平均値が低くなっていた。各項目のクロス集計の結果をみると、実践者研修編・リーダー研修編の回答者とも、おおむね職位が高く、集合研修や個別研修が実施されている方がそうでない場合よりも加重平均値が高い値を示していたことや個別研修の実施状況が 3 割程度であったことを考えると、Off-JT、OJT の教育システムに関与していない回答者の影響が反映されている可能性が示唆される。この点は今後の分析における課題としたい。

3. 受講の動機付けと学習効果

質問1について受講のきっかけによってクロス集計を行った結果、自ら希望して受講した回答者の方が各設問の評価が高い場合がほとんどであった。この結果は、学習内容について学んだとしても受講意欲が高いほど、その内容について意識でき、考えられるようになることを示唆している。実践研修は、地域密着型事業所の開設要件やグループホームでのショートステイの実施を行うための指定要件となっているため、これらの要件を満たすために上司の指示や施設の意向によって受講する場合がある。今回の調査においては、実践者研修編回答者の約8割、リーダー研修編回答者の約5割が施設・事業所の指示により受講していた。地域の認知症介護の質を一定のレベルで担保するために指定要件を位置付けることが必要となるが、一方で学習意欲を持った受講者が希望通りに学習の機会を得られるような体制作りをさらに進めていく必要があると言えるだろう。

第4節 今後の実践研修等事業の評価のあり方について

1. 本調査における調査票の有効性

本事業においては郵送による質問紙法を用いた調査により、実践研修修了者の研修修了後の学習成果の評価を行った。評価項目は、実践研修の標準的カリキュラムを基に作成しており、おおむね有効に機能したと考えられる。ただし、本調査は、あくまでも研修受講者の主観的評価を基にした調査となる。調査のコストに余裕があれば、研修修了者の上司・同僚による学習成果の評価等を並行して実施することにより、学習成果の評価としての調査の精度を高めることができるだろう。認知症高齢者は今後ますます増加することが予測され、それに応じて多くの専門職の学習を効果的に支援していく必要がある。認知症介護実践者等養成事業は、認知症介護の質向上のために中核となる事業であり、今後、本調査票を用いて全国の実践研修の効果評価を継続的に行うことにより、受講者の学習の成果を評価し、より効果的な研修の構築に向けた根拠とする必要がある。

2. 調査実施の際の留意点

調査票はおおむね有効に使用されたが、実施においていくつかの調整が必要な部分が明らかとなった。本調査は、今後各都道府県政令市により、継続

的に実施されることが望まれる。そのため本調査票を用いる場合の留意点について付記したい。

1) 調査票で用いる用語について

調査票に記載されていた「チューター」「プリセプター」といった用語の意味について問い合わせが入る場合があった。今後本調査の調査票を用いて地域で同様の調査を行う場合は、当該用語については、解説を調査票に掲載する方が望ましいだろう。

2) 質問 1 の回答方法について

本調査においては、各評価項目に対して、1. ほとんど意識できる（考えられる）ようにならなかった～4. かなり意識できる（考えられる）ようになったまでの 4 段階の評価に加え、「A 実践者（実践リーダー）研修を受講する前から意識できる（考えられる）」「B 意識できる（考えられる）ようになったか分からない」「C 実践者研修（リーダー研修）の効果であるかどうか分からない」を同時に尋ねる形式としたため、回答者が A、B、C と回答した場合には、研修受講によってどの程度できるようになったかを評価できなかった。今後、本調査を実施する場合は、1～4 の選択肢の回答欄と、A、B、C の選択肢の回答欄を、個別に設けることにより、さらに正確な評価ができると考えられる。

図表

表 1－3 認知症介護の経験年数（実践者）

	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	無回答	平均
度数	755	1314	677	32	7.3
%	27.2	47.3	24.4	1.2	

表 1－4 認知症介護の経験年数（リーダー）

	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上	無回答	平均
度数	26	147	86	27	11	1	9.3
%	8.7	49.3	28.9	9.1	3.7	0.3	

表 1－5 回答者の所属施設種別（実践者）

	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	病院	グループ ホーム	デイサービ ス・デイケア	訪問介護	訪問看護
度数	349	208	67	1068	461	119	10
%	12.6	7.5	2.4	38.4	16.6	4.3	0.4

	居宅介護 支援事業所	小規模多機 能型事業所	地域包括支 援センター	有料老人 ホーム	ケアハウ ス・養護老 人ホーム	宅老所	その他	無回答
度数	115	221	6	30	19	19	34	52
%	4.1	8.0	0.2	1.1	0.7	0.7	1.2	1.9

表 1－6 回答者の所属施設種別（リーダー）

	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	病院	グループ ホーム	デイサービ ス・デイケア	訪問介護	訪問看護
度数	38	37	6	142	36	5	2
%	12.8	12.4	2.0	47.7	12.1	1.7	0.7

	居宅介護 支援事業所	小規模多機 能事業所	地域包括支 援センター	有料 老人ホーム	ケアハウ ス・養護老 人ホーム	宅老所	その他	無回答
度数	4	14	1	1	2	1	3	6
%	1.3	4.7	0.3	0.3	0.7	0.3	1.0	2.0

表 1－7 回答者の所持資格（実践者）【複数回答】

	ホームヘルパー 1 級・2 級	介護福祉士	看護師	准看護師	社会福祉士	介護支援 専門員
度数	1307	1769	224	137	148	1031
%	47.0	63.7	8.1	4.9	5.3	37.1

	保健師	作業療法士	理学療法士	管理栄養 士・栄養士	その他	無回答
度数	13	4	5	31	420	72
%	0.5	0.1	0.2	1.1	15.1	2.6

表 1－8 回答者の所持資格（リーダー）【複数回答】

	ホームヘルパー 1 級・2 級	介護福祉士	看護師	准看護師	社会福祉士	介護支援 専門員
度数	116	210	38	14	14	152
%	38.9	70.5	12.8	4.7	4.7	51.0

	管理栄養士・ 栄養士	その他	無回答
度数	8	63	1
%	2.7	21.1	0.3

表 1－9 回答者の職位（実践者）

	施設・事業所の 管理者	リーダー サブリーダー	一般職員	その他	無回答
度数	662	1259	781	61	15
%	23.8	45.3	28.1	2.2	0.5

表 1－10 回答者の職位（リーダー）

	施設・事業所の 管理者	リーダー サブリーダー	一般職員	その他	無回答
度数	129	137	30	2	-
%	43.3	46.0	10.1	0.7	-

表 1－11 実践研修を知った方法（実践者）

	上司より	研修を受 講した同 僚から	職場外の 介護従事 者から	行政のホ ームペー ジから	職場での 掲示・回覧	事業者団 体・施設協 会から	専門職団 体から	その他	無回答
度数	1992	212	47	79	238	78	15	53	64
%	71.7	7.6	1.7	2.8	8.6	2.8	0.5	1.9	2.3

表 1－12 実践リーダー研修を知った方法（リーダー）

	上司より	実践者研修 の受講によ り知った	研修を受講 した同僚か ら	職場外の介 護従事者か ら	行政のホー ムページか ら	行政の受講 者募集の資 料から
度数	134	71	22	3	11	38
%	45.0	23.8	7.4	1.0	3.7	12.8

	事業者団体 ・施設協会 から	専門職団体 から	その他	無回答
度数	7	1	4	7
%	2.3	0.3	1.3	2.3

表 1－13 受講のきっかけ（実践者）

	施設・事業所 の指示により 受講した	自ら希望して 受講した	その他	無回答
度数	2194	560	14	10
%	79.0	20.2	0.5	0.4

表 1－14 受講のきっかけ（リーダー）

	施設・事業所 の指示により 受講した	自ら希望して 受講した	その他	無回答
度数	160	136	1	1
%	53.7	45.6	0.3	0.3

表 1-15 実践研修の受講理由（実践者）【複数回答】

	認知症介護に関する知識・技術の向上のため	認知症介護の専門性を持っていることを伝えるため	自施設・事業所の認知症介護の質向上のため	自施設・事業所の困難ケースの課題解決のため	地域密着型サービスの指定要件を満たすため	上司からの受講の指示	その他	無回答
度数	2162	200	1687	517	630	731	54	6
%	77.8	7.2	60.7	18.6	22.7	26.3	1.9	0.2

表 1-16 実践リーダー研修の受講理由（リーダー）【複数回答】

	認知症介護に関する知識・技術の向上のため	認知症介護の専門性を持っていることを伝えるため	認知症をもつ困難ケースの課題解決のため	リーダーとしての知識・技術の向上のため	ショートステイ利用のための要件を満たすため	上司からの受講の指示	その他	無回答
度数	252	31	102	209	52	32	14	-
%	84.6	10.4	34.2	70.1	17.4	10.7	4.7	-

表 1-17 学んだ内容をどのように伝えたか（実践者）【複数回答】

	レポートや報告書等文書で伝えた	カンファレンスやミーティングなどで伝えた	伝達研修により伝えた	日々の業務の中で個別に伝えた	学んだ内容は伝えていない	その他	無回答
度数	1886	1653	711	1511	42	54	5
%	67.9	59.5	25.6	54.4	1.5	1.9	0.2

表 1-18 学んだ内容をどのように伝えたか（リーダー）【複数回答】

	レポートや報告書等文書で伝えた	カンファレンスやミーティングなどで伝えた	伝達研修により伝えた	日々の業務の中で個別に伝えた	学んだ内容は伝えていない	その他	無回答
度数	212	215	118	165	3	14	1
%	71.1	72.1	39.6	55.4	1.0	4.7	0.3

表 1-19 受講後の職位の変化（実践者）

	職位が上がった	職位の変化はない	職位が下がった	比較できない	無回答
度数	439	2203	9	112	15
%	15.8	79.3	0.3	4.0	0.5

表 1-20 受講後の職位の変化（リーダー）

	職位が上がった	職位の変化はない	職位が下がった	比較できない	無回答
度数	29	259	3	5	2
%	9.7	86.9	1.0	1.7	0.7

表 1－2 1 所属施設・事業所の実践者研修の修了者の有無（実践者）

	いない	いる	分からない	無回答
度数	363	2372	33	10
%	13.1	85.4	1.2	0.4

表 1－2 2 所属施設・事業所の実践者研修の修了者の有無（リーダー）

	いない	いる	分からない	無回答
度数	26	269	1	2
%	8.7	90.3	0.3	0.7

表 1－2 3 所属施設・事業所の実践リーダー研修の修了者の有無（実践者）

	いない	いる	分からない	無回答
度数	1133	1428	181	36
%	40.8	51.4	6.5	1.3

表 1－2 4 所属施設・事業所の実践リーダー研修の修了者の有無（リーダー）

	いない	いる	分からない	無回答
度数	141	155	-	2
%	47.3	52.0	-	0.7

表 1－2 5 所属施設・事業所の指導者研修を受講した職員の有無（実践者）

	いない	いる	分からない	無回答
度数	1544	731	460	43
%	55.6	26.3	16.6	1.5

表 1－2 6 所属施設・事業所の指導者研修を受講した職員の有無（リーダー）

	いない	いる	分からない	無回答
度数	217	63	15	3
%	72.8	21.1	5.0	1.0

表 1－2 7 所属施設・事業所での平成 20 年度の集合研修の実施の有無（実践者）

	実施した	実施していない	わからない	無回答
度数	1443	877	422	36
%	51.9	31.6	15.2	1.3

表 1－2 8 所属施設・事業所での平成 20 年度の集合研修の実施の有無（リーダー）

	実施した	実施していない	わからない	無回答
度数	227	56	13	2
%	76.2	18.8	4.4	0.7

表 1－29 集合研修の企画・講師の担当をしたか(実践者)【複数回答】(n=1443)

	企画を担当した	講師を担当した	担当しなかった	無回答
度数	314	306	790	72
%	21.8	21.2	54.7	5.0

表 1－30 集合研修の企画・講師の担当をしたか(リーダー)【複数回答】
(n=227)

	企画を担当した	講師を担当した	担当しなかった	無回答
度数	42	109	74	10
%	18.5	48.0	32.6	4.4

表 1－31 自施設・事業所の実施する集合研修を受講したか(n=1443)

	受講した	受講していない	無回答
度数	1289	92	62
%	89.3	6.4	4.3

表 1－32 自施設・事業所の実施する集合研修を受講したか

	受講した	受講していない	無回答
度数	222	57	19
%	74.5	19.1	6.4

表 1－33 集合研修の受講回数(実践者)(n=1289)

	1回～5回	6～10回	11回～	無回答	平均
度数	822	301	113	53	5.2
%	63.8	23.4	8.8	4.1	

表 1－34 集合研修の受講回数(リーダー)(n=222)

	1～5回	6～10回	11回以上	無回答	平均
度数	107	65	42	8	7.3
%	48.2	29.3	18.9	3.6	

表 1－3 5 受講した研修の種別（実践者） 【複数回答】（n=1289）

	介護経験の 交流会	介護事例 検討会	ロールプレイ 研修	調理実習	身体介護技術 指導・研修	新任者研修
度数	154	472	168	47	420	166
%	11.9	36.6	13.0	3.6	32.6	12.9

	認知症に 関する講義	虐待防止	拘束防止	口腔ケア	栄養	ケア マネジメント
度数	690	415	451	370	149	287
%	53.5	32.2	35.0	28.7	11.6	22.3

	人権・ 権利擁護	センター方式	ユニットケア に関する研修	その他	無回答
度数	317	178	114	522	17
%	24.6	13.8	8.8	40.5	1.3

表 1－3 6 受講した集合研修の種別（リーダー）【複数回答】（n=222）

	介護経験の 交流会	介護事例 検討会	ロールプレイ 研修	調理実習	身体介護技術 指導・研修	新任者研修
度数	25	88	40	9	78	49
%	11.3	39.6	18.0	4.1	35.1	22.1

	認知症に 関する講義	虐待防止	拘束防止	口腔ケア	栄養	ケア マネジメント
度数	136	69	80	69	39	56
%	61.3	31.1	36.0	31.1	17.6	25.2

	人権・ 権利擁護	センター方式	ユニットケア に関する研修	その他	無回答
度数	66	31	17	110	3
%	29.7	14.0	7.7	49.5	1.4

表 1－3 7 認知症介護に関する外部研修の受講の有無（平成 20 年度）（実践者）

	受講した	受講していない	無回答
度数	1376	1309	93
%	49.5	47.1	3.3

表 1－3 8 認知症介護に関する外部研修の受講の有無（平成 20 年度）（リーダー）

	受講した	受講していない	無回答
度数	202	96	－
%	67.8	32.2	－

表 1－39 外部研修の受講回数（実践者）（n=1376）

	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上	無回答	平均
度数	404	373	219	116	83	147	34	2.9
%	29.4	27.1	15.9	8.4	6.0	10.7	2.5	

表 1－40 外部研修の受講回数（リーダー）（n=202）

	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回以上	無回答	平均
度数	33	42	32	14	21	42	18	4.0
%	16.3	20.8	15.8	6.9	10.4	20.8	8.9	

表 1－41 受講した外部研修の種別（実践者）【複数回答】（n=1376）

	介護経験の 交流会	介護事例 検討会	ロールプレイ 研修	調理実習	身体介護技術 指導・研修	新任者研修
度数	187	339	88	23	119	41
%	13.6	24.6	6.4	1.7	8.6	3.0

	認知症に 関する講義	虐待防止	拘束防止	口腔ケア	栄養	ケア マネジメント
度数	655	233	188	186	47	314
%	47.6	16.9	13.7	13.5	3.4	22.8

	人権・権利擁護	センター方式	ユニットケア に関する研修	その他	無回答
度数	268	264	72	438	27
%	19.5	19.2	5.2	31.8	2.0

表 1－42 受講した外部研修の種別（リーダー）【複数回答】（n=202）

	介護経験の 交流会	介護事例 検討会	ロールプレイ 研修	調理実習	身体介護技術 指導・研修	新任者研修
度数	54	67	20	3	27	4
%	26.7	33.2	9.9	1.5	13.4	2.0

	認知症に 関する講義	虐待防止	拘束防止	口腔ケア	栄養	ケア マネジメント
度数	118	32	26	25	8	57
%	58.4	15.8	12.9	12.4	4.0	28.2

	人権・権利擁護	センター方式	ユニットケア に関する研修	その他	無回答
度数	36	47	8	56	10
%	17.8	23.3	4.0	27.7	5.0

表 1－4 3 自施設・事業所における個別研修を行う仕組みの有無(実践者)

	個別研修を行う 仕組みがある	個別研修を行う 仕組みはない	無回答
度数	714	1965	99
%	25.7	70.7	3.6

表 1－4 4 自施設・事業所における個別研修を行う仕組みの有無(リーダー)

	個別研修を行う 仕組みがある	個別研修を行う 仕組みはない	無回答
度数	91	202	5
%	30.5	67.8	1.7

表 1－4 5 個別研修を担当したか(実践者)

	担当した	担当しなかった	無回答
度数	313	2323	142
%	11.3	83.6	5.1

表 1－4 6 個別研修を担当したか(リーダー)

	担当した	担当しなかった	無回答
度数	70	220	8
%	23.5	73.8	2.7

表 1－4 7 個別研修を受けたか(実践者)

	受けた	受けなかった	無回答
度数	268	2398	112
%	9.6	86.3	4.0

表 1－4 8 個別研修を受けたか(リーダー)

	受けた	受けなかった	無回答
度数	25	263	10
%	8.4	88.3	3.4

表 1－4 9 現在、自分の職務に関連する学会に所属しているか(実践者)

	受講前から学会 に所属している	実践研修修了後 に所属した	学会に所属して いない	無回答
度数	197	29	2478	74
%	7.1	1.0	89.2	2.7

表 1－5 0 現在、自分自身の職務に関連する学会に所属しているか(リーダー)

	受講前から学会 に所属している	実践研修修了後 に所属した	学会に所属して いない	無回答
度数	43	18	221	16
%	14.4	6.0	74.2	5.4

表 1－5 1 今後実践リーダー研修を受講してみたいと思うか

	必ず受講したい	できれば 受講したい	受講したくない
度数	512	1799	395
%	18.4	64.8	14.2

表 1－5 2 今後、認知症介護指導者養成研修を受講してみたいと思うか

	必ず 受講したい	できれば 受講したい	受講したくない	無回答
度数	58	143	89	8
%	19.5	48.0	29.9	2.7

表 1－5 3 リーダーとしての経験年数

	0 年	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上	無回答	平均
度数	29	148	87	23	5	5	1	4.6
%	9.7	49.7	29.2	7.7	1.7	1.7	0.3	

表 1－5 4 認知症介護実践者研修の受講経験

	受講した	受講して いない	分からない	無回答
度数	294	－	2	2
%	98.7	－	0.7	0.7

表 1－5 5 認知症介護実践研修受講年度

	平成 13 年度～ 平成 15 年度	平成 16 年度～ 平成 18 年度	平成 19 年度～	無回答
度数	43	174	60	20
%	14.5	58.6	20.2	6.7

表 1－5 6 教育担当職員が位置づけられているか

	いない	いる	分からない	無回答
度数	130	154	12	2
%	43.6	51.7	4.0	0.7

表 1－5 7 自分自身は教育担当者か (n = 1 5 4)

	自分は教育担 当者である	自分は教育担 当者ではない	無回答
度数	100	51	3
%	64.9	33.1	1.9

図1-1 設問ごとの加重平均 上位16項目（実践者研修、降順）

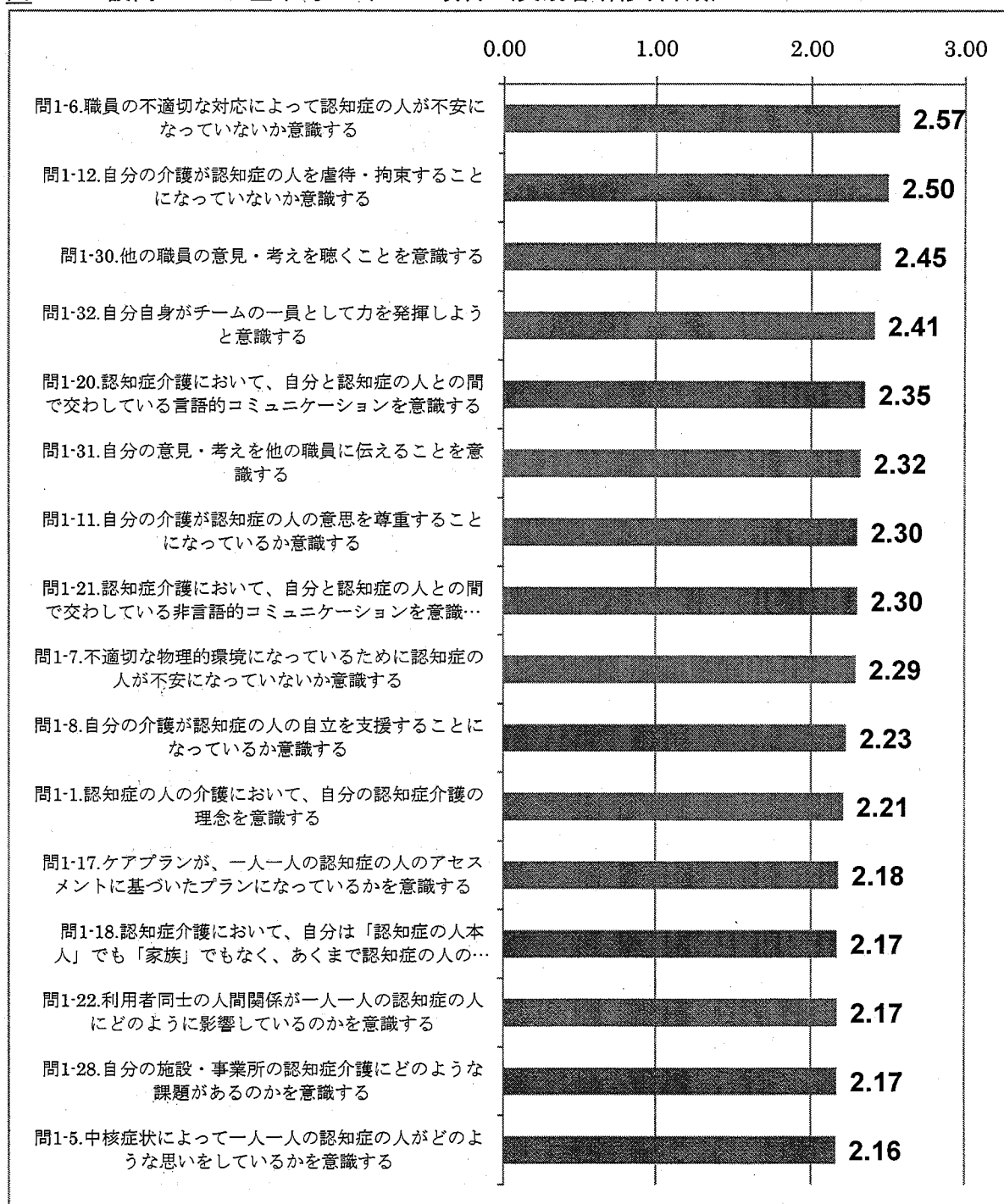


図1-2 設問ごとの加重平均 下位 16 項目（実践者研修、降順）

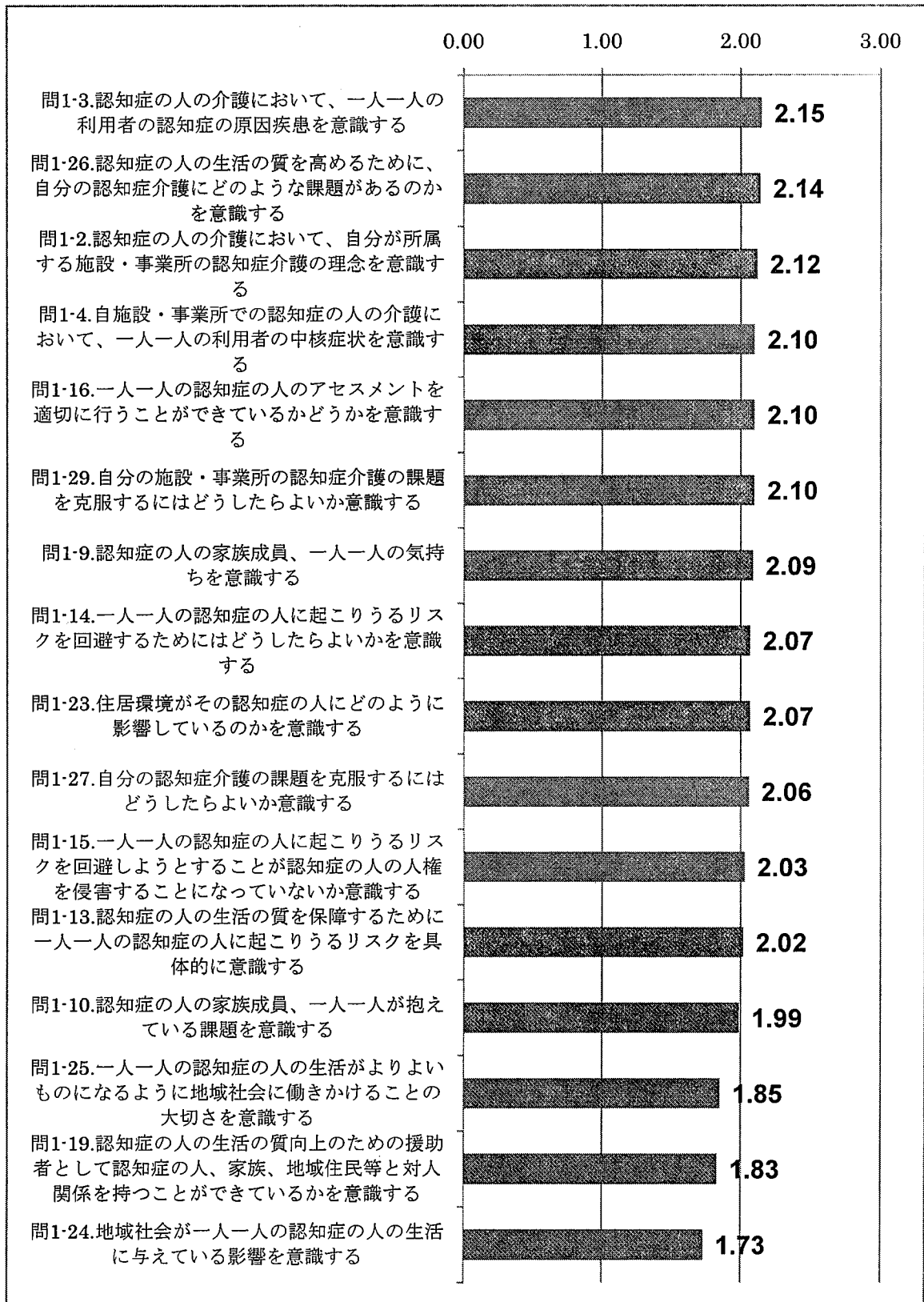


図1-3 設問ごとの加重平均 （実践リーダー研修、降順）

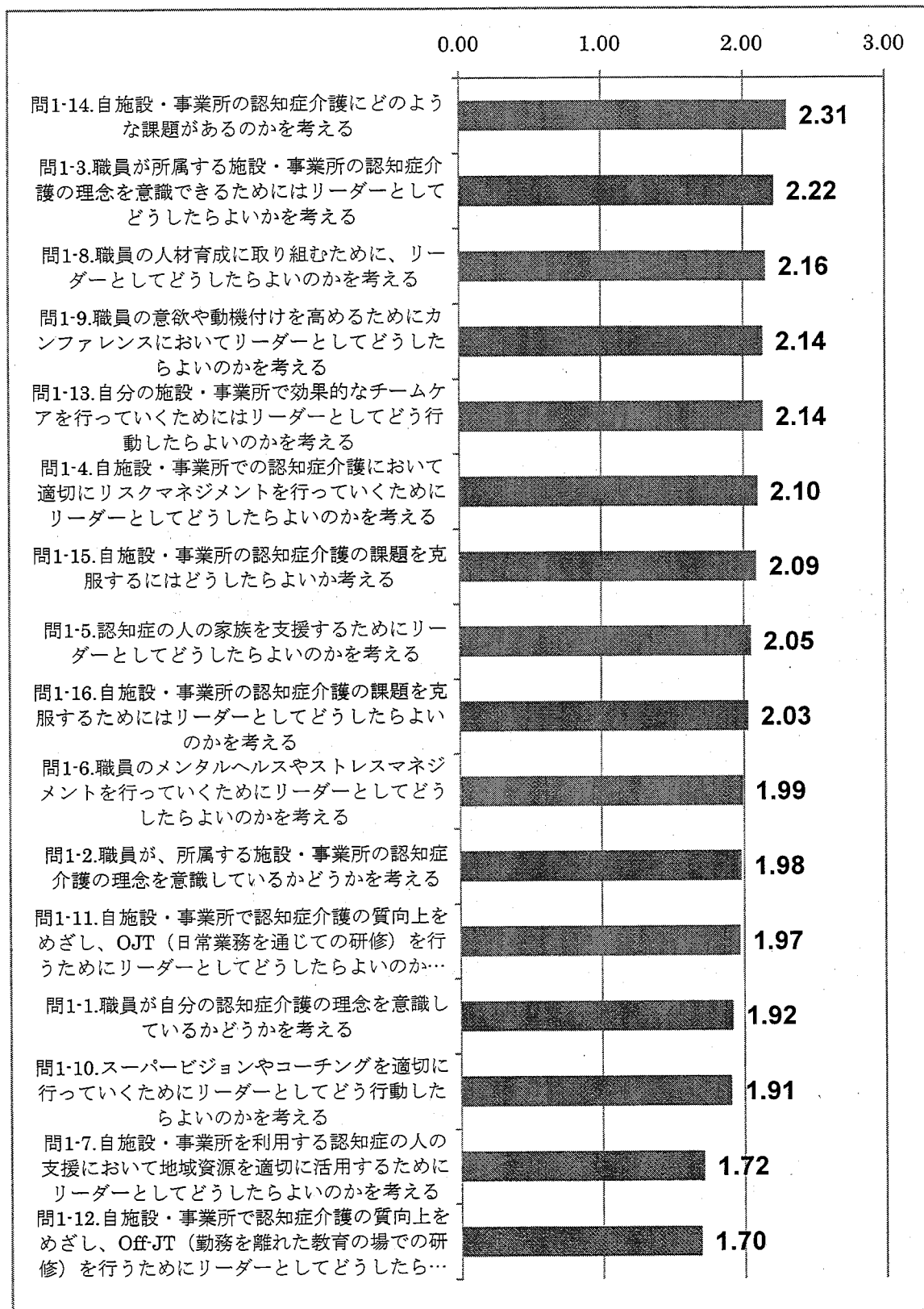


図 1－4－1 「実践者研修を受講する前から意識できる」と回答した人の割合上位 16 項目（実践者研修、n＝2778）単位：％

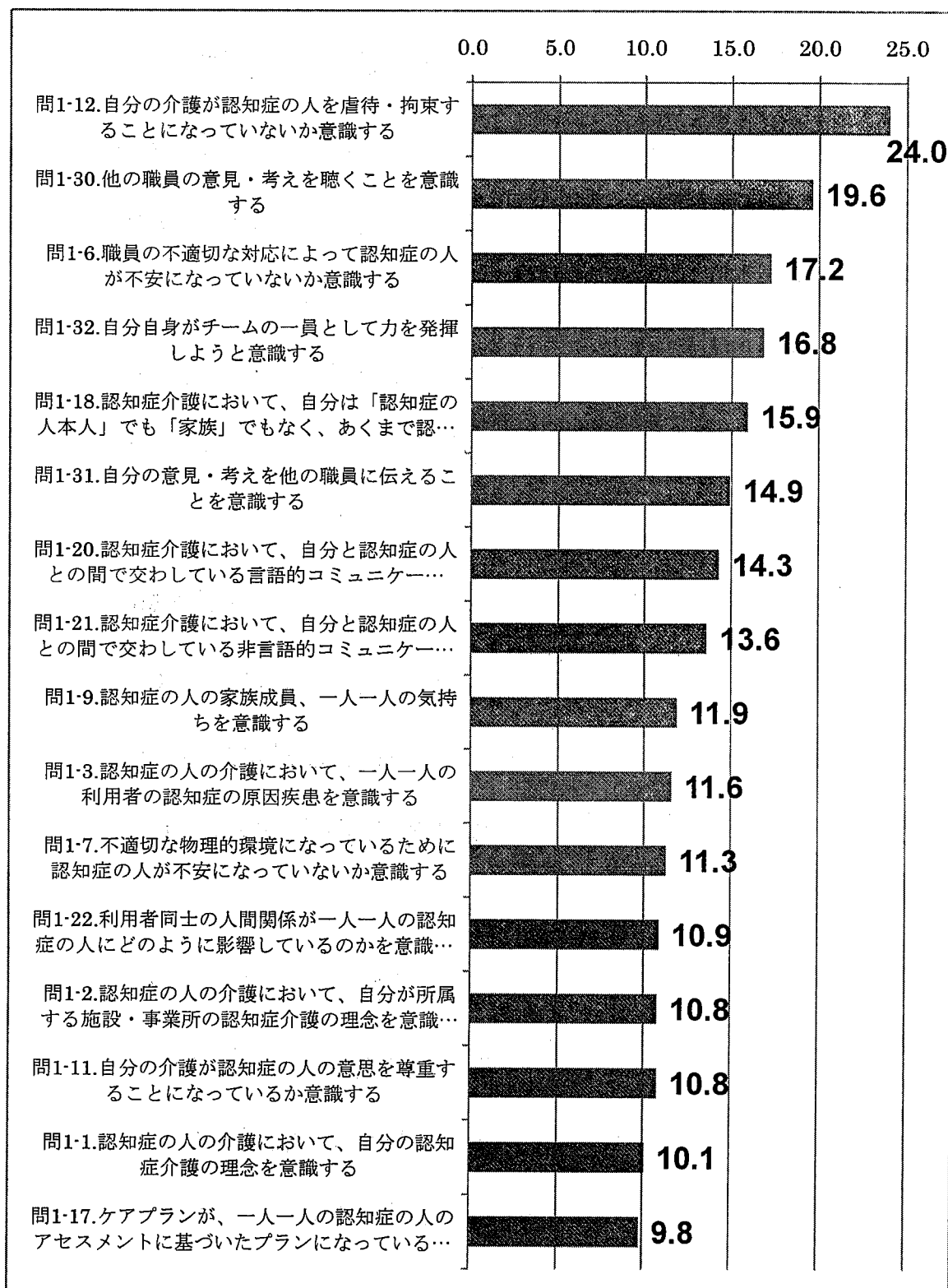


図 1 - 4 - 2 「実践者研修を受講する前から意識できる」と回答した人の割合下位 16 項目（実践者研修、n = 2778）単位：％

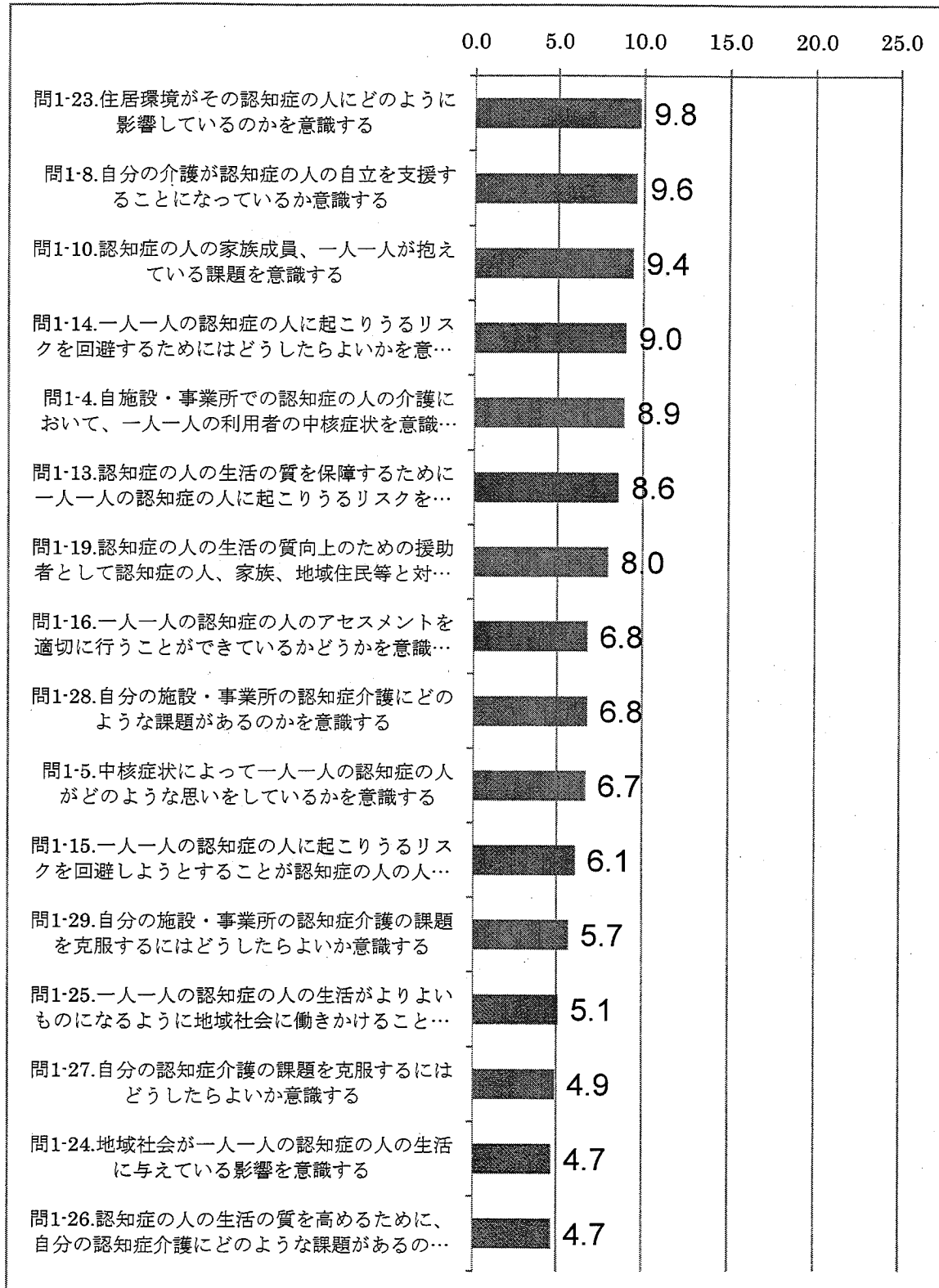


図1-5 「実践リーダー研修を受講する前から考えられる」と回答した人の割合（リーダー研修、n=298）単位：％

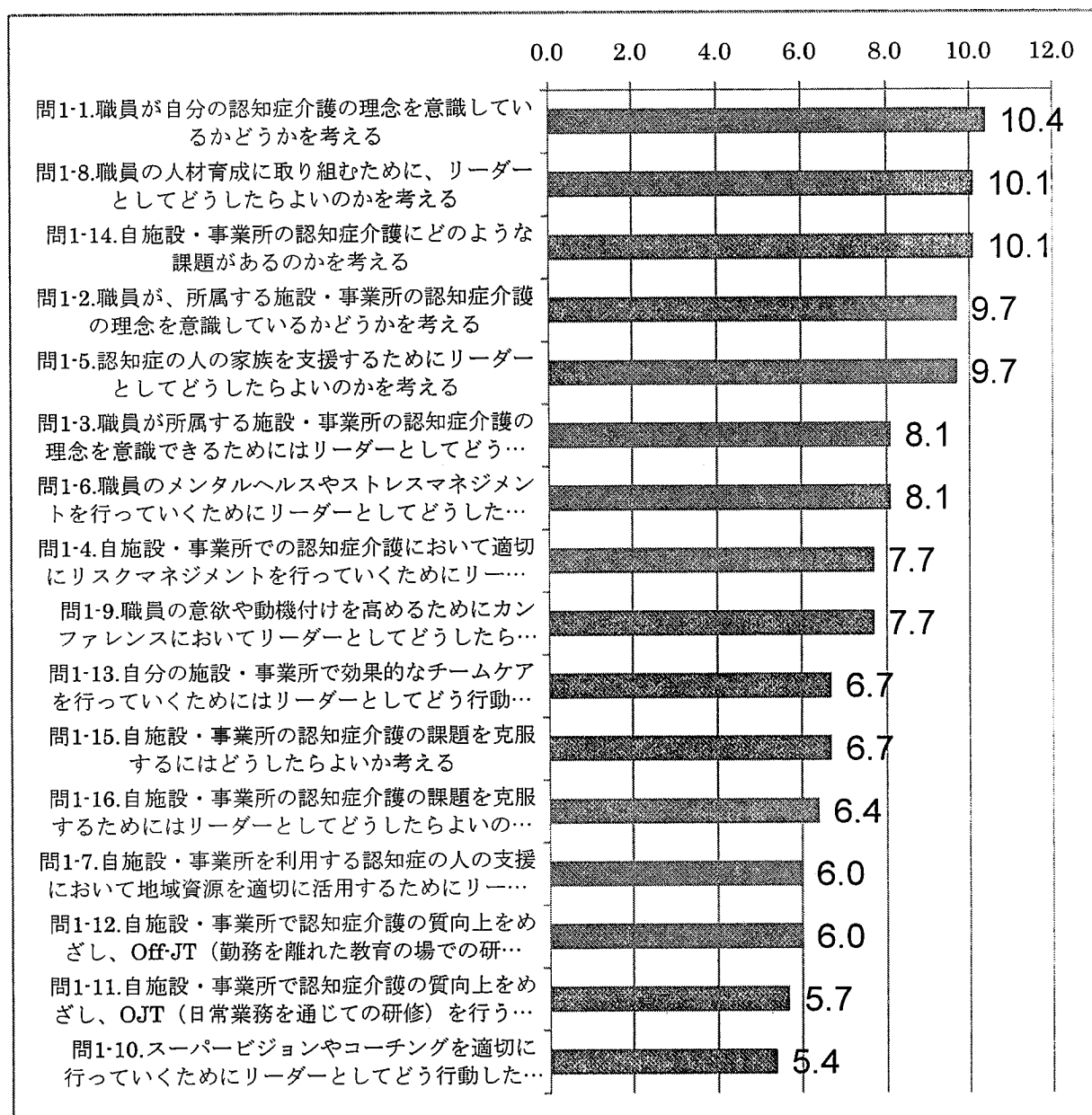


図 1 - 6 - 1 「実践者研修の効果であるかどうか判断できない」と回答した人の割合 上位 16 項目（実践者研修、n = 2778）単位：％

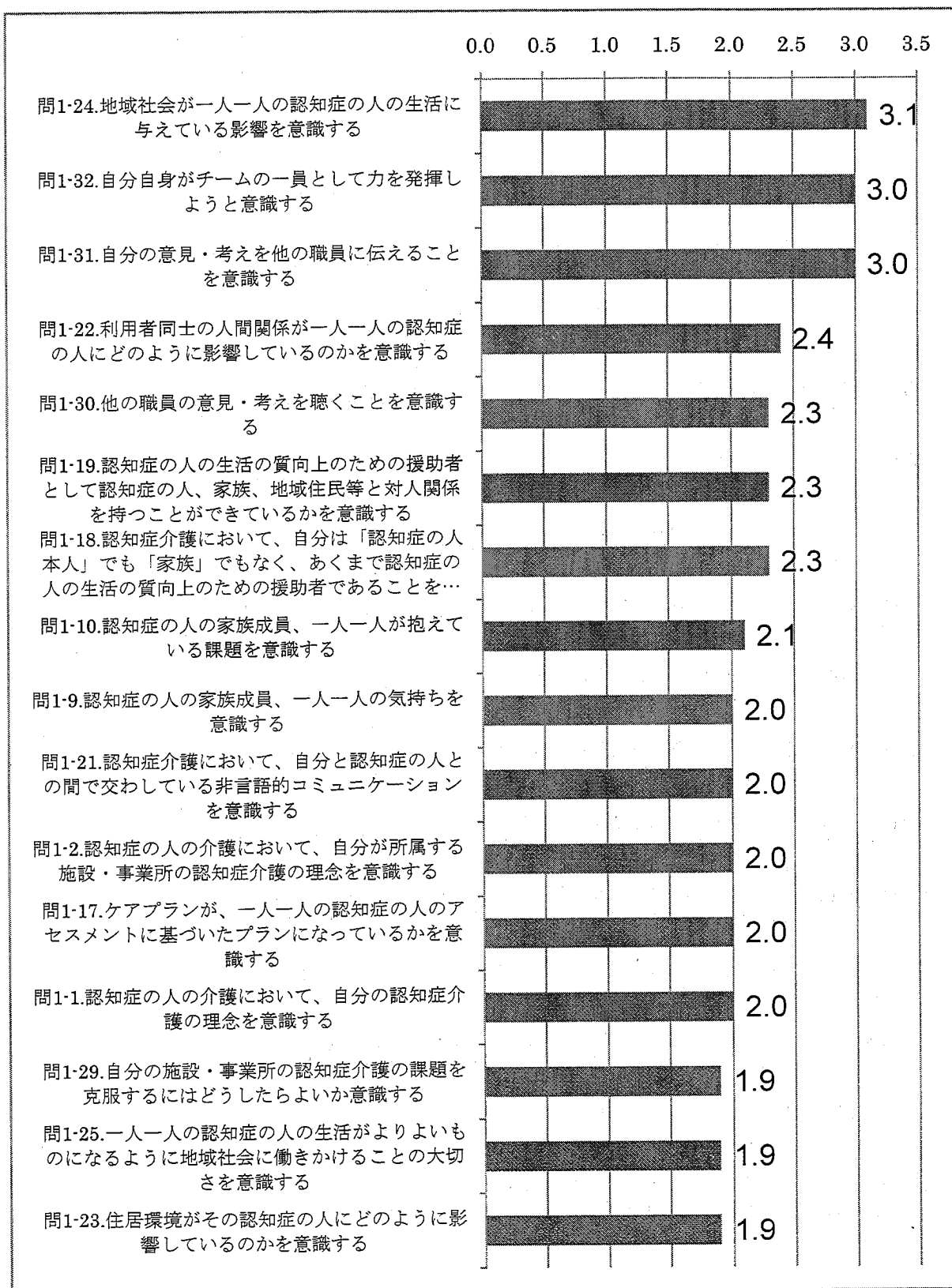


図 1-6-2 「実践者研修の効果であるかどうか判断できない」と回答した人の割合 下位 16 項目（実践者研修、n = 2778）単位：％

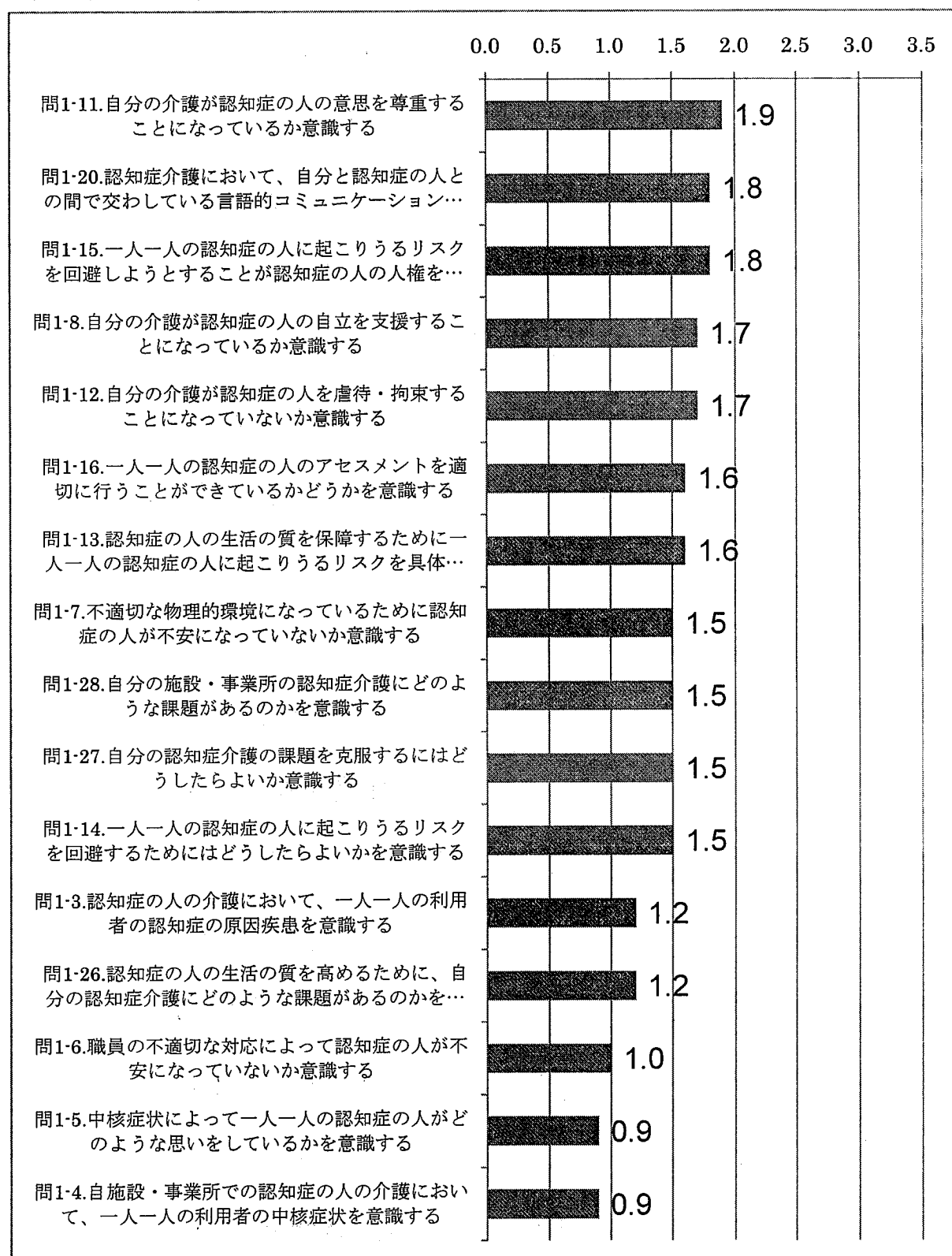


図1-7 「実践リーダー研修の効果であるかどうか判断できない」と回答した人の割合（実践リーダー研修、n=298）単位：％

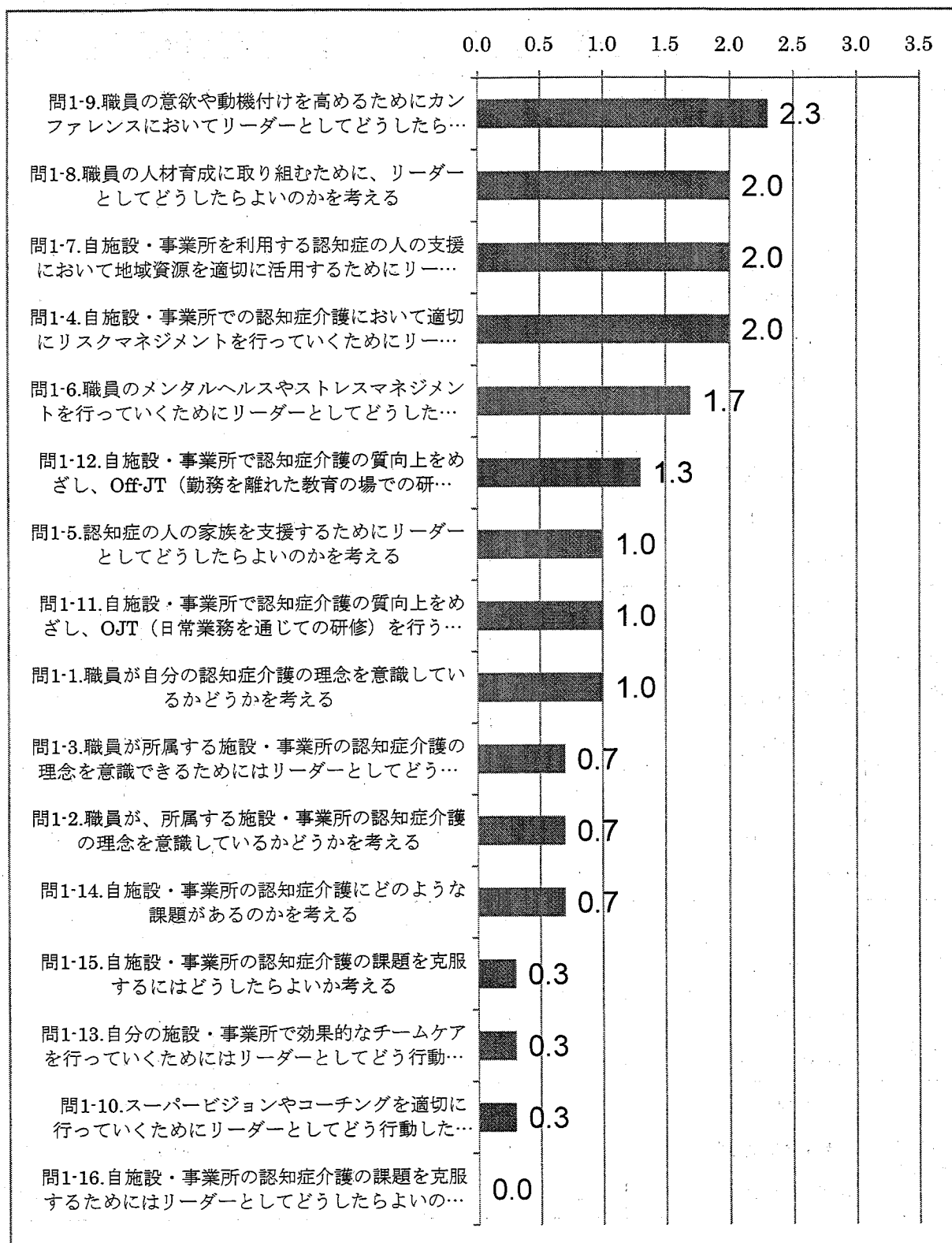


表 1－58 認知症の人の介護において、自分の認知症介護の理念を意識する（実践者、問 1-1）

		ほとんど意識 できるようにな らなかった		少し意識できる ようになった		だいたい意識で きるようになった		かなり意識でき るようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		32	1.2	469	16.9	851	30.6	1039	37.4	2.21
経験 年数	～5年	10	0.9	205	18.0	374	32.9	415	36.5	2.19
	～10年	17	1.5	192	16.5	340	29.2	443	38.1	2.22
	～15年	3	1.0	43	13.9	99	31.9	116	37.4	2.26
	15年以上～	2	1.5	18	13.2	28	20.6	57	41.9	2.33
職位	施設・事業所の管理者	7	1.1	69	10.4	165	24.9	297	44.9	2.40
	リーダー・サブリーダー	12	1.0	222	17.6	393	31.2	467	37.1	2.20
	一般職員	12	1.5	162	20.7	268	34.3	250	32.0	2.09
	その他	1	1.6	12	19.7	20	32.8	21	34.4	2.13
受講 希望	指示により受講	28	1.3	391	17.8	701	32.0	773	35.2	2.17
	自ら希望して受講	4	0.7	75	13.4	146	26.1	254	45.4	2.36
	その他	-	-	2	14.3	3	21.4	5	35.7	2.30
職位の 変化	職位が上がった	9	2.1	58	13.2	122	27.8	193	44.0	2.31
	職位の変化はない	21	1.0	388	17.6	691	31.4	794	36.0	2.19
	職位が下がった	-	-	1	11.1	4	44.4	4	44.4	2.33
	比較できない	1	0.9	19	17.0	30	26.8	41	36.6	2.22
集合 研修	実施した	14	1.0	210	14.6	407	28.2	591	41.0	2.29
	実施していない	12	1.4	156	17.8	278	31.7	315	35.9	2.18
	わからない	5	1.2	97	23.0	159	37.7	112	26.5	2.01
外研 部修	受講した	18	1.3	189	13.7	392	28.5	552	40.1	2.28
	受講していない	13	1.0	265	20.2	432	33.0	450	34.4	2.14
個研 別修	仕組みがある	8	1.1	105	14.7	238	33.3	269	37.7	2.24
	仕組みはない	21	1.1	341	17.4	586	29.8	739	37.6	2.21
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	9	1.8	64	12.5	119	23.2	229	44.7	2.35
	できれば受講したい	20	1.1	297	16.5	587	32.6	667	37.1	2.21
	受講したくない	3	0.8	95	24.1	131	33.2	107	27.1	2.02

表1-59 認知症の人の介護において、自分が所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識する（実践者、問1-2）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		59	2.1	499	18.0	869	31.3	889	32.0	2.12
経験 年数	～5年	18	1.6	206	18.1	368	32.4	361	31.8	2.12
	～10年	31	2.7	218	18.7	375	32.2	359	30.8	2.08
	～15年	4	1.3	46	14.8	82	26.5	114	36.8	2.24
	15年以上～	2	1.5	22	16.2	33	24.3	50	36.8	2.22
職位	施設・事業所の管理者	10	1.5	82	12.4	167	25.2	271	40.9	2.32
	リーダー・サブリーダー	29	2.3	229	18.2	421	33.4	383	30.4	2.09
	一般職員	17	2.2	167	21.4	260	33.3	216	27.7	2.02
	その他	2	3.3	17	27.9	18	29.5	14	23.0	1.86
受講 希望	指示により受講	47	2.1	406	18.5	697	31.8	690	31.4	2.10
	自ら希望して受講	12	2.1	91	16.3	166	29.6	190	33.9	2.16
	その他	-	-	1	7.1	5	35.7	4	28.6	2.30
職位の 変化	職位が上がった	13	3.0	56	12.8	138	31.4	170	38.7	2.23
	職位の変化はない	42	1.9	420	19.1	693	31.5	672	30.5	2.09
	職位が下がった	-	-	1	11.1	3	33.3	4	44.4	2.38
	比較できない	3	2.7	19	17.0	30	26.8	39	34.8	2.15
集合 研修	実施した	19	1.3	253	17.5	431	29.9	499	34.6	2.17
	実施していない	23	2.6	147	16.8	293	33.4	275	31.4	2.11
	わからない	15	3.6	93	22.0	138	32.7	97	23.0	1.92
外研 部修	受講した	30	2.2	197	14.3	418	30.4	483	35.1	2.20
	受講していない	26	2.0	286	21.8	420	32.1	378	28.9	2.04
個研 別修	仕組みがある	14	2.0	110	15.4	233	32.6	245	34.3	2.18
	仕組みはない	41	2.1	366	18.6	609	31.0	618	31.5	2.10
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	9	1.8	75	14.6	131	25.6	205	40.0	2.27
	できれば受講したい	40	2.2	331	18.4	582	32.4	559	31.1	2.10
	受講したくない	9	2.3	80	20.3	135	34.2	98	24.8	2.00

表 1－60 認知症の人の介護において、一人一人の利用者の認知症の原因疾患を意識する（実践者、問 1-3）

		ほとんど意識 できるようにな らなかった		少し意識でき るようになった		だいたい意識でき るようになった		かなり意識でき るようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		42	1.5	492	17.7	912	32.8	926	33.3	2.15
経験 年数	～5年	13	1.1	219	19.3	379	33.4	384	33.8	2.14
	～10年	15	1.3	203	17.4	367	31.5	392	33.7	2.16
	～15年	9	2.9	44	14.2	111	35.8	99	31.9	2.14
	15年以上～	3	2.2	18	13.2	46	33.8	44	32.4	2.18
職位	施設・事業所の管理者	10	1.5	82	12.4	210	31.7	240	36.3	2.25
	リーダー・サブリーダー	20	1.6	220	17.5	413	32.8	429	34.1	2.16
	一般職員	10	1.3	170	21.8	267	34.2	237	30.3	2.07
	その他	2	3.3	15	24.6	19	31.1	16	26.2	1.94
受講 希望	指示により受講	34	1.5	400	18.2	729	33.2	714	32.5	2.13
	自ら希望して受講	7	1.3	88	15.7	176	31.4	206	36.8	2.22
	その他	1	7.1	3	21.4	2	14.3	3	21.4	1.78
職位の 変化	職位が上がった	10	2.3	66	15.0	145	33.0	145	33.0	2.16
	職位の変化はない	30	1.4	399	18.1	723	32.8	741	33.6	2.15
	職位が下がった	-	-	-	-	2	22.2	5	55.6	2.71
	比較できない	2	1.8	23	20.5	38	33.9	30	26.8	2.03
集合 研修	実施した	19	1.3	222	15.4	481	33.3	500	34.7	2.20
	実施していない	17	1.9	166	18.9	301	34.3	269	30.7	2.09
	わからない	5	1.2	97	23.0	120	28.4	144	34.1	2.10
外研 部修	受講した	22	1.6	200	14.5	447	32.5	486	35.3	2.21
	受講していない	20	1.5	280	21.4	437	33.4	406	31.0	2.08
個研 別修	仕組みがある	14	2.0	94	13.2	240	33.6	254	35.6	2.22
	仕組みはない	26	1.3	378	19.2	643	32.7	640	32.6	2.12
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	8	1.6	69	13.5	143	27.9	214	41.8	2.30
	できれば受講したい	26	1.4	323	18.0	610	33.9	585	32.5	2.14
	受講したくない	7	1.8	90	22.8	135	34.2	103	26.1	2.00

表 1-61 自施設・事業所での認知症の人の介護において、一人一人の利用者の中核症状を意識する（実践者、問 1-4）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		33	1.2	537	19.3	1045	37.6	837	30.1	2.10
経験 年数	～5年	14	1.2	230	20.2	458	40.3	326	28.7	2.07
	～10年	11	0.9	235	20.2	413	35.5	365	31.4	2.11
	～15年	4	1.3	44	14.2	116	37.4	100	32.3	2.18
	15年以上～	1	0.7	20	14.7	47	34.6	42	30.9	2.18
職位	施設・事業所の管理者	8	1.2	88	13.3	229	34.6	242	36.6	2.24
	リーダー・サブリーダー	17	1.4	233	18.5	483	38.4	385	30.6	2.11
	一般職員	8	1.0	192	24.6	306	39.2	194	24.8	1.98
	その他	-	-	20	32.8	21	34.4	14	23.0	1.89
受講 希望	指示により受講	26	1.2	437	19.9	849	38.7	635	28.9	2.07
	自ら希望して受講	7	1.3	96	17.1	189	33.8	193	34.5	2.17
	その他	-	-	3	21.4	3	21.4	4	28.6	2.10
職位の 変化	職位が上がった	8	1.8	52	11.8	168	38.3	151	34.4	2.22
	職位の変化はない	23	1.0	455	20.7	836	37.9	641	29.1	2.07
	職位が下がった	-	-	1	11.1	3	33.3	5	55.6	2.44
	比較できない	2	1.8	25	22.3	33	29.5	35	31.3	2.06
集合 研修	実施した	13	0.9	234	16.2	550	38.1	467	32.4	2.16
	実施していない	15	1.7	186	21.2	335	38.2	251	28.6	2.04
	わからない	4	0.9	111	26.3	145	34.4	107	25.4	1.97
外研 部修	受講した	16	1.2	214	15.6	507	36.8	453	32.9	2.17
	受講していない	17	1.3	302	23.1	498	38.0	361	27.6	2.02
個研 別修	仕組みがある	5	0.7	107	15.0	299	41.9	228	31.9	2.17
	仕組みはない	27	1.4	408	20.8	711	36.2	583	29.7	2.07
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	7	1.4	73	14.3	173	33.8	193	37.7	2.24
	できれば受講したい	18	1.0	356	19.8	696	38.7	523	29.1	2.08
	受講したくない	6	1.5	100	25.3	144	36.5	100	25.3	1.97

表１－６２ 中核症状によって一人一人の認知症の人がどのような思いをしているかを意識する
(実践者、問 1-5)

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できる ようになった		だいたい意識できる ようになった		かなり意識できる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		33	1.2	506	18.2	994	35.8	973	35.0	2.16
経験 年数	～5年	14	1.2	211	18.6	440	38.7	365	32.1	2.12
	～10年	13	1.1	222	19.1	383	32.9	437	37.5	2.18
	～15年	2	0.6	45	14.5	114	36.8	117	37.7	2.24
	15年以上～	1	0.7	23	16.9	44	32.4	49	36.0	2.21
職位	施設・事業所の管理者	11	1.7	82	12.4	238	36.0	249	37.6	2.25
	リーダー・サブリーダー	11	0.9	241	19.1	443	35.2	450	35.7	2.16
	一般職員	11	1.4	160	20.5	291	37.3	249	31.9	2.09
	その他	-	-	19	31.1	16	26.2	22	36.1	2.05
受講 希望	指示により受講	28	1.3	419	19.1	799	36.4	740	33.7	2.13
	自ら希望して受講	5	0.9	83	14.8	189	33.8	223	39.8	2.26
	その他	-	-	2	14.3	4	28.6	4	28.6	2.20
職位の 変化	職位が上がった	8	1.8	55	12.5	166	37.8	162	36.9	2.23
	職位の変化はない	22	1.0	420	19.1	785	35.6	764	34.7	2.15
	職位が下がった	-	-	1	11.1	2	22.2	6	66.7	2.56
	比較できない	3	2.7	25	22.3	36	32.1	36	32.1	2.05
集合 研修	実施した	13	0.9	234	16.2	516	35.8	533	36.9	2.21
	実施していない	12	1.4	174	19.8	320	36.5	289	33.0	2.11
	わからない	7	1.7	92	21.8	144	34.1	136	32.2	2.08
外研 部修	受講した	18	1.3	198	14.4	478	34.7	529	38.4	2.24
	受講していない	14	1.1	287	21.9	482	36.8	418	31.9	2.09
個研 別修	仕組みがある	5	0.7	114	16.0	273	38.2	258	36.1	2.21
	仕組みはない	26	1.3	368	18.7	689	35.1	684	34.8	2.15
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	8	1.6	62	12.1	166	32.4	212	41.4	2.30
	できれば受講したい	19	1.1	338	18.8	652	36.2	629	35.0	2.15
	受講したくない	4	1.0	92	23.3	154	39.0	105	26.6	2.01

表1-63 職員の不適切な対応によって認知症の人が不安になっていないか意識する（実践者、問1-6）

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できるよ うになった		だいたい意識でき るようになった		かなり意識できる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		33	1.2	159	5.7	560	20.2	1497	53.9	2.57
経験 年数	～5年	15	1.3	82	7.2	226	19.9	633	55.7	2.54
	～10年	13	1.1	45	3.9	248	21.3	612	52.6	2.59
	～15年	1	0.3	19	6.1	51	16.5	169	54.5	2.62
	15年以上～	3	2.2	7	5.1	28	20.6	71	52.2	2.53
職位	施設・事業所の管理者	10	1.5	26	3.9	111	16.8	364	55.0	2.62
	リーダー・サブリーダー	14	1.1	70	5.6	253	20.1	690	54.8	2.58
	一般職員	8	1.0	60	7.7	180	23.0	406	52.0	2.50
	その他	1	1.6	1	1.6	14	23.0	30	49.2	2.59
受講 希望	指示により受講	27	1.2	128	5.8	466	21.2	1146	52.2	2.55
	自ら希望して受講	6	1.1	30	5.4	92	16.4	336	60.0	2.63
	その他	-	-	-	-	2	14.3	7	50.0	2.78
職位の 変化	職位が上がった	7	1.6	14	3.2	84	19.1	238	54.2	2.61
	職位の変化はない	24	1.1	136	6.2	451	20.5	1187	53.9	2.56
	職位が下がった	-	-	-	-	3	33.3	6	66.7	2.67
	比較できない	1	0.9	8	7.1	19	17.0	59	52.7	2.56
集合 研修	実施した	14	1.0	67	4.6	270	18.7	799	55.4	2.61
	実施していない	14	1.6	59	6.7	183	20.9	465	53.0	2.52
	わからない	4	0.9	31	7.3	98	23.2	215	50.9	2.51
外研 部修	受講した	20	1.5	64	4.7	255	18.5	741	53.9	2.59
	受講していない	13	1.0	89	6.8	285	21.8	706	53.9	2.54
個研 別修	仕組みがある	7	1.0	38	5.3	133	18.6	401	56.2	2.60
	仕組みはない	24	1.2	117	6.0	408	20.8	1041	53.0	2.55
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	7	1.4	19	3.7	70	13.7	301	58.8	2.68
	できれば受講したい	22	1.2	105	5.8	382	21.2	965	53.6	2.55
	受講したくない	4	1.0	34	8.6	89	22.5	190	48.1	2.47

表 1－6 4 不適切な物理的環境になっているために認知症の人が不安になっていないか意識する（実践者、問 1-7）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		31	1.1	321	11.6	946	34.1	1071	38.6	2.29
経験 年数	～5年	12	1.1	147	12.9	410	36.1	430	37.9	2.26
	～10年	14	1.2	119	10.2	383	32.9	460	39.5	2.32
	～15年	1	0.3	31	10.0	100	32.3	122	39.4	2.35
	15年以上～	3	2.2	16	11.8	44	32.4	51	37.5	2.25
職位	施設・事業所の管理者	7	1.1	54	8.2	220	33.2	265	40.0	2.36
	リーダー・サブリーダー	16	1.3	144	11.4	432	34.3	488	38.8	2.29
	一般職員	7	0.9	113	14.5	271	34.7	291	37.3	2.24
	その他	1	1.6	8	13.1	19	31.1	20	32.8	2.21
受講 希望	指示により受講	26	1.2	255	11.6	768	35.0	815	37.1	2.27
	自ら希望して受講	5	0.9	62	11.1	174	31.1	245	43.8	2.36
	その他	-	-	3	21.4	2	14.3	4	28.6	2.11
職位の 変化	職位が上がった	7	1.6	44	10.0	153	34.9	162	36.9	2.28
	職位の変化はない	22	1.0	261	11.8	749	34.0	851	38.6	2.29
	職位が下がった	-	-	-	-	3	33.3	6	66.7	2.67
	比較できない	1	0.9	14	12.5	34	30.4	48	42.9	2.33
集合 研修	実施した	12	0.8	143	9.9	470	32.6	589	40.8	2.35
	実施していない	15	1.7	116	13.2	307	35.0	319	36.4	2.23
	わからない	3	0.7	58	13.7	154	36.5	150	35.5	2.24
外研 部修	受講した	17	1.2	156	11.3	438	31.8	547	39.8	2.31
	受講していない	13	1.0	157	12.0	477	36.4	482	36.8	2.26
個研 別修	仕組みがある	5	0.7	73	10.2	244	34.2	277	38.8	2.32
	仕組みはない	24	1.2	236	12.0	668	34.0	759	38.6	2.28
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	5	1.0	48	9.4	149	29.1	226	44.1	2.39
	できれば受講したい	23	1.3	200	11.1	643	35.7	682	37.9	2.28
	受講したくない	3	0.8	63	15.9	127	32.2	134	33.9	2.20

表1-65 自分の介護が認知症の人の自立を支援することになっているか意識する（実践者、問1-8）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		37	1.3	399	14.4	918	33.0	1026	36.9	2.23
経験 年数	～5年	12	1.1	184	16.2	395	34.8	397	34.9	2.19
	～10年	19	1.6	140	12.0	376	32.3	456	39.2	2.28
	～15年	3	1.0	44	14.2	99	31.9	117	37.7	2.25
	15年以上～	2	1.5	21	15.4	40	29.4	50	36.8	2.22
職位	施設・事業所の管理者	7	1.1	72	10.9	207	31.3	269	40.6	2.33
	リーダー・サブリーダー	16	1.3	170	13.5	417	33.1	472	37.5	2.25
	一般職員	12	1.5	141	18.1	275	35.2	257	32.9	2.13
	その他	2	3.3	16	26.2	14	23.0	20	32.8	2.00
受講 希望	指示により受講	34	1.5	327	14.9	732	33.4	787	35.9	2.21
	自ら希望して受講	3	0.5	71	12.7	180	32.1	225	40.2	2.31
	その他	-	-	1	7.1	4	28.6	6	42.9	2.45
職位の 変化	職位が上がった	6	1.4	56	12.8	146	33.3	167	38.0	2.26
	職位の変化はない	27	1.2	328	14.9	731	33.2	797	36.2	2.22
	職位が下がった	-	-	1	11.1	2	22.2	6	66.7	2.56
	比較できない	3	2.7	13	11.6	35	31.3	48	42.9	2.29
集合 研修	実施した	13	0.9	203	14.1	477	33.1	542	37.6	2.25
	実施していない	14	1.6	125	14.3	290	33.1	334	38.1	2.24
	わからない	9	2.1	68	16.1	140	33.2	131	31.0	2.13
外研 部修	受講した	16	1.2	172	12.5	425	30.9	549	39.9	2.30
	受講していない	20	1.5	212	16.2	457	34.9	445	34.0	2.17
個研 別修	仕組みがある	6	0.8	90	12.6	258	36.1	258	36.1	2.25
	仕組みはない	28	1.4	294	15.0	628	32.0	732	37.3	2.23
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	7	1.4	57	11.1	154	30.1	214	41.8	2.33
	できれば受講したい	22	1.2	265	14.7	609	33.9	658	36.6	2.22
	受講したくない	7	1.8	65	16.5	133	33.7	124	31.4	2.14

表 1－6 6 認知症の人の家族成員、一人一人の気持ちを意識する（実践者、問 1-9）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		39	1.4	545	19.6	899	32.4	826	29.7	2.09
経験 年数	～5年	14	1.2	252	22.2	380	33.5	320	28.2	2.04
	～10年	18	1.5	211	18.1	375	32.2	365	31.4	2.12
	～15年	3	1.0	53	17.1	95	30.6	93	30.0	2.14
	15年以上～	3	2.2	20	14.7	38	27.9	42	30.9	2.16
職位	施設・事業所の管理者	6	0.9	89	13.4	195	29.5	226	34.1	2.24
	リーダー・サブリーダー	17	1.4	242	19.2	432	34.3	371	29.5	2.09
	一般職員	15	1.9	198	25.4	253	32.4	206	26.4	1.97
	その他	1	1.6	14	23.0	17	27.9	17	27.9	2.02
受講 希望	指示により受講	35	1.6	455	20.7	715	32.6	624	28.4	2.05
	自ら希望して受講	4	0.7	88	15.7	177	31.6	196	35.0	2.22
	その他	-	-	2	14.3	2	14.3	3	21.4	2.14
職位の 変化	職位が上がった	8	1.8	74	16.9	148	33.7	130	29.6	2.11
	職位の変化はない	27	1.2	445	20.2	715	32.5	648	29.4	2.08
	職位が下がった	1	11.1	1	11.1	2	22.2	4	44.4	2.13
	比較できない	2	1.8	22	19.6	29	25.9	39	34.8	2.14
集合 研修	実施した	17	1.2	269	18.6	457	31.7	442	30.6	2.12
	実施していない	10	1.1	181	20.6	287	32.7	258	29.4	2.08
	わからない	11	2.6	89	21.1	147	34.8	110	26.1	2.00
外研 部修	受講した	18	1.3	230	16.7	433	31.5	425	30.9	2.14
	受講していない	20	1.5	292	22.3	437	33.4	378	28.9	2.04
個研 別修	仕組みがある	7	1.0	111	15.5	241	33.8	230	32.2	2.18
	仕組みはない	30	1.5	412	21.0	623	31.7	570	29.0	2.06
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	10	2.0	69	13.5	167	32.6	174	34.0	2.20
	できれば受講したい	22	1.2	365	20.3	589	32.7	533	29.6	2.08
	受講したくない	4	1.0	98	24.8	117	29.6	98	24.8	1.97

表1-67 認知症の人の家族成員、一人一人が抱えている課題を意識する（実践者、問1-10）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		54	1.9	614	22.1	968	34.8	701	25.2	1.99
経験 年数	～5年	24	2.1	271	23.9	420	37.0	246	21.7	1.92
	～10年	24	2.1	247	21.2	382	32.8	336	28.9	2.04
	～15年	3	1.0	56	18.1	113	36.5	79	25.5	2.07
	15年以上～	2	1.5	27	19.9	43	31.6	36	26.5	2.05
職位	施設・事業所の管理者	6	0.9	98	14.8	227	34.3	202	30.5	2.17
	リーダー・サブリーダー	24	1.9	281	22.3	456	36.2	313	24.9	1.99
	一般職員	23	2.9	216	27.7	264	33.8	167	21.4	1.86
	その他	1	1.6	17	27.9	16	26.2	15	24.6	1.92
受講 希望	指示により受講	51	2.3	499	22.7	765	34.9	529	24.1	1.96
	自ら希望して受講	3	0.5	112	20.0	194	34.6	167	29.8	2.10
	その他	-	-	3	21.4	3	21.4	2	14.3	1.88
職位の 変化	職位が上がった	9	2.1	88	20.0	154	35.1	117	26.7	2.03
	職位の変化はない	43	2.0	497	22.6	766	34.8	542	24.6	1.98
	職位が下がった	-	-	3	33.3	2	22.2	3	33.3	2.00
	比較できない	2	1.8	24	21.4	36	32.1	37	33.0	2.09
集合 研修	実施した	21	1.5	301	20.9	493	34.2	386	26.7	2.04
	実施していない	19	2.2	196	22.3	315	35.9	222	25.3	1.98
	わからない	13	3.1	111	26.3	143	33.9	86	20.4	1.86
外研 部修	受講した	18	1.3	269	19.5	477	34.7	372	27.0	2.06
	受講していない	34	2.6	321	24.5	461	35.2	311	23.8	1.93
個研 別修	仕組みがある	9	1.3	138	19.3	265	37.1	185	25.9	2.05
	仕組みはない	44	2.2	452	23.0	671	34.1	489	24.9	1.97
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	6	1.2	88	17.2	177	34.6	156	30.5	2.13
	できれば受講したい	33	1.8	411	22.8	626	34.8	452	25.1	1.98
	受講したくない	13	3.3	95	24.1	138	34.9	78	19.7	1.87

表 1－68 自分の介護が認知症の人の意思を尊重することになっているか意識する(実践者、問 1-11)

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できるよ うになった		だいたい意識できる ようになった		かなり意識できるよ うになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		25	0.9	317	11.4	948	34.1	1067	38.4	2.30
経験 年数	～5年	8	0.7	145	12.8	403	35.5	429	37.8	2.27
	～10年	14	1.2	123	10.6	396	34.0	454	39.0	2.31
	～15年	-	-	29	9.4	102	32.9	123	39.7	2.37
	15年以上～	2	1.5	11	8.1	36	26.5	55	40.4	2.38
職位	施設・事業所の管理者	9	1.4	52	7.9	195	29.5	279	42.1	2.39
	リーダー・サブリーダー	8	0.6	131	10.4	449	35.7	486	38.6	2.32
	一般職員	7	0.9	119	15.2	288	36.9	270	34.6	2.20
	その他	1	1.6	14	23.0	11	18.0	26	42.6	2.19
受講 希望	指示により受講	23	1.0	257	11.7	761	34.7	825	37.6	2.28
	自ら希望して受講	2	0.4	59	10.5	176	31.4	235	42.0	2.36
	その他	-	-	1	7.1	6	42.9	3	21.4	2.20
職位の 変化	職位が上がった	7	1.6	37	8.4	145	33.0	177	40.3	2.34
	職位の変化はない	15	0.7	261	11.8	766	34.8	830	37.7	2.29
	職位が下がった	-	-	-	-	4	44.4	4	44.4	2.50
	比較できない	3	2.7	15	13.4	29	25.9	49	43.8	2.29
集合 研修	実施した	11	0.8	137	9.5	470	32.6	591	41.0	2.36
	実施していない	9	1.0	118	13.5	317	36.1	311	35.5	2.23
	わからない	4	0.9	60	14.2	149	35.3	146	34.6	2.22
外研 部修	受講した	14	1.0	130	9.4	445	32.3	547	39.8	2.34
	受講していない	11	0.8	173	13.2	473	36.1	487	37.2	2.26
個研 別修	仕組みがある	6	0.8	75	10.5	240	33.6	278	38.9	2.32
	仕組みはない	18	0.9	232	11.8	675	34.4	755	38.4	2.29
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	5	1.0	40	7.8	150	29.3	241	47.1	2.44
	できれば受講したい	18	1.0	215	12.0	633	35.2	668	37.1	2.27
	受講したくない	2	0.5	52	13.2	139	35.2	130	32.9	2.23

表1-69 自分の介護が認知症の人を虐待・拘束することになっていないか意識する(実践者、問1-12)

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		27	1.0	164	5.9	615	22.1	1231	44.3	2.50
経験 年数	～5年	10	0.9	80	7.0	260	22.9	518	45.6	2.48
	～10年	11	0.9	52	4.5	263	22.6	506	43.5	2.52
	～15年	2	0.6	18	5.8	57	18.4	132	42.6	2.53
	15年以上～	2	1.5	10	7.4	26	19.1	65	47.8	2.50
職位	施設・事業所の管理者	6	0.9	32	4.8	125	18.9	297	44.9	2.55
	リーダー・サブリーダー	14	1.1	71	5.6	277	22.0	561	44.6	2.50
	一般職員	6	0.8	58	7.4	197	25.2	344	44.0	2.45
	その他	1	1.6	3	4.9	13	21.3	23	37.7	2.45
受講 希望	指示により受講	23	1.0	134	6.1	504	23.0	946	43.1	2.48
	自ら希望して受講	4	0.7	29	5.2	108	19.3	274	48.9	2.57
	その他	-	-	1	7.1	2	14.3	4	28.6	2.43
職位の 変化	職位が上がった	6	1.4	15	3.4	82	18.7	200	45.6	2.57
	職位の変化はない	17	0.8	138	6.3	503	22.8	970	44.0	2.49
	職位が下がった	-	-	1	11.1	2	22.2	5	55.6	2.50
	比較できない	3	2.7	9	8.0	25	22.3	48	42.9	2.39
集合 研修	実施した	8	0.6	64	4.4	305	21.1	654	45.3	2.56
	実施していない	11	1.3	65	7.4	196	22.3	383	43.7	2.45
	わからない	7	1.7	34	8.1	110	26.1	173	41.0	2.39
外研 部修	受講した	12	0.9	74	5.4	285	20.7	614	44.6	2.52
	受講していない	15	1.1	85	6.5	306	23.4	580	44.3	2.47
個研 別修	仕組みがある	4	0.6	40	5.6	156	21.8	316	44.3	2.52
	仕組みはない	21	1.1	121	6.2	442	22.5	869	44.2	2.49
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	5	1.0	18	3.5	92	18.0	253	49.4	2.61
	できれば受講したい	20	1.1	107	5.9	406	22.6	790	43.9	2.49
	受講したくない	2	0.5	38	9.6	105	26.6	145	36.7	2.36

表１－７０ 認知症の人の生活の質を保障するために一人一人の認知症の人に起こりうるリスクを具体的に意識する（実践者、問 1-13）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		45	1.6	555	20.0	1106	39.8	705	25.4	2.02
経験 年数	～5年	17	1.5	257	22.6	465	40.9	258	22.7	1.97
	～10年	18	1.5	218	18.7	461	39.6	320	27.5	2.06
	～15年	5	1.6	49	15.8	117	37.7	84	27.1	2.10
	15年以上～	2	1.5	22	16.2	52	38.2	40	29.4	2.12
職位	施設・事業所の管理者	5	0.8	115	17.4	241	36.4	201	30.4	2.14
	リーダー・サブリーダー	29	2.3	230	18.3	533	42.3	302	24.0	2.01
	一般職員	10	1.3	192	24.6	310	39.7	183	23.4	1.96
	その他	1	1.6	17	27.9	13	21.3	16	26.2	1.94
受講 希望	指示により受講	37	1.7	459	20.9	871	39.7	535	24.4	2.00
	自ら希望して受講	7	1.3	93	16.6	223	39.8	167	29.8	2.12
	その他	1	7.1	3	21.4	5	35.7	1	7.1	1.60
職位の 変化	職位が上がった	7	1.6	64	14.6	171	39.0	123	28.0	2.12
	職位の変化はない	33	1.5	461	20.9	888	40.3	543	24.6	2.01
	職位が下がった	-	-	2	22.2	3	33.3	2	22.2	2.00
	比較できない	4	3.6	24	21.4	37	33.0	35	31.3	2.03
集合 研修	実施した	15	1.0	255	17.7	555	38.5	411	28.5	2.10
	実施していない	18	2.1	199	22.7	360	41.0	197	22.5	1.95
	わからない	11	2.6	98	23.2	172	40.8	90	21.3	1.92
外研 部修	受講した	21	1.5	242	17.6	534	38.8	389	28.3	2.09
	受講していない	24	1.8	290	22.2	534	40.8	299	22.8	1.97
個研 別修	仕組みがある	11	1.5	127	17.8	277	38.8	202	28.3	2.09
	仕組みはない	31	1.6	411	20.9	788	40.1	485	24.7	2.01
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	9	1.8	70	13.7	196	38.3	171	33.4	2.19
	できれば受講したい	28	1.6	378	21.0	731	40.6	429	23.8	2.00
	受講したくない	8	2.0	94	23.8	151	38.2	85	21.5	1.93

表1-71 一人一人の認知症の人に起こりうるリスクを回避するためにはどうしたらよいかを意識する（実践者、問1-14）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		40	1.4	523	18.8	1073	38.6	783	28.2	2.07
経験 年数	～5年	14	1.2	233	20.5	461	40.6	306	26.9	2.04
	～10年	18	1.5	218	18.7	432	37.1	346	29.7	2.09
	～15年	4	1.3	43	13.9	120	38.7	83	26.8	2.13
	15年以上～	2	1.5	19	14.0	49	36.0	45	33.1	2.19
職位	施設・事業所の管理者	6	0.9	93	14.0	261	39.4	215	32.5	2.19
	リーダー・サブリーダー	20	1.6	236	18.7	481	38.2	355	28.2	2.07
	一般職員	13	1.7	178	22.8	308	39.4	194	24.8	1.99
	その他	1	1.6	15	24.6	14	23.0	16	26.2	1.98
受講 希望	指示により受講	35	1.6	415	18.9	851	38.8	610	27.8	2.07
	自ら希望して受講	4	0.7	103	18.4	212	37.9	169	30.2	2.12
	その他	1	7.1	5	35.7	4	28.6	1	7.1	1.45
職位の 変化	職位が上がった	8	1.8	51	11.6	163	37.1	153	34.9	2.23
	職位の変化はない	29	1.3	446	20.2	862	39.1	588	26.7	2.04
	職位が下がった	-	-	2	22.2	3	33.3	2	22.2	2.00
	比較できない	3	2.7	19	17.0	40	35.7	36	32.1	2.11
集合 研修	実施した	8	0.6	238	16.5	562	38.9	438	30.4	2.15
	実施していない	20	2.3	189	21.6	330	37.6	227	25.9	2.00
	わからない	11	2.6	92	21.8	166	39.3	107	25.4	1.98
外研 部修	受講した	18	1.3	220	16.0	527	38.3	424	30.8	2.14
	受講していない	22	1.7	282	21.5	504	38.5	342	26.1	2.01
個研 別修	仕組みがある	8	1.1	120	16.8	272	38.1	225	31.5	2.14
	仕組みはない	31	1.6	385	19.6	767	39.0	527	26.8	2.05
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	5	1.0	76	14.8	189	36.9	184	35.9	2.22
	できれば受講したい	27	1.5	347	19.3	705	39.2	486	27.0	2.05
	受講したくない	8	2.0	88	22.3	146	37.0	95	24.1	1.97

表1-72 一人一人の認知症の人に起こりうるリスクを回避しようとするのが認知症の人の人権を侵害することになっていないか意識する（実践者、問1-15）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		55	2.0	589	21.2	1013	36.5	775	27.9	2.03
経験 年数	～5年	23	2.0	258	22.7	425	37.4	299	26.3	2.00
	～10年	25	2.1	232	19.9	423	36.3	349	30.0	2.07
	～15年	4	1.3	58	18.7	112	36.1	81	26.1	2.06
	15年以上～	2	1.5	30	22.1	42	30.9	42	30.9	2.07
職位	施設・事業所の管理者	9	1.4	107	16.2	236	35.6	220	33.2	2.17
	リーダー・サブリーダー	24	1.9	269	21.4	460	36.5	360	28.6	2.04
	一般職員	20	2.6	195	25.0	296	37.9	177	22.7	1.92
	その他	2	3.3	16	26.2	14	23.0	14	23.0	1.87
受講 希望	指示により受講	48	2.2	478	21.8	810	36.9	584	26.6	2.01
	自ら希望して受講	6	1.1	107	19.1	193	34.5	186	33.2	2.14
	その他	1	7.1	4	28.6	3	21.4	3	21.4	1.73
職位の 変化	職位が上がった	9	2.1	77	17.5	150	34.2	144	32.8	2.13
	職位の変化はない	42	1.9	484	22.0	813	36.9	593	26.9	2.01
	職位が下がった	-	-	3	33.3	1	11.1	3	33.3	2.00
	比較できない	4	3.6	22	19.6	41	36.6	32	28.6	2.02
集合 研修	実施した	17	1.2	269	18.6	523	36.2	454	31.5	2.12
	実施していない	21	2.4	208	23.7	326	37.2	213	24.3	1.95
	わからない	16	3.8	102	24.2	153	36.3	96	22.7	1.90
外研 部修	受講した	26	1.9	264	19.2	491	35.7	429	31.2	2.09
	受講していない	29	2.2	302	23.1	484	37.0	328	25.1	1.97
個研 別修	仕組みがある	14	2.0	125	17.5	266	37.3	222	31.1	2.11
	仕組みはない	39	2.0	437	22.2	714	36.3	531	27.0	2.01
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	8	1.6	79	15.4	184	35.9	191	37.3	2.21
	できれば受講したい	36	2.0	391	21.7	663	36.9	483	26.8	2.01
	受講したくない	11	2.8	105	26.6	139	35.2	82	20.8	1.87

表1-73 一人一人の認知症の人のアセスメントを適切に行うことができているかどうかを意識する（実践者、問1-16）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		40	1.4	511	18.4	1052	37.9	847	30.5	2.10
経験 年数	～5年	14	1.2	230	20.2	453	39.9	333	29.3	2.07
	～10年	19	1.6	193	16.6	434	37.3	372	32.0	2.14
	～15年	2	0.6	60	19.4	104	33.5	95	30.6	2.12
	15年以上～	3	2.2	18	13.2	50	36.8	44	32.4	2.17
職位	施設・事業所の管理者	5	0.8	103	15.6	253	38.2	213	32.2	2.17
	リーダー・サブリーダー	19	1.5	213	16.9	466	37.0	424	33.7	2.15
	一般職員	15	1.9	178	22.8	313	40.1	186	23.8	1.97
	その他	1	1.6	14	23.0	16	26.2	18	29.5	2.04
受講 希望	指示により受講	32	1.5	416	19.0	843	38.4	639	29.1	2.08
	自ら希望して受講	8	1.4	92	16.4	198	35.4	203	36.3	2.19
	その他	-	-	3	21.4	4	28.6	2	14.3	1.89
職位の 変化	職位が上がった	4	0.9	59	13.4	164	37.4	155	35.3	2.23
	職位の変化はない	33	1.5	426	19.3	843	38.3	643	29.2	2.08
	職位が下がった	-	-	3	33.3	3	33.3	2	22.2	1.88
	比較できない	3	2.7	22	19.6	35	31.3	42	37.5	2.14
集合 研修	実施した	14	1.0	235	16.3	558	38.7	462	32.0	2.16
	実施していない	13	1.5	184	21.0	334	38.1	244	27.8	2.04
	わからない	12	2.8	88	20.9	150	35.5	122	28.9	2.03
外研 部修	受講した	14	1.0	221	16.1	511	37.1	474	34.4	2.18
	受講していない	26	2.0	264	20.2	507	38.7	350	26.7	2.03
個研 別修	仕組みがある	7	1.0	114	16.0	279	39.1	235	32.9	2.17
	仕組みはない	33	1.7	371	18.9	743	37.8	580	29.5	2.08
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	8	1.6	71	13.9	180	35.2	203	39.6	2.25
	できれば受講したい	25	1.4	335	18.6	704	39.1	522	29.0	2.09
	受講したくない	7	1.8	92	23.3	144	36.5	94	23.8	1.96

表 1-74 ケアプランが、一人一人の認知症の人のアセスメントに基づいたプランになっているかを意識する（実践者、問 1-17）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重平均値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		45	1.6	460	16.6	898	32.3	981	35.3	2.18
経験年数	～5年	21	1.8	199	17.5	375	33.0	395	34.8	2.16
	～10年	19	1.6	178	15.3	386	33.2	421	36.2	2.20
	～15年	1	0.3	62	20.0	84	27.1	107	34.5	2.17
	15年以上～	2	1.5	15	11.0	42	30.9	52	38.2	2.30
職位	施設・事業所の管理者	6	0.9	94	14.2	212	32.0	250	37.8	2.26
	リーダー・サブリーダー	18	1.4	190	15.1	386	30.7	494	39.2	2.25
	一般職員	19	2.4	163	20.9	272	34.8	218	27.9	2.03
	その他	2	3.3	12	19.7	20	32.8	15	24.6	1.98
受講希望	指示により受講	38	1.7	378	17.2	709	32.3	755	34.4	2.16
	自ら希望して受講	7	1.3	79	14.1	182	32.5	218	38.9	2.26
	その他	-	-	2	14.3	2	14.3	4	28.6	2.25
職位の変化	職位が上がった	5	1.1	51	11.6	131	29.8	186	42.4	2.34
	職位の変化はない	40	1.8	384	17.4	730	33.1	738	33.5	2.14
	職位が下がった	-	-	2	22.2	2	22.2	5	55.6	2.33
	比較できない	-	-	21	18.8	31	27.7	44	39.3	2.24
集合研修	実施した	16	1.1	214	14.8	477	33.1	537	37.2	2.23
	実施していない	15	1.7	167	19.0	272	31.0	299	34.1	2.14
	わからない	12	2.8	76	18.0	140	33.2	125	29.6	2.07
外研部修	受講した	16	1.2	187	13.6	431	31.3	550	40.0	2.28
	受講していない	28	2.1	254	19.4	432	33.0	405	30.9	2.08
個研別修	仕組みがある	10	1.4	95	13.3	238	33.3	266	37.3	2.25
	仕組みはない	35	1.8	352	17.9	627	31.9	678	34.5	2.15
リーダー研修受講希望	必ず受講したい	6	1.2	76	14.8	139	27.1	220	43.0	2.30
	できれば受講したい	29	1.6	300	16.7	605	33.6	613	34.1	2.16
	受講したくない	9	2.3	78	19.7	129	32.7	116	29.4	2.06

表1-75 認知症介護において、自分は「認知症の本人」でも「家族」でもなく、あくまで認知症の人の生活の質向上のための援助者であることを意識する（実践者、問1-18）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		62	2.2	370	13.3	841	30.3	847	30.5	2.17
経験 年数	～5年	22	1.9	154	13.6	366	32.2	361	31.8	2.18
	～10年	25	2.1	153	13.1	344	29.6	346	29.7	2.16
	～15年	6	1.9	43	13.9	84	27.1	87	28.1	2.15
	15年以上～	5	3.7	13	9.6	37	27.2	49	36.0	2.25
職位	施設・事業所の管理者	11	1.7	79	11.9	188	28.4	227	34.3	2.25
	リーダー・サブリーダー	27	2.1	162	12.9	380	30.2	394	31.3	2.18
	一般職員	21	2.7	118	15.1	251	32.1	208	26.6	2.08
	その他	3	4.9	9	14.8	20	32.8	13	21.3	1.96
受講 希望	指示により受講	53	2.4	299	13.6	667	30.4	649	29.6	2.15
	自ら希望して受講	9	1.6	69	12.3	168	30.0	190	33.9	2.24
	その他	-	-	2	14.3	3	21.4	3	21.4	2.13
職位の 変化	職位が上がった	11	2.5	47	10.7	124	28.2	145	33.0	2.23
	職位の変化はない	48	2.2	295	13.4	677	30.7	657	29.8	2.16
	職位が下がった	-	-	2	22.2	3	33.3	3	33.3	2.13
	比較できない	3	2.7	22	19.6	34	30.4	38	33.9	2.10
集合 研修	実施した	28	1.9	171	11.9	408	28.3	485	33.6	2.24
	実施していない	20	2.3	123	14.0	286	32.6	245	27.9	2.12
	わからない	12	2.8	73	17.3	137	32.5	102	24.2	2.02
外研 部修	受講した	29	2.1	155	11.3	396	28.8	444	32.3	2.23
	受講していない	32	2.4	201	15.4	416	31.8	372	28.4	2.10
個研 別修	仕組みがある	11	1.5	93	13.0	211	29.6	231	32.4	2.21
	仕組みはない	51	2.6	265	13.5	603	30.7	582	29.6	2.14
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	11	2.1	61	11.9	139	27.1	189	36.9	2.27
	できれば受講したい	37	2.1	241	13.4	545	30.3	546	30.4	2.17
	受講したくない	11	2.8	60	15.2	135	34.2	87	22.0	2.02

表 1-76 認知症の人の生活の質向上のための援助者として認知症の人、家族、地域住民等と対人関係を持つことができているかを意識する（実践者、問 1-19）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		98	3.5	762	27.4	910	32.8	559	20.1	1.83
経験 年数	～5年	29	2.6	346	30.5	371	32.7	218	19.2	1.81
	～10年	49	4.2	294	25.3	392	33.7	242	20.8	1.85
	～15年	9	2.9	78	25.2	97	31.3	68	21.9	1.89
	15年以上～	4	2.9	37	27.2	39	28.7	30	22.1	1.86
職位	施設・事業所の管理者	15	2.3	156	23.6	205	31.0	175	26.4	1.98
	リーダー・サブリーダー	48	3.8	330	26.2	432	34.3	257	20.4	1.84
	一般職員	33	4.2	252	32.3	248	31.8	108	13.8	1.67
	その他	2	3.3	19	31.1	23	37.7	13	21.3	1.82
受講 希望	指示により受講	81	3.7	599	27.3	729	33.2	429	19.6	1.82
	自ら希望して受講	16	2.9	159	28.4	171	30.5	124	22.1	1.86
	その他	1	7.1	4	28.6	5	35.7	2	14.3	1.67
職位の 変化	職位が上がった	10	2.3	98	22.3	148	33.7	111	25.3	1.98
	職位の変化はない	83	3.8	628	28.5	715	32.5	414	18.8	1.79
	職位が下がった	1	11.1	1	11.1	3	33.3	2	22.2	1.86
	比較できない	3	2.7	31	27.7	38	33.9	29	25.9	1.92
集合 研修	実施した	42	2.9	370	25.6	477	33.1	312	21.6	1.88
	実施していない	33	3.8	264	30.1	274	31.2	169	19.3	1.78
	わからない	21	5.0	118	28.0	149	35.3	67	15.9	1.74
外研 部修	受講した	38	2.8	338	24.6	450	32.7	321	23.3	1.92
	受講していない	58	4.4	399	30.5	426	32.5	222	17.0	1.73
個研 別修	仕組みがある	26	3.6	180	25.2	233	32.6	167	23.4	1.89
	仕組みはない	71	3.6	557	28.3	647	32.9	365	18.6	1.80
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	9	1.8	136	26.6	142	27.7	146	28.5	1.98
	できれば受講したい	65	3.6	496	27.6	623	34.6	341	19.0	1.81
	受講したくない	20	5.1	116	29.4	115	29.1	59	14.9	1.69

表1-7-7 認知症介護において、自分と認知症の人との間で交わしている言語的コミュニケーションを意識する（実践者、問1-20）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		28	1.0	250	9.0	903	32.5	1092	39.3	2.35
経験 年数	～5年	11	1.0	116	10.2	397	34.9	424	37.3	2.30
	～10年	13	1.1	90	7.7	368	31.6	476	40.9	2.38
	～15年	2	0.6	29	9.4	92	29.7	119	38.4	2.36
	15年以上～	2	1.5	8	5.9	34	25.0	64	47.1	2.48
職位	施設・事業所の管理者	9	1.4	51	7.7	192	29.0	273	41.2	2.39
	リーダー・サブリーダー	9	0.7	114	9.1	408	32.4	493	39.2	2.35
	一般職員	9	1.2	79	10.1	281	36.0	297	38.0	2.30
	その他	1	1.6	5	8.2	19	31.1	23	37.7	2.33
受講 希望	指示により受講	24	1.1	204	9.3	716	32.6	849	38.7	2.33
	自ら希望して受講	4	0.7	44	7.9	179	32.0	235	42.0	2.40
	その他	-	-	2	14.3	4	28.6	2	14.3	2.00
職位の 変化	職位が上がった	5	1.1	33	7.5	120	27.3	190	43.3	2.42
	職位の変化はない	20	0.9	203	9.2	741	33.6	850	38.6	2.33
	職位が下がった	-	-	2	22.2	1	11.1	5	55.6	2.38
	比較できない	2	1.8	10	8.9	35	31.3	43	38.4	2.32
集合 研修	実施した	12	0.8	109	7.6	442	30.6	588	40.7	2.40
	実施していない	12	1.4	87	9.9	304	34.7	336	38.3	2.30
	わからない	3	0.7	51	12.1	149	35.3	148	35.1	2.26
外研 部修	受講した	13	0.9	96	7.0	423	30.7	563	40.9	2.40
	受講していない	15	1.1	141	10.8	447	34.1	493	37.7	2.29
個研 別修	仕組みがある	7	1.0	57	8.0	232	32.5	290	40.6	2.37
	仕組みはない	19	1.0	184	9.4	644	32.8	756	38.5	2.33
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	6	1.2	31	6.1	147	28.7	224	43.8	2.44
	できれば受講したい	20	1.1	163	9.1	596	33.1	701	39.0	2.34
	受講したくない	2	0.5	52	13.2	131	33.2	140	35.4	2.26

表 1-78 認知症介護において、自分と認知症の人との間で交わしている非言語的コミュニケーションを意識する（実践者、問 1-21）

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		30	1.1	302	10.9	907	32.6	1051	37.8	2.30
経験 年数	～5年	11	1.0	135	11.9	402	35.4	411	36.2	2.26
	～10年	14	1.2	112	9.6	374	32.1	457	39.3	2.33
	～15年	4	1.3	33	10.6	87	28.1	116	37.4	2.31
	15年以上～	1	0.7	13	9.6	34	25.0	58	42.6	2.41
職位	施設・事業所の管理者	6	0.9	63	9.5	177	26.7	273	41.2	2.38
	リーダー・サブリーダー	15	1.2	131	10.4	432	34.3	464	36.9	2.29
	一般職員	8	1.0	99	12.7	277	35.5	288	36.9	2.26
	その他	1	1.6	7	11.5	16	26.2	22	36.1	2.28
受講 希望	指示により受講	27	1.2	243	11.1	741	33.8	802	36.6	2.28
	自ら希望して受講	3	0.5	57	10.2	157	28.0	242	43.2	2.39
	その他	-	-	2	14.3	5	35.7	2	14.3	2.00
職位の 変化	職位が上がった	6	1.4	38	8.7	127	28.9	181	41.2	2.37
	職位の変化はない	20	0.9	250	11.3	735	33.4	822	37.3	2.29
	職位が下がった	-	-	1	11.1	3	33.3	4	44.4	2.38
	比較できない	3	2.7	12	10.7	33	29.5	41	36.6	2.26
集合 研修	実施した	11	0.8	134	9.3	432	29.9	587	40.7	2.37
	実施していない	13	1.5	119	13.6	301	34.3	314	35.8	2.23
	わからない	5	1.2	47	11.1	164	38.9	132	31.3	2.22
外研 部修	受講した	13	0.9	130	9.4	412	29.9	555	40.3	2.36
	受講していない	17	1.3	159	12.1	456	34.8	469	35.8	2.25
個研 別修	仕組みがある	5	0.7	70	9.8	226	31.7	290	40.6	2.36
	仕組みはない	23	1.2	221	11.2	643	32.7	724	36.8	2.28
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	6	1.2	35	6.8	143	27.9	232	45.3	2.44
	できれば受講したい	18	1.0	200	11.1	588	32.7	677	37.6	2.30
	受講したくない	6	1.5	64	16.2	143	36.2	118	29.9	2.13

表1-79 利用者同士の人間関係が一人一人の認知症の人にどのように影響しているのかを意識する（実践者、問 1-22）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		46	1.7	411	14.8	970	34.9	898	32.3	2.17
経験 年数	～5年	19	1.7	178	15.7	399	35.1	348	30.6	2.14
	～10年	19	1.6	170	14.6	401	34.5	395	33.9	2.19
	～15年	1	0.3	41	13.2	113	36.5	101	32.6	2.23
	15年以上～	4	2.9	16	11.8	44	32.4	49	36.0	2.22
職位	施設・事業所の管理者	11	1.7	94	14.2	222	33.5	227	34.3	2.20
	リーダー・サブリーダー	17	1.4	169	13.4	447	35.5	409	32.5	2.20
	一般職員	17	2.2	137	17.5	273	35.0	240	30.7	2.10
	その他	1	1.6	9	14.8	24	39.3	17	27.9	2.12
受講 希望	指示により受講	36	1.6	331	15.1	759	34.6	705	32.1	2.16
	自ら希望して受講	10	1.8	77	13.8	201	35.9	183	32.7	2.18
	その他	-	-	2	14.3	6	42.9	5	35.7	2.23
職位の 変化	職位が上がった	9	2.1	55	12.5	142	32.3	153	34.9	2.22
	職位の変化はない	34	1.5	337	15.3	784	35.6	695	31.5	2.16
	職位が下がった	-	-	1	11.1	3	33.3	3	33.3	2.29
	比較できない	3	2.7	17	15.2	32	28.6	43	38.4	2.21
集合 研修	実施した	15	1.0	184	12.8	522	36.2	468	32.4	2.21
	実施していない	20	2.3	150	17.1	295	33.6	282	32.2	2.12
	わからない	9	2.1	74	17.5	144	34.1	129	30.6	2.10
外研 部修	受講した	19	1.4	194	14.1	454	33.0	472	34.3	2.21
	受講していない	26	2.0	203	15.5	481	36.7	397	30.3	2.13
個研 別修	仕組みがある	9	1.3	101	14.1	252	35.3	243	34.0	2.20
	仕組みはない	34	1.7	298	15.2	690	35.1	620	31.6	2.15
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	5	1.0	67	13.1	166	32.4	204	39.8	2.29
	できれば受講したい	25	1.4	262	14.6	642	35.7	565	31.4	2.17
	受講したくない	14	3.5	76	19.2	142	35.9	101	25.6	1.99

表 1－80 住居環境がその認知症の人にどのように影響しているのかを意識する（実践者、問 1-23）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		59	2.1	531	19.1	954	34.3	808	29.1	2.07
経験 年数	～5年	32	2.8	246	21.7	389	34.2	314	27.6	2.00
	～10年	22	1.9	197	16.9	415	35.7	351	30.2	2.11
	～15年	3	1.0	52	16.8	103	33.2	95	30.6	2.15
	15年以上～	2	1.5	24	17.6	38	27.9	41	30.1	2.12
職位	施設・事業所の管理者	5	0.8	118	17.8	229	34.6	204	30.8	2.14
	リーダー・サブリーダー	27	2.1	226	18.0	441	35.0	367	29.2	2.08
	一般職員	24	3.1	174	22.3	260	33.3	215	27.5	1.99
	その他	3	4.9	10	16.4	18	29.5	20	32.8	2.08
受講 希望	指示により受講	52	2.4	432	19.7	758	34.5	624	28.4	2.05
	自ら希望して受講	7	1.3	96	17.1	187	33.4	176	31.4	2.14
	その他	-	-	2	14.3	4	28.6	4	28.6	2.20
職位の 変化	職位が上がった	9	2.1	78	17.8	140	31.9	146	33.3	2.13
	職位の変化はない	46	2.1	424	19.2	775	35.2	619	28.1	2.06
	職位が下がった	-	-	1	11.1	3	33.3	4	44.4	2.38
	比較できない	3	2.7	26	23.2	29	25.9	36	32.1	2.04
集合 研修	実施した	24	1.7	252	17.5	482	33.4	455	31.5	2.13
	実施していない	21	2.4	197	22.5	303	34.5	226	25.8	1.98
	わからない	13	3.1	78	18.5	156	37.0	114	27.0	2.03
外研 部修	受講した	27	2.0	262	19.0	457	33.2	406	29.5	2.08
	受講していない	32	2.4	255	19.5	460	35.1	374	28.6	2.05
個研 別修	仕組みがある	13	1.8	120	16.8	235	32.9	246	34.5	2.16
	仕組みはない	45	2.3	389	19.8	687	35.0	532	27.1	2.03
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	7	1.4	87	17.0	171	33.4	171	33.4	2.16
	できれば受講したい	37	2.1	346	19.2	623	34.6	522	29.0	2.07
	受講したくない	13	3.3	92	23.3	129	32.7	95	24.1	1.93

表1-81 地域社会が一人一人の認知症の人の生活に与えている影響を意識する（実践者、問1-24）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		160	5.8	791	28.5	894	32.2	485	17.5	1.73
経験 年数	～5年	76	6.7	341	30.0	357	31.4	177	15.6	1.67
	～10年	62	5.3	322	27.7	393	33.8	214	18.4	1.77
	～15年	11	3.5	83	26.8	94	30.3	63	20.3	1.83
	15年以上～	5	3.7	36	26.5	41	30.1	29	21.3	1.85
職位	施設・事業所の管理者	24	3.6	164	24.8	238	36.0	139	21.0	1.87
	リーダー・サブリーダー	80	6.4	364	28.9	394	31.3	218	17.3	1.71
	一般職員	53	6.8	239	30.6	240	30.7	114	14.6	1.64
	その他	3	4.9	17	27.9	20	32.8	11	18.0	1.76
受講 希望	指示により受講	134	6.1	627	28.6	708	32.3	363	16.5	1.71
	自ら希望して受講	26	4.6	155	27.7	181	32.3	116	20.7	1.81
	その他	-	-	7	50.0	1	7.1	3	21.4	1.64
職位の 変化	職位が上がった	21	4.8	111	25.3	159	36.2	81	18.5	1.81
	職位の変化はない	133	6.0	646	29.3	697	31.6	367	16.7	1.70
	職位が下がった	-	-	1	11.1	1	11.1	3	33.3	2.40
	比較できない	4	3.6	29	25.9	32	28.6	32	28.6	1.95
集合 研修	実施した	70	4.9	389	27.0	486	33.7	261	18.1	1.78
	実施していない	55	6.3	270	30.8	272	31.0	144	16.4	1.68
	わからない	33	7.8	126	29.9	122	28.9	69	16.4	1.65
外研 部修	受講した	59	4.3	378	27.5	448	32.6	255	18.5	1.79
	受講していない	96	7.3	389	29.7	410	31.3	217	16.6	1.67
個研 別修	仕組みがある	32	4.5	198	27.7	243	34.0	140	19.6	1.80
	仕組みはない	124	6.3	568	28.9	624	31.8	321	16.3	1.70
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	17	3.3	133	26.0	171	33.4	117	22.9	1.89
	できれば受講したい	103	5.7	518	28.8	587	32.6	309	17.2	1.73
	受講したくない	36	9.1	119	30.1	110	27.8	48	12.2	1.54

表 1－8 2 一人一人の認知症の人の生活がよりよいものになるように地域社会に働きかけることの大切さを意識する（実践者、問 1-25）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		139	5.0	737	26.5	846	30.5	661	23.8	1.85
経験 年数	～5年	58	5.1	317	27.9	353	31.1	237	20.9	1.80
	～10年	56	4.8	301	25.9	362	31.1	297	25.5	1.89
	～15年	14	4.5	76	24.5	83	26.8	83	26.8	1.92
	15年以上～	5	3.7	32	23.5	40	29.4	39	28.7	1.97
職位	施設・事業所の管理者	23	3.5	132	19.9	213	32.2	197	29.8	2.03
	リーダー・サブリーダー	63	5.0	361	28.7	395	31.4	277	22.0	1.81
	一般職員	50	6.4	224	28.7	222	28.4	162	20.7	1.75
	その他	3	4.9	14	23.0	14	23.0	21	34.4	2.02
受講 希望	指示により受講	112	5.1	604	27.5	669	30.5	492	22.4	1.82
	自ら希望して受講	27	4.8	130	23.2	170	30.4	161	28.8	1.95
	その他	-	-	3	21.4	3	21.4	3	21.4	2.00
職位の 変化	職位が上がった	18	4.1	103	23.5	154	35.1	102	23.2	1.90
	職位の変化はない	115	5.2	606	27.5	659	29.9	507	23.0	1.83
	職位が下がった	-	-	2	22.2	-	-	5	55.6	2.43
	比較できない	5	4.5	25	22.3	26	23.2	43	38.4	2.08
集合 研修	実施した	56	3.9	371	25.7	433	30.0	366	25.4	1.90
	実施していない	53	6.0	234	26.7	279	31.8	194	22.1	1.81
	わからない	28	6.6	127	30.1	124	29.4	87	20.6	1.74
外研 部修	受講した	47	3.4	326	23.7	437	31.8	361	26.2	1.95
	受講していない	86	6.6	393	30.0	381	29.1	277	21.2	1.75
個研 別修	仕組みがある	26	3.6	176	24.6	230	32.2	177	24.8	1.92
	仕組みはない	109	5.5	538	27.4	590	30.0	453	23.1	1.82
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	15	2.9	115	22.5	159	31.1	147	28.7	2.00
	できれば受講したい	83	4.6	501	27.8	541	30.1	435	24.2	1.85
	受講したくない	38	9.6	112	28.4	115	29.1	60	15.2	1.61

表1-83 認知症の人の生活の質を高めるために、自分の認知症介護にどのような課題があるのかを意識する（実践者、問1-26）

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できるよ うになった		だいたい意識できる ようになった		かなり意識できるよ うになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		48	1.7	524	18.9	1001	36.0	964	34.7	2.14
経験 年数	～5年	19	1.7	231	20.3	430	37.9	373	32.8	2.10
	～10年	18	1.5	195	16.8	414	35.6	436	37.5	2.19
	～15年	7	2.3	56	18.1	108	34.8	103	33.2	2.12
	15年以上～	4	2.9	29	21.3	38	27.9	48	35.3	2.09
職位	施設・事業所の管理者	15	2.3	99	15.0	222	33.5	248	37.5	2.20
	リーダー・サブリーダー	17	1.4	233	18.5	467	37.1	446	35.4	2.15
	一般職員	15	1.9	173	22.2	293	37.5	242	31.0	2.05
	その他	1	1.6	16	26.2	15	24.6	23	37.7	2.09
受講 希望	指示により受講	40	1.8	424	19.3	808	36.8	735	33.5	2.12
	自ら希望して受講	8	1.4	98	17.5	187	33.4	220	39.3	2.21
	その他	-	-	1	7.1	3	21.4	5	35.7	2.44
職位の 変化	職位が上がった	7	1.6	63	14.4	147	33.5	192	43.7	2.28
	職位の変化はない	37	1.7	432	19.6	806	36.6	728	33.0	2.11
	職位が下がった	-	-	2	22.2	3	33.3	4	44.4	2.22
	比較できない	4	3.6	23	20.5	38	33.9	36	32.1	2.05
集合 研修	実施した	20	1.4	246	17.0	500	34.7	530	36.7	2.19
	実施していない	20	2.3	180	20.5	331	37.7	286	32.6	2.08
	わからない	8	1.9	91	21.6	159	37.7	131	31.0	2.06
外研 部修	受講した	25	1.8	239	17.4	472	34.3	508	36.9	2.18
	受講していない	23	1.8	264	20.2	495	37.8	425	32.5	2.10
個研 別修	仕組みがある	9	1.3	127	17.8	262	36.7	256	35.9	2.17
	仕組みはない	38	1.9	378	19.2	705	35.9	675	34.4	2.12
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	12	2.3	59	11.5	159	31.1	240	46.9	2.33
	できれば受講したい	25	1.4	362	20.1	661	36.7	601	33.4	2.11
	受講したくない	11	2.8	96	24.3	149	37.7	96	24.3	1.94

表 1－8 4 自分の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか意識する(実践者、問 1-27)

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		59	2.1	591	21.3	979	35.2	862	31.0	2.06
経験 年数	～5年	24	2.1	254	22.4	424	37.3	334	29.4	2.03
	～10年	26	2.2	236	20.3	391	33.6	390	33.5	2.10
	～15年	2	0.6	60	19.4	113	36.5	90	29.0	2.10
	15年以上～	6	4.4	29	21.3	38	27.9	47	34.6	2.05
職位	施設・事業所の管理者	22	3.3	114	17.2	201	30.4	237	35.8	2.14
	リーダー・サブリーダー	22	1.7	257	20.4	476	37.8	392	31.1	2.08
	一般職員	14	1.8	203	26.0	278	35.6	209	26.8	1.97
	その他	1	1.6	14	23.0	19	31.1	19	31.1	2.06
受講 希望	指示により受講	48	2.2	488	22.2	767	35.0	670	30.5	2.04
	自ら希望して受講	11	2.0	101	18.0	206	36.8	183	32.7	2.12
	その他	－	－	1	7.1	4	28.6	3	21.4	2.25
職位の 変化	職位が上がった	8	1.8	74	16.9	150	34.2	162	36.9	2.18
	職位の変化はない	47	2.1	490	22.2	786	35.7	649	29.5	2.03
	職位が下がった	－	－	1	11.1	2	22.2	4	44.4	2.43
	比較できない	4	3.6	20	17.9	37	33.0	42	37.5	2.14
集合 研修	実施した	25	1.7	275	19.1	508	35.2	478	33.1	2.12
	実施していない	25	2.9	209	23.8	297	33.9	258	29.4	2.00
	わからない	9	2.1	101	23.9	164	38.9	108	25.6	1.97
外研 部修	受講した	33	2.4	281	20.4	451	32.8	463	33.6	2.09
	受講していない	25	1.9	289	22.1	499	38.1	370	28.3	2.03
個研 別修	仕組みがある	12	1.7	140	19.6	249	34.9	234	32.8	2.11
	仕組みはない	45	2.3	432	22.0	704	35.8	588	29.9	2.04
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	8	1.6	84	16.4	153	29.9	217	42.4	2.25
	できれば受講したい	35	1.9	389	21.6	645	35.9	546	30.4	2.05
	受講したくない	16	4.1	106	26.8	152	38.5	76	19.2	1.82

表1-85 自分の施設・事業所の認知症介護にどのような課題があるのかを意識する(実践者、問1-28)

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		45	1.6	471	17.0	964	34.7	980	35.3	2.17
経験 年数	～5年	16	1.4	222	19.5	407	35.8	379	33.4	2.12
	～10年	21	1.8	181	15.5	396	34.0	437	37.5	2.21
	～15年	2	0.6	42	13.5	105	33.9	112	36.1	2.25
	15年以上～	3	2.2	20	14.7	43	31.6	48	35.3	2.19
職位	施設・事業所の管理者	7	1.1	75	11.3	199	30.1	296	44.7	2.36
	リーダー・サブリーダー	20	1.6	205	16.3	464	36.9	444	35.3	2.18
	一般職員	15	1.9	177	22.7	284	36.4	209	26.8	2.00
	その他	3	4.9	11	18.0	13	21.3	27	44.3	2.19
受講 希望	指示により受講	38	1.7	397	18.1	762	34.7	738	33.6	2.14
	自ら希望して受講	7	1.3	73	13.0	193	34.5	232	41.4	2.29
	その他	-	-	1	7.1	6	42.9	4	28.6	2.27
職位の 変化	職位が上がった	5	1.1	46	10.5	144	32.8	198	45.1	2.36
	職位の変化はない	37	1.7	406	18.4	774	35.1	724	32.9	2.13
	職位が下がった	-	-	2	22.2	3	33.3	4	44.4	2.22
	比較できない	2	1.8	15	13.4	38	33.9	47	42.0	2.27
集合 研修	実施した	17	1.2	211	14.6	489	33.9	551	38.2	2.24
	実施していない	21	2.4	166	18.9	311	35.5	284	32.4	2.10
	わからない	6	1.4	90	21.3	153	36.3	126	29.9	2.06
外研 部修	受講した	23	1.7	203	14.8	441	32.0	544	39.5	2.24
	受講していない	20	1.5	249	19.0	490	37.4	408	31.2	2.10
個研 別修	仕組みがある	13	1.8	103	14.4	254	35.6	258	36.1	2.21
	仕組みはない	30	1.5	351	17.9	679	34.6	690	35.1	2.16
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	6	1.2	45	8.8	167	32.6	238	46.5	2.40
	できれば受講したい	28	1.6	316	17.6	628	34.9	629	35.0	2.16
	受講したくない	11	2.8	99	25.1	137	34.7	90	22.8	1.91

表1-86 自分の施設・事業所の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか意識する
(実践者、問1-29)

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できるよ うになった		だいたい意識できる ようになった		かなり意識できるよ うになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		52	1.9	523	18.8	1019	36.7	871	31.4	2.10
経験 年数	～5年	20	1.8	217	19.1	451	39.7	330	29.0	2.07
	～10年	23	2.0	220	18.9	408	35.1	385	33.1	2.11
	～15年	1	0.3	53	17.1	104	33.5	109	35.2	2.20
	15年以上～	5	3.7	26	19.1	43	31.6	44	32.4	2.07
職位	施設・事業所の管理者	9	1.4	81	12.2	223	33.7	271	40.9	2.29
	リーダー・サブリーダー	22	1.7	236	18.7	474	37.6	400	31.8	2.11
	一般職員	19	2.4	190	24.3	298	38.2	174	22.3	1.92
	その他	2	3.3	13	21.3	20	32.8	22	36.1	2.09
受講 希望	指示により受講	44	2.0	435	19.8	794	36.2	671	30.6	2.08
	自ら希望して受講	8	1.4	86	15.4	216	38.6	190	33.9	2.18
	その他	-	-	1	7.1	5	35.7	6	42.9	2.42
職位の 変化	職位が上がった	5	1.1	51	11.6	160	36.4	178	40.5	2.30
	職位の変化はない	42	1.9	447	20.3	810	36.8	643	29.2	2.06
	職位が下がった	-	-	2	22.2	4	44.4	3	33.3	2.11
	比較できない	4	3.6	19	17.0	39	34.8	43	38.4	2.15
集合 研修	実施した	22	1.5	233	16.1	535	37.1	484	33.5	2.16
	実施していない	20	2.3	188	21.4	318	36.3	256	29.2	2.04
	わからない	9	2.1	97	23.0	158	37.4	111	26.3	1.99
外研 部修	受講した	27	2.0	226	16.4	478	34.7	491	35.7	2.17
	受講していない	25	1.9	279	21.3	501	38.3	358	27.3	2.02
個研 別修	仕組みがある	15	2.1	121	16.9	248	34.7	246	34.5	2.15
	仕組みはない	36	1.8	379	19.3	739	37.6	598	30.4	2.08
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	6	1.2	63	12.3	178	34.8	214	41.8	2.30
	できれば受講したい	34	1.9	345	19.2	661	36.7	564	31.4	2.09
	受講したくない	12	3.0	104	26.3	146	37.0	74	18.7	1.84

表1-87 他の職員の意見・考えを聴くことを意識する（実践者、問1-30）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		28	1.0	192	6.9	699	25.2	1217	43.8	2.45
経験 年数	～5年	9	0.8	84	7.4	293	25.8	507	44.6	2.45
	～10年	13	1.4	67	5.8	282	24.2	532	45.7	2.49
	～15年	2	0.6	26	8.4	78	25.2	112	36.1	2.38
	15年以上～	3	2.2	12	8.8	31	22.8	58	42.6	2.38
職位	施設・事業所の管理者	8	1.2	41	6.2	146	22.1	300	45.3	2.49
	リーダー・サブリーダー	11	0.9	89	7.1	324	25.7	566	45.0	2.46
	一般職員	7	0.9	55	7.0	217	27.8	314	40.2	2.41
	その他	2	3.3	6	9.8	8	13.1	30	49.2	2.43
受講 希望	指示により受講	25	1.1	152	6.9	541	24.7	961	43.8	2.45
	自ら希望して受講	3	0.5	39	7.0	155	27.7	243	43.4	2.45
	その他	-	-	1	7.1	-	-	8	57.1	2.78
職位の 変化	職位が上がった	6	1.4	20	4.6	86	19.6	230	52.4	2.58
	職位の変化はない	18	0.8	164	7.4	579	26.3	927	42.1	2.43
	職位が下がった	-	-	1	11.1	1	11.1	5	55.6	2.57
	比較できない	3	2.7	7	6.3	29	25.9	49	43.8	2.41
集合 研修	実施した	12	0.8	96	6.7	362	25.1	620	43.0	2.46
	実施していない	11	1.3	61	7.0	225	25.7	391	44.6	2.45
	わからない	4	0.9	33	7.8	107	25.4	183	43.4	2.43
外研 部修	受講した	15	1.1	82	6.0	333	24.2	609	44.3	2.48
	受講していない	12	0.9	104	7.9	336	25.7	574	43.9	2.43
個研 別修	仕組みがある	6	0.8	39	5.5	184	25.8	319	44.7	2.49
	仕組みはない	19	1.0	147	7.5	494	25.1	851	43.3	2.44
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	11	2.1	27	5.3	125	24.4	245	47.9	2.48
	できれば受講したい	14	0.8	130	7.2	445	24.7	779	43.3	2.45
	受講したくない	3	0.8	34	8.6	108	27.3	158	40.0	2.39

表 1－88 自分の意見・考えを他の職員に伝えることを意識する（実践者、問 1-31）

		ほとんど意識できる ようにならなかった		少し意識できるよ うになった		だいたい意識できる ようになった		かなり意識できるよ うになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		32	1.2	284	10.2	844	30.4	1066	38.4	2.32
経験 年数	～5年	11	1.0	137	12.1	361	31.8	434	38.2	2.29
	～10年	14	1.2	96	8.2	337	29.0	475	40.8	2.38
	～15年	3	1.0	32	10.3	95	30.6	102	32.9	2.28
	15年以上～	2	1.5	13	9.6	40	29.4	49	36.0	2.31
職位	施設・事業所の管理者	7	1.1	50	7.6	175	26.4	270	40.8	2.41
	リーダー・サブリーダー	11	0.9	109	8.7	390	31.0	521	41.4	2.38
	一般職員	12	1.5	116	14.9	257	32.9	244	31.2	2.17
	その他	1	1.6	7	11.5	19	31.1	26	42.6	2.32
受講 希望	指示により受講	27	1.2	243	11.1	664	30.3	822	37.5	2.30
	自ら希望して受講	5	0.9	40	7.1	179	32.0	230	41.1	2.40
	その他	-	-	-	-	1	7.1	7	50.0	2.88
職位の 変化	職位が上がった	4	0.9	31	7.1	119	27.1	205	46.7	2.46
	職位の変化はない	24	1.1	241	10.9	687	31.2	808	36.7	2.29
	職位が下がった	-	-	2	22.2	1	11.1	4	44.4	2.29
	比較できない	3	2.7	8	7.1	35	31.3	43	38.4	2.33
集合 研修	実施した	9	0.6	115	8.0	438	30.4	576	39.9	2.39
	実施していない	16	1.8	116	13.2	260	29.6	330	37.6	2.25
	わからない	5	1.2	51	12.1	140	33.2	140	33.2	2.24
外研 部修	受講した	14	1.0	121	8.8	389	28.3	562	40.8	2.38
	受講していない	18	1.4	153	11.7	420	32.1	473	36.1	2.27
個研 別修	仕組みがある	4	0.6	60	8.4	219	30.7	287	40.2	2.38
	仕組みはない	26	1.3	214	10.9	598	30.4	742	37.8	2.30
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	9	1.8	33	6.4	160	31.3	222	43.4	2.40
	できれば受講したい	18	1.0	179	9.9	543	30.2	692	38.5	2.33
	受講したくない	4	1.0	66	16.7	120	30.4	122	30.9	2.15

表1-89 自分自身がチームの一員として力を発揮しようと意識する（実践者、問1-32）

		ほとんど意識できるようにならなかった		少し意識できるようになった		だいたい意識できるようになった		かなり意識できるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		36	1.3	214	7.7	741	26.7	1177	42.4	2.41
経験 年数	～5年	11	1.0	100	8.8	321	28.3	478	42.1	2.39
	～10年	18	1.5	73	6.3	292	25.1	524	45.0	2.46
	～15年	3	1.0	23	7.4	87	28.1	113	36.5	2.37
	15年以上～	3	2.2	8	5.9	33	24.3	56	41.2	2.42
職位	施設・事業所の管理者	9	1.4	36	5.4	157	23.7	290	43.8	2.48
	リーダー・サブリーダー	15	1.2	87	6.9	343	27.2	566	45.0	2.44
	一般職員	11	1.4	84	10.8	220	28.2	294	37.6	2.31
	その他	1	1.6	6	9.8	18	29.5	21	34.4	2.28
受講 希望	指示により受講	28	1.3	175	8.0	609	27.8	900	41.0	2.39
	自ら希望して受講	8	1.4	37	6.6	131	23.4	263	47.0	2.48
	その他	-	-	1	7.1	1	7.1	7	50.0	2.67
職位の 変化	職位が上がった	5	1.1	23	5.2	94	21.4	233	53.1	2.56
	職位の変化はない	27	1.2	179	8.1	613	27.8	890	40.4	2.38
	職位が下がった	-	-	1	11.1	1	11.1	3	33.3	2.40
	比較できない	3	2.7	9	8.0	30	26.8	46	41.1	2.35
集合 研修	実施した	12	0.8	85	5.9	381	26.4	629	43.6	2.47
	実施していない	15	1.7	91	10.4	232	26.5	358	40.8	2.34
	わからない	8	1.9	33	7.8	122	28.9	172	40.8	2.37
外研 部修	受講した	18	1.3	93	6.8	347	25.2	606	44.0	2.45
	受講していない	17	1.3	110	8.4	365	27.9	536	40.9	2.38
個研 別修	仕組みがある	7	1.0	44	6.2	184	25.8	312	43.7	2.46
	仕組みはない	27	1.4	157	8.0	533	27.1	828	42.1	2.40
リーダー 研修受 講希望	必ず受講したい	9	1.8	22	4.3	121	23.6	255	49.8	2.53
	できれば受講したい	22	1.2	131	7.3	475	26.4	764	42.5	2.42
	受講したくない	5	1.3	54	13.7	121	30.6	132	33.4	2.22

表 1－90 職員が自分の認知症介護の理念を意識しているかどうかを考える（リーダー、問 1-1）

		ほとんど考えられる ようにならなかった		少し考えられるよ うになった		だいたい考えられ るようになった		かなり考えられる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		5	1.7	84	28.2	89	29.9	74	24.8	1.92
経験 年数	～5年	1	1.8	16	29.1	17	30.9	13	23.6	1.89
	～10年	4	2.7	43	28.9	38	25.5	35	23.5	1.87
	～15年	－	－	17	24.6	24	34.8	20	29.0	2.05
	15年以上～	－	－	8	33.3	10	41.7	5	20.8	1.87
職位	施設・事業所の管理者	1	0.8	28	21.7	38	29.5	38	29.5	2.08
	リーダー・サブリーダー	－	－	47	34.3	43	31.4	29	21.2	1.85
	一般職員	3	10.0	9	30.0	8	26.7	6	20.0	1.65
	その他	1	50.0	－	－	－	－	1	50.0	1.50
受講 希望	指示により受講	1	0.6	50	31.3	54	33.8	32	20.0	1.85
	自ら希望して受講	4	2.9	33	24.3	35	25.7	41	30.1	2.00
	その他	－	－	－	－	－	－	1	100.0	3.00
職位 の 変化	職位が上がった	－	－	10	34.5	8	27.6	6	20.7	1.83
	職位の変化はない	4	1.5	72	27.8	78	30.1	66	25.5	1.94
	職位が下がった	－	－	2	66.7	－	－	1	33.3	1.67
	比較できない	1	20.0	－	－	2	40.0	1	20.0	1.75
集合 研修	実施した	3	1.3	63	27.8	60	26.4	61	26.9	1.96
	実施していない	2	3.6	16	28.6	23	41.1	11	19.6	1.83
	わからない	－	－	4	30.8	5	38.5	2	15.4	1.82
外部 研修	受講した	5	2.5	54	26.7	59	29.2	52	25.7	1.93
	受講していない	－	－	30	31.3	30	31.3	22	22.9	1.90
個別 研修	仕組みがある	2	2.2	25	27.5	27	29.7	22	24.2	1.91
	仕組みはない	3	1.5	55	27.2	61	30.2	52	25.7	1.95
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	2	3.4	15	25.9	13	22.4	19	32.8	2.00
	できれば受講したい	2	1.4	36	25.2	46	32.2	40	28.0	2.00
	受講したくない	1	1.1	29	32.6	29	32.6	14	15.7	1.77

表1-91 職員が、所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識しているかどうかを考える
(リーダー、問1-2)

		ほとんど考えられる ようにならなかった		少し考えられるよ うになった		だいたい考えられ るようになった		かなり考えられる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		5	1.7	73	24.5	94	31.5	78	26.2	1.98
経験 年数	～5年	-	-	16	29.1	17	30.9	13	23.6	1.93
	～10年	4	2.7	33	22.1	46	30.9	39	26.2	1.98
	～15年	1	1.4	16	23.2	24	34.8	18	26.1	2.00
	15年以上～	-	-	8	33.3	7	29.2	7	29.2	1.95
職位	施設・事業所の管理者	1	0.8	23	17.8	41	31.8	39	30.2	2.13
	リーダー・サブリーダー	2	1.5	40	29.2	46	33.6	31	22.6	1.89
	一般職員	2	6.7	9	30.0	7	23.3	7	23.3	1.76
	その他	-	-	1	50.0	-	-	1	50.0	2.00
受講 希望	指示により受講	1	0.6	44	27.5	58	36.3	36	22.5	1.93
	自ら希望して受講	4	2.9	28	20.6	36	26.5	41	30.1	2.05
	その他	-	-	-	-	-	-	1	100.0	3.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	8	27.6	10	34.5	6	20.7	1.84
	職位の変化はない	4	1.5	63	24.3	82	31.7	69	26.6	1.99
	職位が下がった	-	-	1	33.3	1	33.3	-	-	1.50
	比較できない	-	-	1	20.0	1	20.0	2	40.0	2.25
集合 研修	実施した	1	0.4	54	23.8	70	30.8	66	29.1	2.05
	実施していない	3	5.4	14	25.0	22	39.3	8	14.3	1.74
	わからない	1	7.7	4	30.8	1	7.7	4	30.8	1.80
外部 研修	受講した	5	2.5	46	22.8	62	30.7	58	28.7	2.01
	受講していない	-	-	27	28.1	32	33.3	20	20.8	1.91
個別 研修	仕組みがある	1	1.1	22	24.2	30	33.0	24	26.4	2.00
	仕組みはない	4	2.0	47	23.3	63	31.2	54	26.7	1.99
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	2	3.4	15	25.9	14	24.1	19	32.8	2.00
	できれば受講したい	3	2.1	31	21.7	48	33.6	41	28.7	2.03
	受講したくない	-	-	24	27.0	29	32.6	18	20.2	1.92

表1-92 職員が所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識できるためにはリーダーとしてどうしたらよいかを考える（リーダー、問1-3）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重平均値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		3	1.0	50	16.8	99	33.2	115	38.6	2.22
経験年数	～5年	1	1.8	8	14.5	19	34.5	20	36.4	2.21
	～10年	2	1.3	31	20.8	42	28.2	58	38.9	2.17
	～15年	-	-	9	13.0	26	37.7	30	43.5	2.32
	15年以上～	-	-	2	8.3	11	45.8	7	29.2	2.25
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	14	10.9	43	33.3	50	38.8	2.29
	リーダー・サブリーダー	1	0.7	25	18.2	50	36.5	54	39.4	2.21
	一般職員	-	-	10	33.3	6	20.0	10	33.3	2.00
	その他	-	-	1	50.0	-	-	1	50.0	2.00
受講希望	指示により受講	-	-	35	21.9	58	36.3	54	33.8	2.13
	自ら希望して受講	3	2.2	13	9.6	41	30.1	61	44.9	2.36
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位の変化	職位が上がった	1	3.4	4	13.8	15	51.7	9	31.0	2.10
	職位の変化はない	1	0.4	45	17.4	80	30.9	103	39.8	2.24
	職位が下がった	-	-	-	-	3	100.0	-	-	2.00
	比較できない	1	20.0	1	20.0	1	20.0	2	40.0	1.80
集合研修	実施した	1	0.4	37	16.3	73	32.2	92	40.5	2.26
	実施していない	1	1.8	10	17.9	20	35.7	18	32.1	2.12
	わからない	1	7.7	2	15.4	6	46.2	4	30.8	2.00
外部研修	受講した	2	1.0	32	15.8	62	30.7	85	42.1	2.27
	受講していない	1	1.0	18	18.8	37	38.5	30	31.3	2.12
個別研修	仕組みがある	-	-	10	11.0	28	30.8	43	47.3	2.41
	仕組みはない	3	1.5	37	18.3	69	34.2	72	35.6	2.16
指導者研修受講希望	必ず受講したい	-	-	8	13.8	19	32.8	23	39.7	2.30
	できれば受講したい	3	2.1	20	14.0	48	33.6	60	42.0	2.26
	受講したくない	-	-	21	23.6	29	32.6	29	32.6	2.10

表 1-93 自施設・事業所での認知症介護において適切にリスクマネジメントを行っていくためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問 1-4）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		6	2.0	58	19.5	104	34.9	96	32.2	2.10
経験 年数	～5年	1	1.8	6	10.9	23	41.8	19	34.5	2.22
	～10年	5	3.4	31	20.8	50	33.6	45	30.2	2.03
	～15年	-	-	17	24.6	23	33.3	21	30.4	2.07
	15年以上～	-	-	4	16.7	7	29.2	11	45.8	2.32
職位	施設・事業所の管理者	3	2.3	20	15.5	43	33.3	43	33.3	2.16
	リーダー・サブリーダー	3	2.2	34	24.8	46	33.6	44	32.1	2.03
	一般職員	-	-	4	13.3	14	46.7	8	26.7	2.15
	その他	-	-	-	-	1	50.0	1	50.0	2.50
受講 希望	指示により受講	3	1.9	34	21.3	60	37.5	46	28.8	2.04
	自ら希望して受講	3	2.2	22	16.2	44	32.4	50	36.8	2.18
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	7	24.1	10	34.5	11	37.9	2.07
	職位の変化はない	4	1.5	49	18.9	91	35.1	83	32.0	2.11
	職位が下がった	-	-	2	66.7	1	33.3	-	-	1.33
	比較できない	1	20.0	-	-	2	40.0	2	40.0	2.00
集合 研修	実施した	4	1.8	44	19.4	77	33.9	74	32.6	2.11
	実施していない	1	1.8	9	16.1	24	42.9	17	30.4	2.12
	わからない	1	7.7	4	30.8	3	23.1	5	38.5	1.92
外部 研修	受講した	3	1.5	37	18.3	70	34.7	68	33.7	2.14
	受講していない	3	3.1	21	21.9	34	35.4	28	29.2	2.01
個別 研修	仕組みがある	-	-	10	11.0	29	31.9	34	37.4	2.33
	仕組みはない	6	3.0	46	22.8	74	36.6	60	29.7	2.01
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	-	-	7	12.1	21	36.2	24	41.4	2.33
	できれば受講したい	6	4.2	28	19.6	45	31.5	49	34.3	2.07
	受講したくない	-	-	22	24.7	36	40.4	19	21.3	1.96

表1-94 認知症の人の家族を支援するためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-5）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		6	2.0	60	20.1	104	34.9	86	28.9	2.05
経験 年数	～5年	1	1.8	12	21.8	23	41.8	13	23.6	1.98
	～10年	4	2.7	35	23.5	47	31.5	39	26.2	1.97
	～15年	1	1.4	11	15.9	25	36.2	24	34.8	2.18
	15年以上～	-	-	2	8.3	8	33.3	10	41.7	2.40
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	18	14.0	42	32.6	38	29.5	2.16
	リーダー・サブリーダー	3	2.2	32	23.4	52	38.0	39	28.5	2.01
	一般職員	1	3.3	10	33.3	9	30.0	8	26.7	1.86
	その他	-	-	-	-	1	50.0	1	50.0	2.50
受講 希望	指示により受講	2	1.3	41	25.6	58	36.3	38	23.8	1.95
	自ら希望して受講	4	2.9	17	12.5	46	33.8	48	35.3	2.20
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	4	13.8	14	48.3	9	31.0	2.11
	職位の変化はない	4	1.5	52	20.1	89	34.4	75	29.0	2.07
	職位が下がった	-	-	2	66.7	1	33.3	-	-	1.33
	比較できない	1	20.0	2	40.0	-	-	2	40.0	1.60
集合 研修	実施した	3	1.3	45	19.8	80	35.2	67	29.5	2.08
	実施していない	2	3.6	10	17.9	20	35.7	15	26.8	2.02
	わからない	1	7.7	4	30.8	3	23.1	4	30.8	1.83
外部 研修	受講した	4	2.0	32	15.8	75	37.1	64	31.7	2.14
	受講していない	2	2.1	28	29.2	29	30.2	22	22.9	1.88
個別 研修	仕組みがある	-	-	12	13.2	27	29.7	38	41.8	2.34
	仕組みはない	6	3.0	45	22.3	76	37.6	47	23.3	1.94
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	1	1.7	8	13.8	20	34.5	23	39.7	2.25
	できれば受講したい	3	2.1	33	23.1	45	31.5	45	31.5	2.05
	受講したくない	2	2.2	16	18.0	38	42.7	15	16.9	1.93

表1-95 職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントを行っていくためにリーダーとして
 どうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-6）

		ほとんど考えられる ようにならなかった		少し考えられるよ うになった		だいたい考えら れるようになった		かなり考えられる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		6	2.0	83	27.9	76	25.5	92	30.9	1.99
経験 年数	～5年	2	3.6	12	21.8	17	30.9	16	29.1	2.00
	～10年	3	2.0	44	29.5	34	22.8	48	32.2	1.98
	～15年	1	1.4	21	30.4	17	24.6	22	31.9	1.98
	15年以上～	-	-	5	20.8	8	33.3	6	25.0	2.05
職位	施設・事業所の管理者	1	0.8	35	27.1	28	21.7	39	30.2	2.02
	リーダー・サブリーダー	2	1.5	40	29.2	43	31.4	43	31.4	1.99
	一般職員	3	10.0	7	23.3	5	16.7	9	30.0	1.83
	その他	-	-	1	50.0	-	-	1	50.0	2.00
受講 希望	指示により受講	3	1.9	49	30.6	41	25.6	48	30.0	1.95
	自ら希望して受講	3	2.2	33	24.3	35	25.7	43	31.6	2.04
	その他	-	-	-	-	-	-	1	100.0	3.00
職位 の 変化	職位が上がった	-	-	9	31.0	11	37.9	8	27.6	1.96
	職位の変化はない	4	1.5	72	27.8	65	25.1	82	31.7	2.01
	職位が下がった	-	-	2	66.7	-	-	1	33.3	1.67
	比較できない	2	40.0	-	-	-	-	1	20.0	1.00
集合 研修	実施した	3	1.3	61	26.9	63	27.8	70	30.8	2.02
	実施していない	2	3.6	18	32.1	11	19.6	15	26.8	1.85
	わからない	1	7.7	2	15.4	2	15.4	7	53.8	2.25
外部 研修	受講した	3	1.5	58	28.7	51	25.2	63	31.2	1.99
	受講していない	3	3.1	25	26.0	25	26.0	29	30.2	1.98
個別 研修	仕組みがある	2	2.2	20	22.0	26	28.6	29	31.9	2.06
	仕組みはない	4	2.0	60	29.7	49	24.3	62	30.7	1.97
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	1	1.7	10	17.2	19	32.8	20	34.5	2.16
	できれば受講したい	2	1.4	47	32.9	36	25.2	41	28.7	1.92
	受講したくない	3	3.4	25	28.1	21	23.6	24	27.0	1.90

表1-96 自施設・事業所を利用する認知症の人の支援において地域資源を適切に活用するためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-7）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		12	4.0	104	34.9	82	27.5	57	19.1	1.72
経験 年数	～5年	4	7.3	17	30.9	16	29.1	11	20.0	1.71
	～10年	7	4.7	51	34.2	40	26.8	27	18.1	1.70
	～15年	1	1.4	28	40.6	19	27.5	13	18.8	1.72
	15年以上～	-	-	8	33.3	6	25.0	6	25.0	1.90
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	39	30.2	37	28.7	31	24.0	1.89
	リーダー・サブリーダー	7	5.1	52	38.0	37	27.0	20	14.6	1.60
	一般職員	3	10.0	12	40.0	8	26.7	5	16.7	1.54
	その他	-	-	1	50.0	-	-	1	50.0	2.00
受講 希望	指示により受講	7	4.4	64	40.0	43	26.9	22	13.8	1.59
	自ら希望して受講	5	3.7	38	27.9	39	28.7	35	25.7	1.89
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	9	31.0	11	37.9	5	17.2	1.77
	職位の変化はない	9	3.5	93	35.9	69	26.6	50	19.3	1.72
	職位が下がった	-	-	-	-	2	66.7	-	-	2.00
	比較できない	2	40.0	2	40.0	-	-	1	20.0	1.00
集合 研修	実施した	11	4.8	75	33.0	61	26.9	44	19.4	1.72
	実施していない	-	-	22	39.3	15	26.8	12	21.4	1.80
	わからない	1	7.7	6	46.2	5	38.5	1	7.7	1.46
外部 研修	受講した	3	1.5	71	35.1	53	26.2	44	21.8	1.81
	受講していない	9	9.4	33	34.4	29	30.2	13	13.5	1.55
個別 研修	仕組みがある	3	3.3	27	29.7	22	24.2	22	24.2	1.85
	仕組みはない	9	4.5	75	37.1	59	29.2	35	17.3	1.67
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	3	5.2	12	20.7	20	34.5	18	31.0	2.00
	できれば受講したい	6	4.2	51	35.7	36	25.2	29	20.3	1.72
	受講したくない	3	3.4	38	42.7	23	25.8	10	11.2	1.54

表1-97 職員の人材育成に取り組むために、リーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-8）

		ほとんど考えられる ようにならなかった		少し考えられるよ うになった		だいたい考えら れるようになった		かなり考えられるよ うになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		5	1.7	58	19.5	82	27.5	109	36.6	2.16
経験 年数	～5年	1	1.8	13	23.6	22	40.0	13	23.6	1.96
	～10年	4	2.7	30	20.1	35	23.5	58	38.9	2.16
	～15年	-	-	12	17.4	17	24.6	27	39.1	2.27
	15年以上～	-	-	2	8.3	8	33.3	11	45.8	2.43
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	18	14.0	27	20.9	52	40.3	2.30
	リーダー・サブリーダー	2	1.5	29	21.2	49	35.8	48	35.0	2.12
	一般職員	1	3.3	10	33.3	6	20.0	8	26.7	1.84
	その他	-	-	1	50.0	-	-	1	50.0	2.00
受講 希望	指示により受講	-	-	39	24.4	52	32.5	55	34.4	2.11
	自ら希望して受講	4	2.9	19	14.0	30	22.1	53	39.0	2.25
	その他	-	-	-	-	-	-	1	100.0	3.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	6	20.7	9	31.0	12	41.4	2.14
	職位の変化はない	3	1.2	50	19.3	72	27.8	94	36.3	2.17
	職位が下がった	-	-	1	33.3	1	33.3	1	33.3	2.00
	比較できない	1	20.0	1	20.0	-	-	1	20.0	1.33
集合 研修	実施した	2	0.9	39	17.2	67	29.5	85	37.4	2.22
	実施していない	1	1.8	17	30.4	13	23.2	17	30.4	1.96
	わからない	1	7.7	2	15.4	2	15.4	6	46.2	2.18
外部 研修	受講した	3	1.5	37	18.3	52	25.7	81	40.1	2.22
	受講していない	2	2.1	21	21.9	30	31.3	28	29.2	2.04
個別 研修	仕組みがある	-	-	13	14.3	25	27.5	38	41.8	2.33
	仕組みはない	4	2.0	42	20.8	57	28.2	70	34.7	2.12
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	1	1.7	9	15.5	16	27.6	20	34.5	2.20
	できれば受講したい	3	2.1	26	18.2	36	25.2	56	39.2	2.20
	受講したくない	-	-	22	24.7	30	33.7	27	30.3	2.06

表1－98 職員の意欲や動機付けを高めるためにカンファレンスにおいてリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-9）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		4	1.3	53	17.8	104	34.9	97	32.6	2.14
経験 年数	～5年	1	1.8	12	21.8	22	40.0	14	25.5	2.00
	～10年	3	2.0	26	17.4	51	34.2	50	33.6	2.14
	～15年	－	－	12	17.4	21	30.4	24	34.8	2.21
	15年以上～	－	－	3	12.5	9	37.5	9	37.5	2.29
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	17	13.2	43	33.3	50	38.8	2.26
	リーダー・サブリーダー	1	0.7	28	20.4	54	39.4	39	28.5	2.07
	一般職員	1	3.3	7	23.3	7	23.3	7	23.3	1.91
	その他	－	－	1	50.0	－	－	1	50.0	2.00
受講 希望	指示により受講	1	0.6	36	22.5	63	39.4	42	26.2	2.03
	自ら希望して受講	3	2.2	16	11.8	40	29.4	55	40.4	2.29
	その他	－	－	－	－	1	100.0	－	－	2.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	9	31.0	9	31.0	8	27.6	1.89
	職位の変化はない	1	0.4	43	16.6	94	36.3	86	33.2	2.18
	職位が下がった	－	－	1	33.3	1	33.3	－	－	1.50
	比較できない	2	40.0	－	－	－	－	2	40.0	1.50
集合 研修	実施した	2	0.9	42	18.5	75	33.0	81	35.7	2.18
	実施していない	1	1.8	8	14.3	24	42.9	12	21.4	2.04
	わからない	1	7.7	2	15.4	4	30.8	4	30.8	2.00
外部 研修	受講した	3	1.5	32	15.8	70	34.7	73	36.1	2.20
	受講していない	1	1.0	21	21.9	34	35.4	24	25.0	2.01
個別 研修	仕組みがある	1	1.1	10	11.0	33	36.3	32	35.2	2.26
	仕組みはない	3	1.5	39	19.3	71	35.1	65	32.2	2.11
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	－	－	6	10.3	20	34.5	24	41.4	2.36
	できれば受講したい	3	2.1	25	17.5	46	32.2	49	34.3	2.15
	受講したくない	1	1.1	20	22.5	34	38.2	23	25.8	2.01

表1-99 スーパービジョンやコーチングを適切に行っていくためにリーダーとしてどう行動したらよいかを考える（リーダー、問1-10）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		8	2.7	88	29.5	88	29.5	80	26.8	1.91
経験 年数	～5年	1	1.8	20	36.4	17	30.9	11	20.0	1.78
	～10年	6	4.0	45	30.2	38	25.5	43	28.9	1.89
	～15年	1	1.4	18	26.1	25	36.2	18	26.1	1.97
	15年以上～	-	-	4	16.7	8	33.3	8	33.3	2.20
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	26	20.2	45	34.9	35	27.1	2.05
	リーダー・サブリーダー	5	3.6	49	35.8	34	24.8	41	29.9	1.86
	一般職員	1	3.3	13	43.3	7	23.3	4	13.3	1.56
	その他	-	-	-	-	2	100.0	-	-	2.00
受講 希望	指示により受講	3	1.9	61	38.1	41	25.6	39	24.4	1.81
	自ら希望して受講	4	2.9	27	19.9	47	34.6	40	29.4	2.04
	その他	-	-	-	-	-	-	1	100.0	3.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	14	48.3	4	13.8	8	27.6	1.70
	職位の変化はない	7	2.7	70	27.0	83	32.0	70	27.0	1.94
	職位が下がった	-	-	1	33.3	1	33.3	-	-	1.50
	比較できない	-	-	3	60.0	-	-	2	40.0	1.80
集合 研修	実施した	4	1.8	66	29.1	69	30.4	65	28.6	1.96
	実施していない	3	5.4	17	30.4	15	26.8	13	23.2	1.79
	わからない	-	-	4	30.8	4	30.8	2	15.4	1.80
外部 研修	受講した	4	2.0	54	26.7	61	30.2	58	28.7	1.98
	受講していない	4	4.2	34	35.4	27	28.1	22	22.9	1.77
個別 研修	仕組みがある	-	-	20	22.0	22	24.2	38	41.8	2.22
	仕組みはない	7	3.5	65	32.2	66	32.7	41	20.3	1.79
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	1	1.7	10	17.2	18	31.0	22	37.9	2.20
	できれば受講したい	5	3.5	50	35.0	41	28.7	35	24.5	1.81
	受講したくない	1	1.1	27	30.3	27	30.3	20	22.5	1.88

表1-100 自施設・事業所で認知症介護の質向上をめざし、OJT（日常業務を通じての研修）を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-11）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重平均値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		8	2.7	76	25.5	99	33.2	85	28.5	1.97
経験年数	～5年	3	5.5	20	36.4	16	29.1	10	18.2	1.67
	～10年	4	2.7	39	26.2	47	31.5	43	28.9	1.97
	～15年	1	1.4	15	21.7	26	37.7	22	31.9	2.08
	15年以上～	-	-	2	8.3	10	41.7	9	37.5	2.33
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	22	17.1	44	34.1	43	33.3	2.15
	リーダー・サブリーダー	5	3.6	45	32.8	44	32.1	36	26.3	1.85
	一般職員	1	3.3	8	26.7	10	33.3	6	20.0	1.84
	その他	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	1.50
受講希望	指示により受講	3	1.9	52	32.5	58	36.3	35	21.9	1.84
	自ら希望して受講	4	2.9	23	16.9	41	30.1	50	36.8	2.16
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位の変化	職位が上がった	1	3.4	8	27.6	14	48.3	5	17.2	1.82
	職位の変化はない	5	1.9	68	26.3	84	32.4	78	30.1	2.00
	職位が下がった	-	-	-	-	1	33.3	-	-	2.00
	比較できない	2	40.0	-	-	-	-	2	40.0	1.50
集合研修	実施した	2	0.9	55	24.2	81	35.7	67	29.5	2.04
	実施していない	4	7.1	14	25.0	17	30.4	15	26.8	1.86
	わからない	1	7.7	7	53.8	1	7.7	3	23.1	1.50
外部研修	受講した	3	1.5	40	19.8	70	34.7	69	34.2	2.13
	受講していない	5	5.2	36	37.5	29	30.2	16	16.7	1.65
個別研修	仕組みがある	1	1.1	19	20.9	26	28.6	33	36.3	2.15
	仕組みはない	6	3.0	55	27.2	72	35.6	51	25.2	1.91
指導者研修受講希望	必ず受講したい	-	-	5	8.6	20	34.5	23	39.7	2.38
	できれば受講したい	4	2.8	41	28.7	42	29.4	45	31.5	1.97
	受講したくない	3	3.4	30	33.7	34	38.2	14	15.7	1.73

表1-101 自施設・事業所で認知症介護の質向上をめざし、Off-JT（勤務を離れた教育の場での研修）を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-12）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		21	7.0	89	29.9	85	28.5	56	18.8	1.70
経験 年数	～5年	5	9.1	22	40.0	14	25.5	6	10.9	1.45
	～10年	10	6.7	42	28.2	39	26.2	32	21.5	1.76
	～15年	6	8.7	19	27.5	24	34.8	12	17.4	1.69
	15年以上～	-	-	5	20.8	8	33.3	6	25.0	2.05
職位	施設・事業所の管理者	3	2.3	29	22.5	44	34.1	30	23.3	1.95
	リーダー・サブリーダー	13	9.5	49	35.8	36	26.3	21	15.3	1.55
	一般職員	4	13.3	11	36.7	4	13.3	5	16.7	1.42
	その他	1	50.0	-	-	1	50.0	-	-	1.00
受講 希望	指示により受講	13	8.1	54	33.8	43	26.9	24	15.0	1.58
	自ら希望して受講	7	5.1	35	25.7	41	30.1	32	23.5	1.85
	その他	-	-	-	-	1	100.0	-	-	2.00
職位 の 変化	職位が上がった	3	10.3	7	24.1	11	37.9	4	13.8	1.64
	職位の変化はない	17	6.6	79	30.5	73	28.2	51	19.7	1.72
	職位が下がった	-	-	2	66.7	-	-	-	-	1.00
	比較できない	1	20.0	1	20.0	1	20.0	1	20.0	1.50
集合 研修	実施した	9	4.0	67	29.5	68	30.0	46	20.3	1.79
	実施していない	9	16.1	14	25.0	16	28.6	8	14.3	1.49
	わからない	2	15.4	8	61.5	1	7.7	2	15.4	1.23
外部 研修	受講した	11	5.4	51	25.2	64	31.7	45	22.3	1.84
	受講していない	10	10.4	38	39.6	21	21.9	11	11.5	1.41
個別 研修	仕組みがある	2	2.2	27	29.7	30	33.0	20	22.0	1.86
	仕組みはない	18	8.9	61	30.2	54	26.7	35	17.3	1.63
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	3	5.2	7	12.1	23	39.7	16	27.6	2.06
	できれば受講したい	7	4.9	47	32.9	40	28.0	27	18.9	1.72
	受講したくない	10	11.2	32	36.0	21	23.6	11	12.4	1.45

表1-102 自分の施設・事業所で効果的なチームケアを行っていくためにはリーダーとしてどう行動したらよいのかを考える（リーダー、問1-13）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		5	1.7	63	21.1	92	30.9	111	37.2	2.14
経験 年数	～5年	1	1.8	11	20.0	22	40.0	14	25.5	2.02
	～10年	4	2.7	31	20.8	40	26.8	66	44.3	2.19
	～15年	-	-	18	26.1	22	31.9	23	33.3	2.08
	15年以上～	-	-	3	12.5	7	29.2	8	33.3	2.28
職位	施設・事業所の管理者	1	0.8	25	19.4	34	26.4	53	41.1	2.23
	リーダー・サブリーダー	3	2.2	30	21.9	49	35.8	46	33.6	2.08
	一般職員	1	3.3	7	23.3	8	26.7	12	40.0	2.11
	その他	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	1.50
受講 希望	指示により受講	2	1.3	38	23.8	49	30.6	60	37.5	2.12
	自ら希望して受講	3	2.2	23	16.9	43	31.6	51	37.5	2.18
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位 の 変化	職位が上がった	2	6.9	4	13.8	10	34.5	11	37.9	2.11
	職位の変化はない	3	1.2	56	21.6	80	30.9	98	37.8	2.15
	職位が下がった	-	-	1	33.3	1	33.3	-	-	1.50
	比較できない	-	-	2	40.0	1	20.0	2	40.0	2.00
集合 研修	実施した	3	1.3	46	20.3	69	30.4	88	38.8	2.17
	実施していない	2	3.6	11	19.6	20	35.7	17	30.4	2.04
	わからない	-	-	5	38.5	3	23.1	5	38.5	2.00
外部 研修	受講した	3	1.5	40	19.8	53	26.2	86	42.6	2.22
	受講していない	2	2.1	23	24.0	39	40.6	25	26.0	1.98
個別 研修	仕組みがある	-	-	10	11.0	31	34.1	40	44.0	2.37
	仕組みはない	5	2.5	50	24.8	60	29.7	71	35.1	2.06
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	1	1.7	7	12.1	17	29.3	26	44.8	2.33
	できれば受講したい	4	2.8	26	18.2	46	32.2	54	37.8	2.15
	受講したくない	-	-	27	30.3	27	30.3	29	32.6	2.02

表 1-103 自施設・事業所の認知症介護にどのような課題があるのかを考える（リーダー、問1-14）

		ほとんど考えられる ようにならなかった		少し考えられるよう になった		だいたい考えられ るようになった		かなり考えられる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		3	1.0	38	12.8	93	31.2	125	41.9	2.31
経験 年数	～5年	1	1.8	10	18.2	18	32.7	20	36.4	2.16
	～10年	2	1.3	20	13.4	43	28.9	63	42.3	2.30
	～15年	-	-	7	10.1	24	34.8	29	42.0	2.37
	15年以上～	-	-	1	4.2	8	33.3	12	50.0	2.52
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	13	10.1	34	26.4	62	48.1	2.41
	リーダー・サブリーダー	1	0.7	20	14.6	49	35.8	50	36.5	2.23
	一般職員	-	-	4	13.3	9	30.0	13	43.3	2.35
	その他	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	1.50
受講 希望	指示により受講	-	-	28	17.5	52	32.5	63	39.4	2.24
	自ら希望して受講	3	2.2	10	7.4	40	29.4	61	44.9	2.39
	その他	-	-	-	-	-	-	1	100.0	3.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	6	20.7	10	34.5	10	34.5	2.07
	職位の変化はない	1	0.4	31	12.0	80	30.9	112	43.2	2.35
	職位が下がった	-	-	1	33.3	1	33.3	1	33.3	2.00
	比較できない	1	20.0	-	-	2	40.0	2	40.0	2.00
集合 研修	実施した	1	0.4	27	11.9	67	29.5	99	43.6	2.36
	実施していない	1	1.8	10	17.9	19	33.9	20	35.7	2.16
	わからない	1	7.7	1	7.7	6	46.2	5	38.5	2.15
外部 研修	受講した	2	1.0	24	11.9	51	25.2	96	47.5	2.39
	受講していない	1	1.0	14	14.6	42	43.8	29	30.2	2.15
個別 研修	仕組みがある	-	-	6	6.6	25	27.5	43	47.3	2.50
	仕組みはない	3	1.5	32	15.8	66	32.7	80	39.6	2.23
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	-	-	5	8.6	19	32.8	26	44.8	2.42
	できれば受講したい	3	2.1	19	13.3	38	26.6	65	45.5	2.32
	受講したくない	-	-	14	15.7	33	37.1	31	34.8	2.22

表1-104 自施設・事業所の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか考える（リーダー、問1-15）

		ほとんど考えられるようにならなかった		少し考えられるようになった		だいたい考えられるようになった		かなり考えられるようになった		加重平均値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		5	1.7	70	23.5	91	30.5	103	34.6	2.09
経験年数	～5年	1	1.8	19	34.5	16	29.1	13	23.6	1.84
	～10年	4	2.7	29	19.5	44	29.5	58	38.9	2.16
	～15年	-	-	18	26.1	23	33.3	20	29.0	2.03
	15年以上～	-	-	4	16.7	7	29.2	12	50.0	2.35
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	22	17.1	36	27.9	53	41.1	2.24
	リーダー・サブリーダー	2	1.5	36	26.3	49	35.8	40	29.2	2.00
	一般職員	1	3.3	11	36.7	5	16.7	10	33.3	1.89
	その他	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	1.50
受講希望	指示により受講	1	0.6	50	31.3	50	31.3	48	30.0	1.97
	自ら希望して受講	4	2.9	19	14.0	40	29.4	55	40.4	2.24
	その他	-	-	1	100.0	-	-	-	-	1.00
職位の変化	職位が上がった	1	3.4	7	24.1	9	31.0	11	37.9	2.07
	職位の変化はない	3	1.2	59	22.8	81	31.3	90	34.7	2.11
	職位が下がった	-	-	2	66.7	-	-	1	33.3	1.67
	比較できない	1	20.0	2	40.0	1	20.0	1	20.0	1.40
集合研修	実施した	3	1.3	48	21.1	71	31.3	82	36.1	2.14
	実施していない	1	1.8	19	33.9	14	25.0	17	30.4	1.92
	わからない	1	7.7	3	23.1	4	30.8	4	30.8	1.92
外部研修	受講した	3	1.5	39	19.3	57	28.2	82	40.6	2.20
	受講していない	2	2.1	31	32.3	34	35.4	21	21.9	1.84
個別研修	仕組みがある	-	-	16	17.6	29	31.9	33	36.3	2.22
	仕組みはない	5	2.5	54	26.7	59	29.2	69	34.2	2.03
指導者研修受講希望	必ず受講したい	1	1.7	7	12.1	17	29.3	26	44.8	2.33
	できれば受講したい	4	2.8	28	19.6	48	33.6	49	34.3	2.10
	受講したくない	-	-	35	39.3	23	25.8	25	28.1	1.88

表1-105 自施設・事業所の認知症介護の課題を克服するためにはリーダーとしてどうしたらよいのかを考える（リーダー、問1-16）

		ほとんど考えられる ようにならなかった		少し考えられるよう になった		だいたい考えられ るようになった		かなり考えられる ようになった		加重 平均 値
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
全体		7	2.3	70	23.5	94	31.5	93	31.2	2.03
経験 年数	～5年	3	5.5	19	34.5	16	29.1	10	18.2	1.69
	～10年	3	2.0	31	20.8	45	30.2	53	35.6	2.12
	～15年	1	1.4	17	24.6	23	33.3	21	30.4	2.03
	15年以上～	-	-	2	8.3	10	41.7	9	37.5	2.33
職位	施設・事業所の管理者	2	1.6	24	18.6	38	29.5	50	38.8	2.19
	リーダー・サブリーダー	5	3.6	37	27.0	47	34.3	35	25.5	1.90
	一般職員	-	-	8	26.7	8	26.7	8	26.7	2.00
	その他	-	-	1	50.0	1	50.0	-	-	1.50
受講 希望	指示により受講	3	1.9	49	30.6	50	31.3	40	25.0	1.89
	自ら希望して受講	4	2.9	21	15.4	42	30.9	53	39.0	2.20
	その他	-	-	-	-	1	100.0	-	-	2.00
職位 の 変化	職位が上がった	1	3.4	6	20.7	14	48.3	7	24.1	1.96
	職位の変化はない	5	1.9	61	23.6	80	30.9	84	32.4	2.06
	職位が下がった	-	-	3	100.0	-	-	-	-	1.00
	比較できない	1	20.0	-	-	-	-	2	40.0	2.00
集合 研修	実施した	2	0.9	52	22.9	70	30.8	75	33.0	2.10
	実施していない	4	7.1	14	25.0	19	33.9	15	26.8	1.87
	わからない	1	7.7	4	30.8	3	23.1	3	23.1	1.73
外部 研修	受講した	3	1.5	42	20.8	60	29.7	74	36.6	2.15
	受講していない	4	4.2	28	29.2	34	35.4	19	19.8	1.80
個別 研修	仕組みがある	-	-	16	17.6	28	30.8	31	34.1	2.20
	仕組みはない	7	3.5	54	26.7	63	31.2	61	30.2	1.96
指導者 研修受 講希望	必ず受講したい	-	-	7	12.1	15	25.9	31	53.4	2.45
	できれば受講したい	6	4.2	31	21.7	46	32.2	42	29.4	1.99
	受講したくない	1	1.1	31	34.8	30	33.7	18	20.2	1.81

下部研究 2 認知症介護指導者の安定的な確保のための効果的な研修カリキュラムの開発

第1章 認知症介護指導者養成研修新カリキュラムの作成

第1節 背景と目的

平成13年度より認知症介護指導者養成研修が行われてきたが、平成19年度までに認知症介護指導者の人数が1000人を上回った。このような背景を踏まえるとともに、今後も認知症の利用者が日本において増加し続けていくこと、認知症介護のサービス形態の多様化や認知症介護におけるさまざまな課題が山積していることを鑑みると、今後も認知症介護指導者を安定的に確保していくことと認知症介護指導者の効果的な活用が各都道府県政令市には求められる。本研究では、今後認知症介護指導者を安定的な確保のために認知症介護指導者養成研修の標準的カリキュラムを改定することを目的とする。

第2節 認知症介護指導者養成研修カリキュラム改定の方法

認知症介護指導者養成研修のカリキュラムの改定は、全国3か所にある認知症介護研究・研修センターの指導者養成研修担当者により委員会を組織し実施した。当該カリキュラムの改定にあたっては、「これまでの指導者養成研修のカリキュラムと比較し、質を下げないこと」「認知症介護指導者養成研修受講者がより受講しやすいようにカリキュラム編成を工夫すること」を方針として作業を進めた。また、認知症介護指導者養成研修の研修要項は、都道府県政令市の認知症介護指導者養成研修担当課の担当者に対して実施した「認知症介護実践研修等事業都道府県等担当者研修会」の意見を踏まえて作成した。

また作成したカリキュラムを周知するためにリーフレットを作成し、都道府県政令市及び市町村に対して配布した。

第3節 新標準的カリキュラム案

委員会による議論の結果、表2-1のとおり、認知症介護指導者養成研修標準的カリキュラムを作成した。旧カリキュラムに対する変更点及び変更理由は表2-2、表2-3に示す。

表 2－1 認知症介護指導者養成研修新標準的カリキュラム案

講義・演習等25日間(200時間)、実習4週間

教科名	目的
1 認知症介護研修総論（講義・演習 27 時間）	
研修オリエンテーション・自己紹介・グループ形成(演習等 7 時間)	国の認知症対策における認知症介護指導者の役割の概要を理解する。また、自己紹介とグループ形成を通して研修生同士が相互理解・相互啓発を進める。
認知症介護指導者間ネットワークについて(演習等1時間)	認知症介護指導者間のネットワーク形成の必要性和具体的方法を理解する。
介護理念の重要性の理解と展開方法(講義・演習 2 時間)	認知症介護の理念の重要性を再確認した上で、理念の展開方法を学ぶ。
倫理と認知症介護(講義・演習 2 時間)	自らの倫理観を確認した上で、認知症介護と倫理の関係性を理解する。
研修目標の設定及び面接・研修総括(演習等 6 時間)	本研修の目的を理解して主体的に学習するために、自己の目標を設定する。また、研修期間中に当該目標を達成するための活動を計画し、達成状況を評価する。さらに、認知症介護指導者としての今後の展望を明らかにする。
認知症介護に関連する法制度の理解(講義 2 時間)	認知症介護に関連する法制度と認知症介護現場や本研修との関係性を理解する。
認知症介護指導者の役割と理解(講義 3 時間)	国の認知症対策を推進していく上で、認知症介護実践研修や地域ケアの推進等において認知症介護指導者に求められる役割を具体的に理解する。
成人教育・生涯教育論(講義 3 時間)	成人教育・生涯教育に関する基礎理論を理解する。
DC ネットの理解(講義・演習 1 時間)	認知症介護指導者のネットワークの手段となる DC ネット(認知症介護情報ネットワーク)の活用方法を理解する。
2 人材育成と教育実践（講義・演習 82 時間）	
人材育成論(講義 3 時間)	リーダーシップ論、組織論、キャリアアップ・キャリアパス等人材育成に必要な考え方を理解する。
研修企画と評価(講義・演習 15 時間)	認知症介護に関する研修の企画・立案を行う。また、研修全体の評価方法を学ぶ。
実践指導方法論(講義・演習 32 時間)	認知症介護実践の質向上及び他事業所への評価・助言を行うにあたっての具体的指導方法(課題解決技法、演習技法、スーパーバイズ、コーチング等)を理解する。
授業設計法（講義・演習 32 時間）	授業(講義・演習)設計法の基本を学ぶ。さらに模擬的に講義・演習を実施し、その評価方法についても理解する。
3 地域ケアの実践（講義・演習 43 時間）	
*「地域」は広い意味で認知症高齢者とそれに関わる人が、生活する場全般を指し、施設・事業所も含む。	
地域連携の理解(講義・演習 5 時間)	地域ニーズの把握方法とそれを踏まえた地域資源の活用方法を学ぶ。また、地域資源の連携の意義と方法を学ぶ。
地域における高齢者虐待防止と権利擁護（講義・演習 3 時間）	高齢者虐待防止法等を踏まえて、地域における認知症高齢者に対する虐待防止や権利擁護の考え方と実践・対処方法を理解する。
相談と支援のためのコミュニケーション(講義・演習 3 時間)	地域において相談と支援を行っていくにあたり、必要となるコミュニケーション技法を学ぶ。
地域・介護現場における課題解決の実践（演習又は実習 32 時間）	他事業所が認知症介護の課題を主体的に解決することを支援していくために、アドバイザーとしての技能を習得する。
4 課題解決のための実践（講義・演習・実習 48 時間）	
介護実践の研究法・評価方法(講義・演習 8 時間)	認知症介護の実践方法の開発や効果測定を行うにあたって、必要となる基本的研究方法を理解する。
自職場における課題解決のための実習の準備・まとめ(講義・演習 40 時間)	自職場の認知症介護の質向上を実現するための取り組みを計画する。また、計画の実施後はその成果をまとめる。
自職場における課題解決のための実習(4 週間)	認知症介護指導者の立場から、職場改善の取組み又は人材育成の取組みのいずれか一方を実施する。取組みには実施内容の評価を含むこととする。 1) 職場改善の場合は、職場環境の調整、事例検討、OJT 等の方法を用いて実施する。 2) 人材育成の場合は、職場での OJT 又は Off-JT の方法を用いて実施する。Off-JT の場合は、講義、演習又は事例検討のいずれかを企画し実施する。

表 2-2 研修カリキュラム新旧対照表

旧カリキュラム		新カリキュラム		
教科名		教科・単元名	時間数	旧カリキュラムとの対応
1 認知症介護研修の体系的理解		1 認知症介護研修総論（講義・演習 27 時間）		
(1) 認知症介護研修総論		1) 開講式・研修オリエンテーション・自己紹介グループ形成	演習等 7 時間	1-(1)
(2) 教育研修方法論		2) 修了式・ネットワークについて	演習等 1 時間	1-(1)
(3) 講義・演習指導方法論		3) 介護理念の重要性の理解と展開方法	講義・演習 2 時間	1-(1)
① 実践研修(実務者研修)の講義・演習科目の理解		4) 倫理と認知症介護	講義・演習 2 時間	1-(1)
② 実践研修(実践リーダー研修)の講義・研修科目の理解		5) 研修目標の設定ならびに面接・研修総括	演習等 6 時間	1-(2)
(4) 実習等指導方法論		6) 認知症介護に関連する法制度の理解	講義 2 時間	1-(1)
2 認知症介護に関する方法・研究法の理解		7) 認知症介護指導者の役割と理解	講義 3 時間	1-(1)
(1) 認知症介護方法論		8) 成人教育・生涯教育論	講義 3 時間	1-(2)
(2) 認知症介護に関する研究法		9) DC ネットの説明	講義・演習 2 時間	1-(1)
3 認知症介護の実践に対する指導		2 人材育成と教育実践（講義・演習 82 時間）		
認知症介護の実践に対する指導		1) 人材育成論	講義 3 時間	1-(2)
4 実習等指導方法の実践的理解		2) 研修企画と評価	講義・演習 15 時間	1-(2)
(1) 演習指導の実際		3) 実践指導方法論	講義・演習 32 時間	2-(1)、3、4-(1)
(2) 実習指導の方法		4) 授業設計法	講義・演習 32 時間	1-(3)
(3) 教育実習		3 地域ケアの実践（講義・演習 43 時間）		
5 教育成果の評価		1) 「地域連携の理解」	講義・演習 5 時間	新単元
教育成果の評価		2) 「地域における高齢者虐待防止と権利擁護」	講義・演習 3 時間	3
職場研修		3) 「相談と支援のためのコミュニケーション」	講義・演習 3 時間	3
		4) 「地域・介護現場における課題解決の実践」	演習または実習 32 時間	1-(4)、4-(2)、4-(3)
		4 課題解決のための実践（講義・演習・実習 48 時間）		
		1) 介護実践の研究法・評価方法	講義・演習 8 時間	2-(1)、2-(2)
		2) 「自職場における課題解決のための実習」の準備・まとめ	講義・演習 40 時間	5
		3) 「自職場における課題解決のための実習」	4 週間	職場研修

表 2－3 旧カリキュラムからの変更点及び変更の理由

変更点	変更の理由
1. 旧カリキュラムにおいて実践研修の復習部分にあたる「1－(3)－① 実践研修(実務者研修)の講義・演習科目の理解」「1－(3)－② 実践研修(実践リーダー研修)の講義・研修科目の理解」を新カリキュラムについては削除。	受講対象者が、実践リーダー研修修了者またはそれに準ずる者の受講であるため
2. 地域包括支援センターをはじめとしたフォーマルサービス・インフォーマルサポートと連携し、地域での認知症介護実践の質向上を図るための知識・技術の獲得を目的として、新カリキュラムでは「地域ケアの実践」を研修の骨子として新設	指導者が地域において認知症介護の質向上の取り組みを行うことが求められているため
3. 旧カリキュラムを整理・再構成し、新カリキュラムでは、1つの総論と3つの実践に集約した。結果、センターにおける研修期間を6週間から5週間に変更。(職場研修は4週間のまま変更なし)	実践研修との重複部分を削除しながら、地域連携に関する単元を加え再構成し、センターにおける研修期間を6週間から5週間に変更した

第4節 まとめ

認知症介護指導者養成研修をより受講しやすいカリキュラムとするために、標準的カリキュラムの改定を行った。結果、これまでの目的を維持しながらも「地域ケアの実践」を新たに柱として加え、合計10週間であった研修期間について9週間に短縮した。今後、認知症介護指導者の安定的な確保と効果的な活用のために本カリキュラムを基にした認知症介護指導者養成研修の実施が求められる。

第2章 認知症介護実践者等養成事業都道府県等担当者研修会

第1節 目的と方法

本研修は、都道府県政令市の実践者等養成事業担当者を対象に各都道府県政令市での認知症介護実践者等養成事業の実施状況を共有するとともに、平成21年度以降の認知症介護指導者養成研修の要項及びカリキュラム案を周知し、運用に関する意見交換を行うことを目的に実施した。開催日時は平成21年1月28日14:00～16:50とした。研修会のプログラムを表2-4に示す。なお、研修会に際し、各都道府県政令市の認知症介護実践者等養成事業の実施状況に関するアンケート調査を事前に行い、その結果を共有した。アンケート調査は、平成20年度の実践者研修・実践リーダー研修の開催回数、修了者数、受講料、指導者養成研修への受講者の推薦予定数、平成21年度以降の実践者等養成事業の実施主体の予定など

を問う内容とした。

表 2 - 4 平成 20 年度認知症介護実践者等養成事業にかかる都道府県等担当者研修会プログラム

日 程	内 容
14:00-14:15 開会	開会あいさつ 東京センター センター長 長谷川和夫 本研修会の目的説明及びスケジュール説明 担当:東京センター主任研修主幹 諏訪さゆり 進行:東京センター副センター長研修部長 今井幸充
14:15-14:45 基調講演	『地域認知症介護支援の課題と展望』 演者:厚労省老健局 計画課 認知症・虐待防止対策推進室 座長:仙台センター センター長 加藤伸司
14:45-15:05 報告	『情報共有用アンケート結果報告』 担当:東京センター主任研修主幹 諏訪さゆり
15:05-15:15	休憩
15:15-16:45 報告及び討議 報告 20 分 全体討議 70 分	『平成 21 年度以降の認知症介護指導者と認知症介護実践者等養成事業の方向性』 報告者:東京センター副センター長研修部長 今井幸充 「平成 21 年度以降の認知症介護指導者養成研修及び認知症関連新規事業について」 座長:東京センター 研究企画主幹 小野寺敦志
16:45-16:50 閉会	閉会あいさつ 大府センター センター長 柳務

第2節 研修会の結果

41 か所の都道府県政令市から 46 名の参加を得、前節表 2 - 4 のプログラムに沿って、予定通り当該研修会を実施した。

1. 情報共有用アンケート結果

当該アンケート調査の調査票は 46 地域に発送し、全地域から回収した(回収率 100%)。集計結果は表 2 - 5 ～表 2 - 9 のとおりであった。

表 2 - 5 平成 21 年度以降の認知症介護実践研修の実施主体(複数回答)

設問	該当数
都道府県で実施する予定がある	36
市町村で実施する予定がある	2
指定法人で実施する予定がある	15
未定	11
無回答	2
合計	66

表2-6 平成20年度の研修開催回数

センター	県名	実践者研修	実践リーダー研修	管理者研修	計画作成担当者研修	開設者研修
東京	茨城県	4	1	4	2	4
	栃木県	3	1	2	2	2
	群馬県	6	2	4	1	2
	埼玉県	6	1	3	3	2
	千葉県	4	1	4	2	3
	東京都	8	2	6	4	2
	神奈川県	3	1	3	3	3
	新潟県	3	0	3	1	1
	福岡県	2	1	2	2	2
	佐賀県	3	1	2	1	1
	長崎県	6	1	3	2	2
	熊本県	4	1	2	2	1
	大分県	3	1	2	2	2
	宮崎県	7	1	2	1	1
	鹿児島県	2	1	2	1	1
	沖縄県	3	1	2	1	1
	千葉市	4	1	3	1	1
	横浜市	4	1	4	2	2
	川崎市	2	1	2	1	1
	福岡市	2	1	2	1	2
	北九州市	5	1	3	2	3
	さいたま市	2	1	2	1	1
	新潟市	1	1	1	1	1
仙台	北海道	5	1	5	2	2
	青森県	3	1	1	1	1
	岩手県	3	1	2	1	1
	宮城県	4	1	3	1	1
	秋田県	2	1	2	1	2
	山形県	3	1	3	2	1
	福島県	6	1	3	1	1
	鳥取県	3	1	1	1	1
	島根県	4	1	2	2	2
	岡山県	6	1	3	1	1
	広島県	5	2	3	2	2
	山口県	2	1	1	1	1
	徳島県	3	1	2	1	1
	香川県	3	1	2	1	1
	愛媛県	5	1	2	2	1
	高知県	3	1	3	1	2
	札幌市	5	1	4	2	2
	仙台市	4	1	2	1	1
	広島市	2	1	1	1	1
大府	富山県	2	1	2	1	1
	石川県	3	1	3	1	1
	福井県	2	1	2	2	2
	山梨県	1	1	1	1	1
	長野県	4	1	3	2	3
	岐阜県	5	1	3	2	3
	静岡県	5	1	3	2	1
	愛知県	2	1	2	1	1
	三重県	3	1	2	1	1
	滋賀県	3	1	2	2	1
	京都府	3	1	1	1	1
	大阪府	5	1	2	2	2
	兵庫県	5	1	3	2	2
	奈良県	2	1	2	1	1
	和歌山県	3	0	1	1	1
	名古屋市	3	1	2	2	1
	京都市	3	1	2	2	1
	大阪市	2	1	2	1	1
	神戸市	3	1	1	1	1
	静岡市	2	1	1	1	1
	堺市	2	1	1	1	1
	浜松市	2	1	1	1	1

表2-7 平成20年度の研修修了者数

センター	県名	実践者研修	実践リーダー研修	管理者研修	計画作成担当者研修	開設者研修
東京	茨城県	360	48	200	26	120
	栃木県	200	20	80	30	20
	群馬県	380	23	150	20	53
	埼玉県	288	11	145	40	40
	千葉県	204	11	219	40	45
	東京都	635	48	305	51	42
	神奈川県	268	24	62	127	40
	新潟県	146	0	138	24	13
	福岡県	400	40	270	60	80
	佐賀県	115	19	83	10	23
	長崎県	359	19	202	49	100
	熊本県	260	60	100	40	19
	大分県	210	42	110	20	31
	宮崎県	220	17	109	32	31
	鹿児島県	219	19	143	19	67
	沖縄県	120	13	73	30	20
	千葉市	170	15	70	18	14
	横浜市	320	11	200	20	25
	川崎市	76	5	31	3	7
	福岡市	146	13	74	14	26
仙台	北九州市	390	15	130	40	40
	さいたま市	42	1	40	10	20
	新潟市	50	19	48	21	5
	北海道	650	25	350	60	50
	青森県	217	48	78	21	40
	岩手県	222	30	92	34	33
	宮城県	220	20	75	7	13
	秋田県	168	17	77	19	37
	山形県	198	17	144	48	19
	福島県	414	28	164	50	17
	鳥取県	204	31	76	22	13
	島根県	200	7	50	28	40
	岡山県	418	37	211	48	64
	広島県	305	50	150	60	44
	山口県	141	29	83	30	22
	徳島県	210	31	60	31	34
	香川県	180	36	120	20	9
	愛媛県	300	18	200	50	45
	高知県	127	16	131	11	24
	札幌市	400	15	320	25	20
大府	仙台市	240	36	100	20	20
	広島市	157	29	69	13	16
	富山県	137	24	62	21	14
	石川県	171	13	80	20	21
	福井県	164	18	61	21	14
	山梨県	95	21	35	30	7
	長野県	200	20	60	60	60
	岐阜県	300	20	90	40	40
	静岡県	160	9	119	28	16
	愛知県	273	36	190	60	70
	三重県	190	20	120	20	20
	滋賀県	223	17	86	16	15
	京都府	195	20	62	30	14
	大阪府	400	80	120	120	100
	兵庫県	300	30	90	60	60
	奈良県	210	24	64	11	10
	和歌山県	165	0	93	21	16
	名古屋市	239	31	70	20	8
	京都市	179	24	65	41	15
	大阪市	76	5	31	3	7
	神戸市	147	14	24	10	8
	静岡市	75	3	5	9	8
	堺市	111	16	30	15	20
	浜松市	77	5	40	11	14

表2-8 平成20年度の実践者等養成事業による研修の受講料等

センター	県名	実践者研修	実践リーダー研修	管理者研修	計画作成担当者研修	開設者研修
東京	茨城県	9310	17500	3700	3500	4800
	栃木県	2310	2370	0	0	0
	群馬県	5000	4000	2000	2000	2000
	埼玉県	15000	7000	2000	2000	2000
	千葉県	2000	4000	-	3000	3000
	東京都	2310	2730	0	0	0
	神奈川県	7000	12000	1700	1500	4500
	新潟県	5000		2000	2000	1000
	福岡県	12000	20000	4000	4000	4000
	佐賀県	11000	23000	2000	2000	2000
	長崎県	7000	10000	4000	4000	3000
	熊本県	16000	28000	3000	4000	15000
	大分県	1000	1000	1000	1000	1000
	宮崎県	1000	2000	0	0	0
	鹿児島県	18000	20000	6000	6000	5000
	沖縄県	4000	10000	2000	2000	2000
	千葉市	2000	4000	3000	2000	2000
	横浜市	5000	9000	1000	1000	3000
	川崎市	5000	5000	1000	1000	2000
	福岡市	12000	18000	2000	2000	2000
	北九州市	5500	8000	5000	5000	8000
	さいたま市	7000	7000	1000	500	2000
	新潟市	5000	5000	2000	2000	1000
仙台	北海道	6000	13000	2000	2000	3000
	青森県	17200	0	9300	9300	8500
	岩手県	3000	3000	3000	3000	3000
	宮城県	3000	6500	0	0	0
	秋田県	25000	25000	0	0	0
	山形県	2310	2730	0	0	0
	福島県	5000	5000	2000	2000	3000
	鳥取県	5000	5000	2000	2000	1000
	島根県	0	0	0	0	0
	岡山県	6000	20000	3000	3000	3000
	広島県	30000	29000	15000	15000	17000
	山口県	5000	6000	2000	2000	2000
	徳島県	12310	21730	0	0	0
	香川県	10310	15730	2000	2000	5000
	愛媛県	15000	18000	5000	5000	10000
	高知県	8000	25000	3000	3000	5000
	札幌市	6000	13000	2000	2000	3000
	仙台市	2000	8000	0	0	1000
	広島市	1000	7000	1000	1000	3000
大府	富山県	0	0	0	0	0
	石川県	0	0	0	0	0
	福井県	3500	4000	3500	3500	3500
	山梨県	0	0	0	0	0
	長野県	0	0	0	0	0
	岐阜県	13000	72000	2000	1000	1000
	静岡県	2310	3130	0	0	0
	愛知県	3000	10000	1000	1000	1000
	三重県	2310	2730	0	0	0
	滋賀県	9000	23000	4000	2000	1000
	京都府	3000	15000	2000	2000	2000
	大阪府	18310	26730	2000	2000	2000
	兵庫県	22000	32000	8000	6000	16000
	奈良県	2000	2000	1000	1000	1000
	和歌山県	2000	-	0	0	3000
	名古屋市	2200	2600	1000	1000	1000
	京都市	6180	6600	2000	2000	2000
	大阪市	10000	15000	3000	3000	3000
	神戸市	15000	20000	4000	4000	6000
	静岡市	2310	2730	0	0	0
	堺市	10000	15000	2000	2000	2000
	浜松市	2310	2730	0	0	0

一:無効回答 空欄:無回答

表2-9 実践者等養成事業の実施主体の予定についての回答状況

		都道府県政令市で実施	市町村で実施	指定法人で実施	未定
東京	茨城県	予定あり			
	栃木県	予定あり			
	群馬県	予定あり			
	埼玉県				未定
	千葉県	予定あり			
	東京都	予定あり			
	神奈川県	予定あり			
	新潟県	予定あり			
	福岡県	予定あり			
	佐賀県			予定あり	
	長崎県	予定あり			
	熊本県	不明	不明	不明	不明
	大分県	予定あり			
	宮崎県	予定あり			
	鹿児島県			予定あり	
	沖縄県	予定あり			
	千葉市	予定あり			
	横浜市			予定あり	
	川崎市			予定あり	
	福岡市			予定あり	
仙台	北九州市	予定あり			
	さいたま市	不明	不明	不明	不明
	新潟市		予定あり		
	北海道	予定あり			
	青森県			予定あり	
	岩手県	予定あり			
	宮城県	予定あり			
	秋田県			予定あり	
	山形県	予定あり			
	福島県				未定
	鳥取県	予定あり			
	島根県				未定
	岡山県			予定あり	
	広島県				未定
	山口県	予定あり			未定
	徳島県	予定あり			
	香川県	予定あり			未定
	愛媛県	予定あり			
	高知県				未定
大府	札幌市	予定あり			
	仙台市	予定あり			
	広島市				未定
	富山県	予定あり			
	石川県			予定あり	
	福井県			予定あり	
	山梨県	予定あり		予定あり	
	長野県	予定あり			
	岐阜県			予定あり	
	静岡県			予定あり	
	愛知県	予定あり			
	三重県				未定
	滋賀県	予定あり			
	京都府	予定あり			
	大阪府				未定
	兵庫県	予定あり		予定あり	
	奈良県	予定あり			
	和歌山県	予定あり			
	名古屋市	予定あり			
	京都市			予定あり	
	大阪市	予定あり			
	神戸市	予定あり			
	静岡市		予定あり		
	堺市				未定
	浜松市	予定あり			

2. 平成 20 年度認知症介護実践者等養成事業にかかる都道府県等担当者研修会結果報告

1) 開会あいさつ

東京センターセンター長長谷川和夫より開会のあいさつをした。

2) 基調講演 『地域認知症介護支援の課題と展望』

厚生労働省老健局計画課認知症虐待防止対策推進室室長補佐山本亨氏より講演を頂く。

3) 『情報共有用アンケート結果報告』

東京センター主任研修主幹諏訪さゆりより、表 2－5～表 2－9 の内容について説明した。

4) 報告及び討議『平成 21 年度以降の認知症介護指導者と認知症介護実践者等養成事業の方向性』

今井副センター長兼研修部長より平成 21 年度以降の指導者養成研修の募集要項案について説明後、3 センター研修担当スタッフと都道府県政令市担当者との討議を実施した。

第3節 まとめ

認知症介護実践者等養成事業の都道府県政令市担当者を対象にした研修会を実施した。研修会では、厚生労働省より今後認知症介護施策の方向性を説明を受け、各地の認知症介護実践者等養成事業の実施状況を共有した。また、新たに作成した認知症介護指導者養成研修の募集要項及びカリキュラムを都道府県政令市担当者に提示し、各都道府県政令市の現状に合った募集要項にするための意見を募った。

下部研究 3 これからの認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発

平成 13 年度より認知症介護指導者養成研修が行われてきたが、平成 19 年度までに認知症介護指導者の人数が 1000 人を上回った。今後も認知症の利用者が日本において増加し続けていくこと、認知症介護のサービス形態の多様化や認知症介護におけるさまざまな課題が山積している。下部研究 3 では、認知症介護の現状と課題を適切に把握し、それらの解決を目指して認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発を行うことを目的として事業を実施した。

第1章 being ブロック会視察

第1節 目的と方法

東京センターを修了した認知症介護指導者は平成 20 年 6 月より“認知症介護指導者東京センターネットワーク being”を設立し、指導者のネットワーク活動を行っている。being の主催により実施された九州ブロック会において、議論された地域の認知症介護の課題と認知症介護指導者の活動の方向性について視察した。九州ブロック会は平成 20 年 11 月 15 日に熊本県の阿蘇いこいの村において行われた。

第2節 結果と考察

ブロック会には九州地区を中心に 56 名の認知症介護指導者が参加した。参加した認知症介護指導者からは、地域の認知症介護の課題と認知症介護指導者の活動の方向性として語られた内容を表 3-1 に示した。

認知症介護指導者は、自施設・事業所との調整を行いながら実践研修の企画や講師役割を担当し、地域の認知症介護の質の向上に寄与している一方で、受講者の数や指定要件による受講者の所属施設種別の偏りなどにより実践研修の質が左右されることに課題意識を持っていた。同時に地域の認知症介護の質向上に対する課題意識も高く、地域の医療関係を含む専門職と地域住民に対する認知症の理解を促す必要性、地域で孤立している認知症高齢者の発見と支援、家族介護者の支援など、地域における認知症理解のための取り組みと、それらの基盤となるネットワークの構築の必要性を認識していた。またそのための情報交換を行い、地域での指導者の先駆

的な取り組みや課題点を明確化する必要性を意識していた。

表 3－1 ブロック会における討議内容（概要）

【地域の認知症介護の課題】 ● 地域の認知症の人が十分発見できていない。または、認知症の人を発見できているか分からない。 ● 家族が介護保険について十分理解できていない。 ● 地域住民が認知症について正しく理解していない現状がある。または認知症に対する偏見がある。 ● 行政が認知症サポーター養成講座等の認知症関連の取り組みに対する意識が低い。行政担当者が数年で交代するため、認知症介護や指導者について十分理解できていないことが多い。 ● 離島に居住する専門職に対する研修が十分実施できていない ● 病院のスタッフが認知症に対する理解が十分できておらず、病院・施設・地域の連携が十分でない。 ● 実践者研修の受講者がグループホームに所属している人に偏っている。 ● 実践者研修の受講者が多く、受講生に十分に伝わっているかという部分に課題がある。 ● 各地域での研修効果がどのように現れているかその情報がない。
【認知症介護指導者の活動の方向性】 ● 地域で孤立している認知症の人を発見していくために指導者がかかわっていく必要がある。また、発見した認知症の人への告知、サービスにつながるまでの支援が求められている。指導者が中心になって関われることもあるのではないかな。 ● 家族会をサポートできるように指導者が関わる。 ● 病院のソーシャルワーカーや地域包括支援センターと連携して施設を紹介し、専門職に認知症を理解してもらう取り組みを行う。 ● 他地域の指導者ともしっかりと情報交換して互いの良い所や課題となるところが見れるとよい。

第2章 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修

第1節 背景と目的

第1章で、認知症介護指導者は、実践研修等の活動を通して地域での認知症介護の質向上に取り組むと同時に地域全体の認知症介護の質向上に関心を持ち、地域の認知症に対する理解と地域連携に関する課題を持っていることが明らかとなった。本章では、認知症介護指導者の活動の可能性として、認知症介護に関する地域連携の推進を行う役割を想定し、そのためのスキルアップ研修を実際に展開し、その評価を行うプロセスを通して、認知症介護指導者の活動領域の可能性について検討することを目的とする。

第2節 研究の方法

1. 研究の概要

本研究では、認知症介護指導者を対象とした研修会を企画し、認知症介護指導者がモニターとして実際に研修を受講し、モニターとして受講した認知症介護指導者から、受講した研修の目的や内容、方法について評価を求めるという流れで行った。研修会の名称は「認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修（以下、スキルアップ研修）」とした。研修は平成21年1月9日～1月12日で実施した。

2. 対象

東京・仙台・大府の各センターを修了した認知症介護指導者のうち、地域連携について関心を持ち、地域における認知症介護の質向上に取り組んでいる者を16名選出し受講を依頼した。

3. スキルアップ研修のカリキュラムの作成

スキルアップ研修のカリキュラムは、3センターの研修担当者と組織した委員会により検討し作成した。研修会のカリキュラムの具体的内容を表3-2に示す。なお、当該研修の研修目的は「地域における認知症ケアと医療の連携、認知症ケアや権利擁護業務の専門的対応支援を円滑に行う人材を養成する」とした。

表 3 - 2 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修カリキュラム

月 日	時間	教科・単元名	ねらい	担当
1 月 9 日	13:00-13:20 (20分)	開講式・オリエンテーション	本研修の位置づけ、研修の具体的内容、研修受講に当たっての留意点を理解する。	挨拶：東京センター長 谷川センター長 オリエンテーション：諏訪
	13:20-14:00 (40分)	研修の位置づけと連携担当者の役割	認知症介護における連携の必要性和認知症介護指導者の役割を理解する。	厚生省老健局認知症虐待防止対策推進室 山本亨室長補佐
	14:10-16:30 (140分)	自己課題の明確化	認知症者の医療と介護の連携の現状を踏まえ、認知症介護の理念の実現を目指して連携を促進するための自分自身の課題を明らかにする。	東京センター諏訪さゆり 浴風会病院大川節氏
	16:30-17:00 (30分)	一日のレビュー	学習内容の振り返り、研修内容の評価	東京センター 中村考一
1 月 10 日	9:00-9:10	ねらいの確認、諸連絡		東京センター 中村考一
	9:10-10:40 (90分)	認知症の最新情報 一 薬物や若年性認知症を中心に一	連携を促進するために必要な認知症の最新情報について、薬物や若年性認知症を中心に理解する。	香川大学医学部精神神経医学講座 講師 高橋正彦氏
	10:50-12:20 (90分)	認知症の予防の正しい理解	疫学調査を踏まえて、認知症の予防の意義や方法について正しく理解する。また予防の考え方が地域住民の認知症の差別につながらないための留意点を理解する。	東京都老人総合研究所 宇良千秋氏
	13:20-15:50 (150分) *途中休憩あり	地域における高齢者虐待と権利擁護	地域における高齢者虐待の防止、権利擁護に関する法制度を理解し、虐待に対応した事例を踏まえて、防止に向けた対処方法、連携方法について考察する。	いけだ後見支援ネット 池田恵利子氏
	16:00-17:00 (60分)	地域における認知症介護連携に向けた事例演習 導入編	事例検討会の目的と進め方を理解する。	センタースタッフ
	17:00-17:30 (30分)	一日のレビュー	学習内容の振り返り、研修内容の評価	東京センター 中村考一
1 月 11 日	9:00-9:10	ねらいの確認、諸連絡		東京センター 中村考一
	9:10-12:20 (180分)	認知症介護における地域医療の実践	認知症高齢者への専門医療及び地域医療の現状を踏まえて、医療から見た地域における認知症介護の課題を明らかにし、連携診断の必要性和可能性を理解する。	東京センター 今井幸充
	13:20-14:50 (90分)	コミュニティソーシャルワーク論	地域において認知症介護を展開するために基礎となる、コミュニティソーシャルワークの理論と知識を理解する。	NPO 法人風の詩 ソーシャルワーカー 永島徹氏
	15:00-16:30 (90分)	連携のためのルールとツール	連携していくたにあたり、専門職員同士が共有したいルールやツールをどのように統合して作り上げていけばいいのか理解する。さらにルールとツールを実行性のあるものにするために、チームメンバーに求められる行動を理解する。	川口市立医療センター 粕谷聡子氏
	16:30-17:00 (30分)	一日のレビュー	学習内容の振り返り、研修内容の評価	
1 月 12 日	9:00-9:10	ねらいの確認、諸連絡		東京センター 中村考一
	9:10-12:20 (180分) * 休憩 10分 含む 13:20-13:40 (20分)	地域における認知症介護連携に向けた事例演習 展開編 修了式	在宅で暮らす認知症高齢者の事例について連携診断を行い、必要な支援を明らかにして連携を促進するための方策を検討する。	NPO 法人風の詩 ソーシャルワーカー永島徹氏 東京センター今井幸充

4. 研修効果の評価方法

スキルアップ研修の評価については、以下の3つの方法を用いて行った。具体的には、研修の各単元での学び及び授業の企画と実施内容について受講者が評価する「一日のレビュー」、スキルアップ研修の受講終了後、研修の目的・研修の内容等について評価を行う「カリキュラム評価」及び、研修終了後「グループインタビューによる評価」により評価を行った。

「一日のレビュー」及び「カリキュラム評価」の質問内容は表3-3、表3-4に示す。

表3-3 一日のレビュー 質問項目

評価内容	質問項目	回答方法
自己の学びの評価（講義用）	①集中して聴くことができた ②興味・関心を持つことができた ③主体的に参加することができた ④自分の持つ知識・技術を活用・展開させて理解できた ⑤視野を広げることができた ⑥自己学習によってさらに学びたい ⑦この単元のねらいを概ね達成できた	1当てはまらない ～5当てはまるまでの5段階評価
自己の学びの評価（グループワーク用）	①メンバーと協力することができた ②メンバーの話をよく聴き、受け止めることができた ③メンバーの意見から学ぶことができた	
受講者の講師に対する評価	①この単元の目的は明確に示されていた ②この単元の内容は理解しやすいように構成されていた ③この単元の資料・教材の選択・提示の仕方は適切であった ④講師の話し方の早さ・明瞭度は適切であった	
受講者の企画に対する評価	①この単元の内容は理解できた ②この単元の内容はタイトル・ねらいから期待していた通りであった ③この単元の内容は満足の行くものであった ④この単元の内容は認知症介護指導者の今後の活動に活かすことができるものであった	

*この他、自由記述形式により、「この単元を受講して考えたこと、気づいたこと、学び、今後の課題」「単元の内容や実施方法について、追加のコメントまたは改善のための提案」を訊ねた。

表 3－4 カリキュラム評価質問項目

評価内容	質問項目	回答方法
● 目的の妥当性 ● 目的と内容の一致 ● 研修の流れと時間配分	● 地域における認知症ケアと医療の連携を円滑に行う人材を養成する目的は適切であった ● 認知症ケアや権利擁護業務の専門的対応支援を円滑に行う人材を養成するという目的は適切であった ● 地域における認知症ケアと医療の連携を円滑に行う人材を養成する目的を念頭に入れて、研修の内容を設定していた ● 認知症ケアや権利擁護業務の専門的対応支援を円滑に行う人材を養成するという目的を念頭にいれて、研修の内容を設定していた ● 研修初日に表明した自己の課題を克服するために研修の内容は役に立った ● それぞれの授業の順番はカリキュラム全体の中で、研修内容の理解を深めるのに適切だった ● 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修全体において、それぞれの授業の時間数は適切だった ● 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修の日数は適切だった	1 当てはまらない ～ 5 当てはまるまでの 5 段階評価
	● 目的について改善すべき点 ● 内容について改善すべき点 ● 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修であなたが学んだこと ● 流れや時間配分について改善すべき点 ● 流れや時間配分について改善するための具体的な方法 ● 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修カリキュラム全般についてのご意見・ご感想	自由記述による評価

第3節 研修の評価結果

1. 受講者の属性

受講者の所属施設事業所におけるサービス種別は、複数回答で特養・老健等の施設系サービスの勤務者が 6 名であり、グループホームが 3 名のほか居宅介護支援事業 3 名、デイサービス 6 名等在宅介護関連サービス事業所に所属している者のほか、地域包括支援センターに所属している者が 2 名であった（図 3－1 参照）。また、受講者の所持資格は、複数回答で介護支援専門員が 14 名と最も多く、その他社会福祉士 6 名・看護師 4 名、介護福祉士、理学療法士、作業療法士であった（図 3－2 参照）。認知症介護の経験年数は、家族介護の期間を除いた認知症介護の経験年数であるが、2 名を除いた 14 名は 10 年以上の認知症介護経験を有していた（図 3－3 参照）。さらに受講者の現在の職位は、理事長・施設長等の経営・管理者が 12 名であり、主任クラス 2 名、一般職員 1 名、無所属 1 名であった（図 3－4 参照）。

受講者のサービス種別
(複数回答)

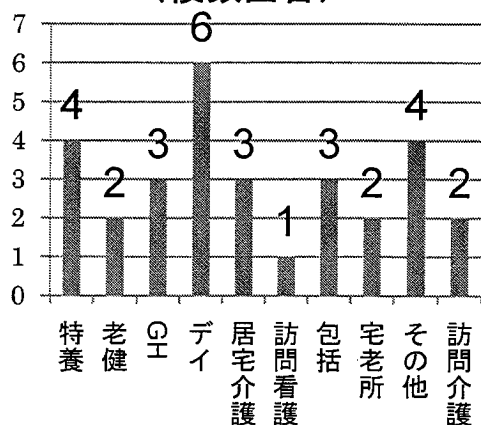


図 3-1 受講者の担当サービス種別

受講者の所持資格
(複数回答)

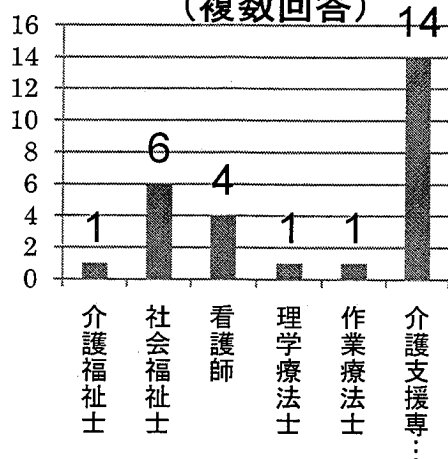


図 3-2 受講者の所持資格

認知症介護の経験年数

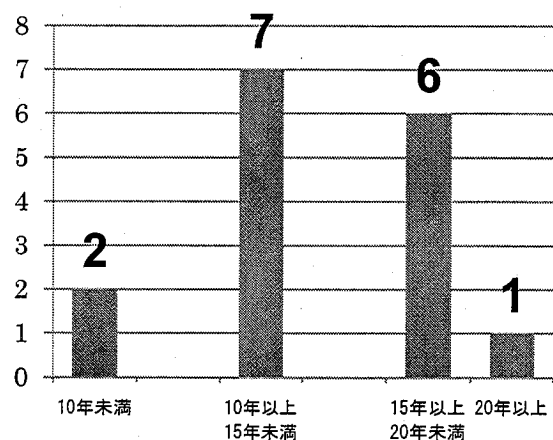


図 3-3 受講者の認知症介護の経験年数

受講者の現在の職位

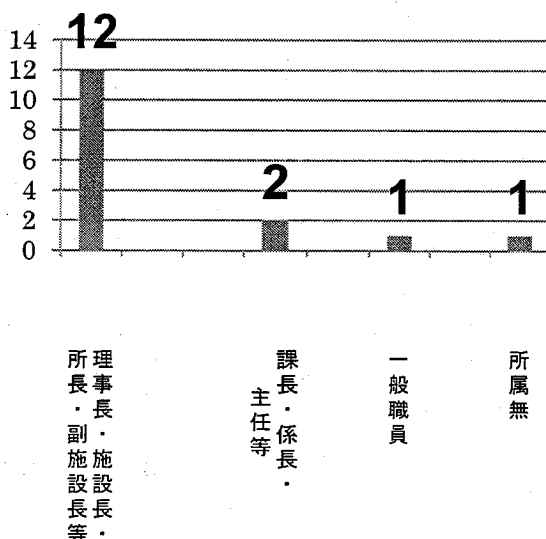


図 3-4 受講者の職位

2. 一日のレビューの結果

研修のレビューは、単元及び設問ごとに 16 名の評価の平均値を算出し表にした。自己の学びの評価は、各単元ともおおむね 4 点以上の平均点であった。「地域における高齢者虐待と権利擁護」の単元について、2.9 点と 3 点を割っているが、レビューの自由記述などから、情報量の多さが影響してい

ると考えられた。研修の企画の評価についても各単元ともおおむね４点以上の評価が得られた。「コミュニティソーシャルワーク」「連携のためのルールとツール」について満足できる内容であったかという問いが、それぞれ３.０点及び２.９点と評価が低かったが、コミュニティソーシャルワークについては、コミュニティワークの具体例についてさらに聞きたいという意見が寄せられたことから、より具体的なケースに基づきコミュニティソーシャルワークについて説明する必要性が示唆された。一方連携のためのルールとツールについては、連携の範囲が事業所内に限定されていたため、事業所外の社会資源との連携について検討したいという希望があった。

表３－５ 自己の学びの評価（単元・設問ごとの平均値）

単元名	①集中して聞けた	②興味が持てた	③主体的に参加できた	④活用できると思った	⑤視野が広がった	⑥さらに学びたい	⑦ねらいの達成
研修の位置づけと連携担当者の役割	4.8	4.7	4.0	4.1	4.3	4.6	4.2
自己課題の明確化	4.6	4.6	4.7	4.3	4.4	4.6	3.9
認知症の最新情報—薬物や若年性認知症を中心に—	4.7	4.8	3.9	4.1	4.6	4.7	4.5
認知症の予防の正しい理解	4.2	4.2	3.9	4.1	4.5	3.8	3.8
地域における高齢者虐待と権利擁護	4.1	3.4	3.4	2.9	3.8	3.6	3.6
認知症介護連携に向けた事例演習 導入編	4.9	4.6	4.0	3.8	3.6	4.1	4.3
認知症介護における地域医療の実際	4.6	4.6	4.4	3.9	4.1	4.4	4.4
コミュニティソーシャルワーク論	4.3	3.9	3.8	3.9	3.6	4.3	3.4
連携のためのルールとツール	3.9	3.9	3.6	3.5	3.9	4.2	4.1
認知症介護連携に向けた事例演習 展開編	4.5	4.5	4.3	4.4	4.0	4.4	4.5

表 3－6 研修の企画の評価（単元・設問ごとの平均値）

単元名	①目的 は明示 された か	②理解 しやすい 構成 だった か	③教材 の選 択・提 示は適 切だっ たか	④講師 の話し 方は適 切だっ たか	①内容 は理解 できた か	②内容 は期待 してい た通り か	③満足 できる 内容か	④活用 できる 内容だ ったか
研修の位置づけと連携担 当者の役割	4.4	4.1	4.2	4.0	4.5	4.2	4.2	4.3
自己課題の明確化	4.4	4.4	4.4	4.2	4.4	4.4	4.0	4.1
認知症の最新情報―薬物 や若年性認知症を中心に ―	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.7	4.2	4.3
認知症の予防の正しい理 解	4.2	4.2	3.9	4.1	4.5	3.8	3.8	4.3
地域における高齢者虐待 と権利擁護	4.1	4.1	3.4	3.4	2.9	3.8	3.6	3.6
認知症介護連携に向けた 事例演習 導入編	4.6	4.7	4.5	4.8	4.8	4.1	4.3	4.2
認知症介護における地域 医療の実際	3.9	3.9	4.1	3.8	4.4	4.1	3.9	4.1
コミュニティソーシャル ワーク論	3.6	3.6	3.5	3.4	4.0	3.6	3.0	3.2
連携のためのルールとツ ール	3.7	3.7	3.8	3.6	4.1	3.8	2.9	3.3
認知症介護連携に向けた 事例演習 展開編	4.1	4.1	4.1	3.9	4.4	4.1	3.8	3.8

3. カリキュラム評価の結果

研修終了後、受講者にカリキュラム評価を求めた。5段階評価の平均点は、目的の適切性についての2項目は、ともに平均点3.4点であり、目的の内容と一致については、医療連携を円滑化できる人材の育成については、3.0点、権利擁護などの専門対応を円滑に行う人材の育成については3.2点であった。また、事前課題で出した自己課題の克服に役立ったかという設問が2.4点であった。

カリキュラムの流れや時間配分については、授業の順序の適切性が3.3点、授業の時間数の適切性が2.8点、日数の適切性が2.9点であった。

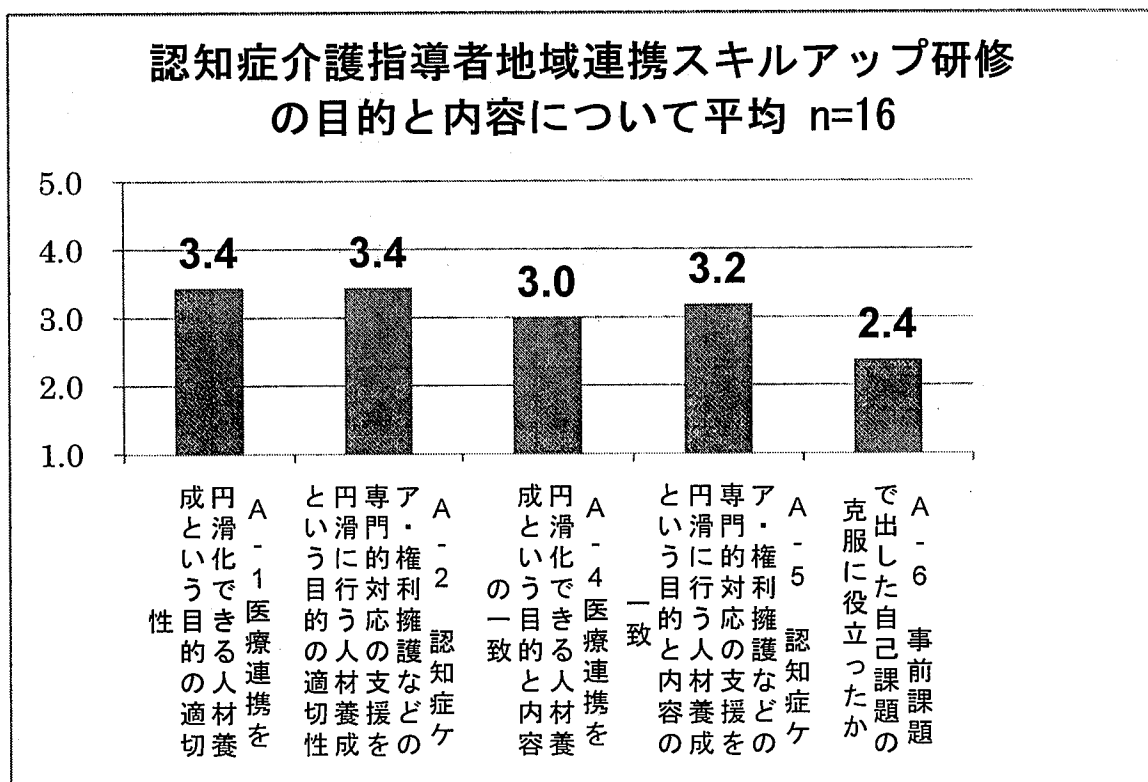


図 3-5 研修の目的と内容に対する評価（平均値）

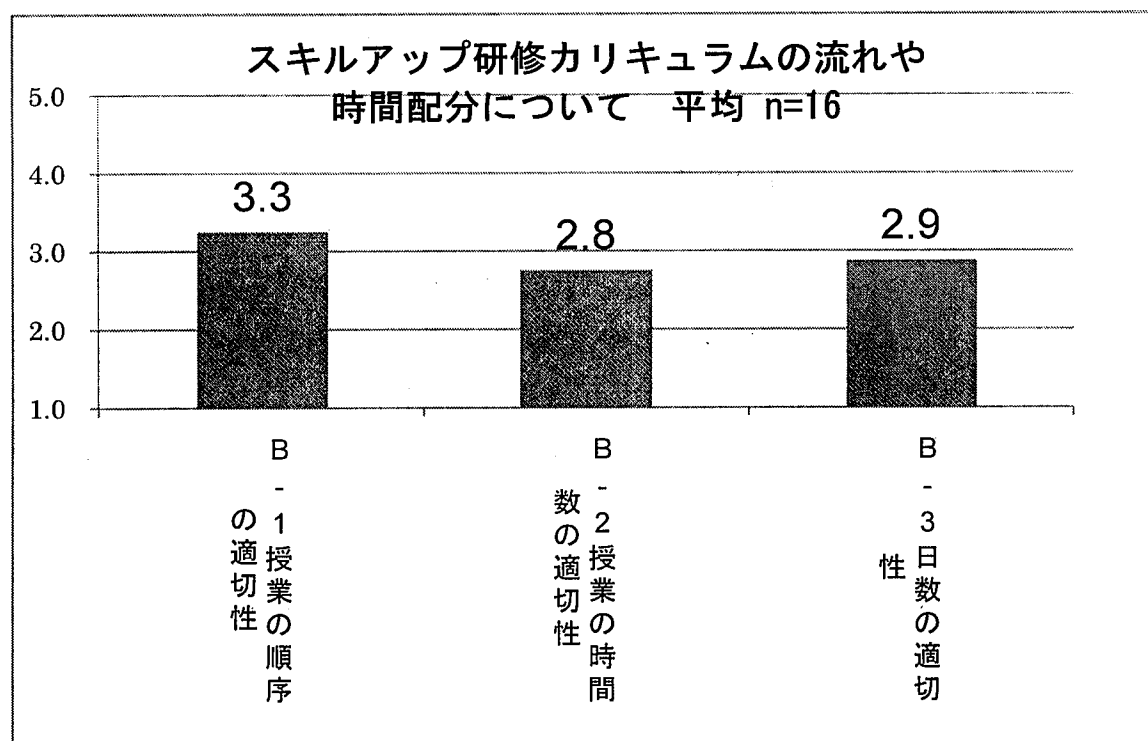


図 3-6 カリキュラムの流れや時間配分についての評価（平均値）

第4節 考察

1. 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修の課題

本研修で行った各単元については、5段階のリッカートスケールにおいて平均点4点程度の評価を得ることができた。ただし、研修全体で考えた時に、本研修修了後の認知症介護指導者としての立場や役割について明確になっていない部分があり、カリキュラム全体の評価としては、高い評価が得られたとは言えなかった。課題として挙げられた点を具体的に整理すると、「①対象者としてどのようなレベルの人を対象としているのか明確でないため評価が難しかった」「②研修を受けた人が地域に帰ったときにどのような立場でどのようなスキルを用いて何を行うのかが分からなかった」「③連携についてのイメージが研修生間で共通認識されておらず理解が進みにくかった」「④医療に関する部分の内容が重複している講義があった」「⑤高齢者虐待と権利擁護は、講義で伝えられた情報量が多かった。また内容としては、連携に関する内容と具体的な手続きの方法を知りたかった」「⑥連携のためのルールとツールでは地域連携についての事例を聞いたかった」「⑦コミュニティソーシャルワークにおいては、コミュニケーションに関連する講義が行われたがその部分は不必要であった」「⑧講義形式の授業が多く、講師や受講生と意見を共有する機会がほしかった」といった内容に集約されるだろう。認知症の支援の医療的側面に重点を当てることについては、新たな知識が得られて整理できたという意見と医療についての講義が多すぎるという意見があり、受講者が所属する施設種別や職種によって評価が分かれる結果となった。

2. 認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修のカリキュラム改善

認知症介護指導者地域連携スキルアップ研修の課題を踏まえると今後は、医療連携に焦点を当てたカリキュラムと地域連携により焦点を当てたカリキュラムの作成が必要であることが示唆された。

卷末資料

実践研修効果測定調査票

平成 20 年度 老人保健健康増進等事業

「認知症介護指導者の安定的な確保と効果的な活動のあり方に関する研究事業」

下部研究「認知症介護実践研修の効果の検証」

実践者研修の効果評価に関するアンケート調査

調査票

平成〇〇年度第〇回 〇〇県受講者対象

認知症介護研究・研修東京センター

認知症介護研究・研修仙台センター

認知症介護研究・研修大府センター

質問 1 以下の項目について、認知症介護実践者研修を受講することであなた自身が日々の介護場面でどの程度意識できるようになったと思うかをうかがいます。以下の設問ごとに次の記号の中から、最も当てはまると考える記号一つを設問の「評価」の欄に記入してください。

記号

1	ほとんど意識できるようにならなかった
2	少し意識できるようになった
3	だいたい意識できるようになった
4	かなり意識できるようになった
A	実践者研修を受講する前から意識できる
B	意識できるようになったかどうかわからない
C	実践者研修の効果であるかどうか判断できない

NO	設問	評価
1	認知症の人の介護において、自分の認知症介護の理念を意識する	
2	認知症の人の介護において、自分が所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識する	
3	認知症の人の介護において、一人一人の利用者の認知症の原因疾患を意識する	
4	自施設・事業所での認知症の人の介護において、一人一人の利用者の中核症状を意識する	
5	中核症状によって一人一人の認知症の人がどのような思いをしているかを意識する	
6	職員の不適切な対応によって認知症の人が不安になっていないか意識する	
7	不適切な物理的環境になっているために認知症の人が不安になっていないか意識する	
8	自分の介護が認知症の人の自立を支援することになっているか意識する	
9	認知症の人の家族成員、一人一人の気持ちを意識する	
10	認知症の人の家族成員、一人一人が抱えている課題を意識する	
11	自分の介護が認知症の人の意思を尊重することになっているか意識する	
12	自分の介護が認知症の人を虐待・拘束することになっていないか意識する	

NO	設問	評価
1 3	認知症の人の生活の質を保障するために一人一人の認知症の人に起こりうるリスクを具体的に意識する	
1 4	一人一人の認知症の人に起こりうるリスクを回避するためにはどうしたらよいかを意識する	
1 5	一人一人の認知症の人に起こりうるリスクを回避しようとするのが認知症の人の人権を侵害することになっていないか意識する	
1 6	一人一人の認知症の人のアセスメントを適切に行うことができているかどうかを意識する	
1 7	ケアプランが、一人一人の認知症の人のアセスメントに基づいたプランになっているかを意識する	
1 8	認知症介護において、自分は「認知症の人本人」でも「家族」でもなく、あくまで認知症の人の生活の質向上のための援助者であることを意識する	
1 9	認知症の人の生活の質向上のための援助者として認知症の人、家族、地域住民等と対人関係を持つことができているかを意識する	
2 0	認知症介護において、自分と認知症の人との間で交わしている言語的コミュニケーションを意識する	
2 1	認知症介護において、自分と認知症の人との間で交わしている非言語的コミュニケーションを意識する	
2 2	利用者同士の間関係が一人一人の認知症の人にどのように影響しているのかを意識する	
2 3	住居環境がその認知症の人にどのように影響しているのかを意識する	
2 4	地域社会が一人一人の認知症の人の生活に与えている影響を意識する	
2 5	一人一人の認知症の人の生活がよりよいものになるように地域社会に働きかけることの大切さを意識する	
2 6	認知症の人の生活の質を高めるために、自分の認知症介護にどのような課題があるのかを意識する	
2 7	自分の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか意識する	
2 8	自分の施設・事業所の認知症介護にどのような課題があるのかを意識する	
2 9	自分の施設・事業所の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいか意識する	
3 0	他の職員の意見・考えを聴くことを意識する	
3 1	自分の意見・考えを他の職員に伝えることを意識する	
3 2	自分自身がチームの一員として力を発揮しようと意識する	

質問2 認知症介護実践者研修を修了した後、自施設・事業所において研修での学びをどのように活かしていますか。以下の欄に、実践者研修での学びをどのように活かしているかを記入してください。

質問3 あなたの職場で認知症介護実践研修での学びをさらに活かすためには、どうすればいいと思いますか。あなたの考えを以下の欄に記入してください。

質問4 自施設・事業所の認知症介護実践において、現在あなたが困っているケースはどのようなケースですか。以下の欄に記入してください。困っているケースがない場合は、「なし」と記入してください。

質問 5 本調査票を記入するあなた自身とあなたの所属する施設・事業所について伺います。以下の質問にお答えください。

5-1 あなたの認知症介護の経験年数を教えてください

*現在の職場以外の施設・事業所での経験も含みます。ただし、家族としての介護経験は含みません。

認知症介護の経験年数 _____ 年

5-2 以下の項目のうち、あなたの所属する施設・事業所のサービス種別として最も当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	特別養護老人ホーム	9	小規模多機能型居宅介護支援事業所
2	老人保健施設	10	地域包括支援センター
3	病院	11	有料老人ホーム
4	グループホーム	12	ケアハウス・養護老人ホーム
5	デイサービス・デイケア	13	宅老所
6	訪問介護	14	その他
7	訪問看護		()
8	居宅介護支援事業所		

5-3 あなたの所属する施設・事業所の開設年を以下の欄に記入してください

大正・昭和・平成 _____ 年 開設

5-4 あなたの所持している資格として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

1	ホームヘルパー1級・2級	7	保健師
2	介護福祉士	8	OT（作業療法士）
3	看護師	9	PT（理学療法士）
4	准看護師	10	管理栄養士・栄養士
5	社会福祉士	11	その他 ↓ 具体的に
6	介護支援専門員（ケアマネジャー）		（

5-5 あなたの現在の職位として当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	施設・事業所の管理者（施設長・副施設長、部長、ホーム長・副ホーム長等）
2	フロアやチームのリーダー・サブリーダー（介護主任・副主任、看護師長、ユニットリーダー・サブリーダー、計画作成担当者等）
3	一般職員
4	その他 * ↓具体的に ()

5-6 あなたはどのようなことをきっかけにして実践者研修を知りましたか、実践者研修を知った方法として当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	上司からの情報提供により知った
2	実践研修を受講した同僚からの情報提供により知った
3	職場外の介護従事者からの情報提供により知った
4	行政のホームページから知った
5	職場で掲示・回覧されていた行政の実践研修の受講者募集の資料により知った
6	事業者団体・施設協会からの情報提供により知った
7	専門職団体からの情報提供により知った
8	その他 具体的に（ ）

5-7 あなたは実践者研修について、施設・事業所の指示により業務の一環として受講しましたか、それとも自ら希望して受講しましたか。あなたの実践者研修の受講のきっかけとして当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	施設・事業所の指示により受講した
2	自ら希望して受講した
3	その他

5-8 あなたはどのような理由で実践者研修を受講しましたか、実践者研修の受講理由として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

1	自分自身の認知症介護に関する知識・技術の向上のため
2	自分が認知症介護の専門性を持っていることを周りに伝えるため
3	自施設・事業所の認知症介護の質向上のため
4	自施設・事業所の認知症をもつ困難ケースの課題解決のため
5	地域密着型サービスの指定要件を満たすため
6	地域密着型サービスの指定要件を満たすためではないが、施設・事業所の上司からの受講の指示があったため
7	その他 * ↓当てはまる場合は以下に具体的に受講理由を記入してください ()

5-9 あなたは実践者研修終了後、実践者研修で学んだ内容について、自施設・事業所のスタッフにどのように伝えましたか。以下の項目のうち当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

1	レポートや報告書等文書で伝えた。
2	カンファレンスやミーティングなどの機会に口頭で伝えた。
3	伝達研修により伝えた。
4	日々の業務の中で機会があったときに個別に口頭で伝えた
5	学んだ内容は伝えていない
6	その他（具体的に： ）

5－10 認知症介護実践者研修受講当時と比較しての、現在のあなたの役職（肩書き）の変化に関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	受講当時と比較して職位が上がった
2	受講当時と比較して職位の変化はない
3	受講当時と比較して職位が下がった
4	所属施設・事業所が変わったので比較できない

5－11 貴事業所には、認知症介護実践研修を受講された職員の方がいらっしゃいますか。実践研修の受講者の有無に関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

＊お手数ですが、受講者がいるかどうか分からない場合は、貴施設・事業所の所属長様または教育担当者様等にお尋ねください。

(1) 実践者研修（旧痴呆介護実務者養成研修基礎課程を含む）

1	いない
2	いる
3	分からない

(2) 実践リーダー研修（旧痴呆介護実務者養成研修専門課程を含む）

1	いない
2	いる
3	分からない

5－12 貴事業所には、認知症介護指導者研修を受講された職員の方がいらっしゃいますか。指導者研修の受講者の有無に関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	いない
2	いる
3	分からない

5-13 あなたの所属する施設・事業所では平成20年度に集合研修を実施しましたか。集合研修の実施の有無に関する以下の設問のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	集合研修を実施した
2	集合研修を実施していない
3	わからない

設問 5-16 に
お進みください

5-14 あなたは平成20年度に自施設・事業所において、集合研修の企画者または講師として集合研修を担当しましたか。集合研修の担当の有無に関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	集合研修の企画を担当した
2	集合研修において講師を担当した
3	集合研修の担当はしなかった

5-15 あなたは、平成20年度に、自分の所属する施設・事業所が行った集合研修を受講しましたか。以下の項目のうち、最も当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

なお、受講したことがある場合は、平成20年度のあなたの受講回数を記入し、受講した集合研修の内容として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

*本調査で集合研修とは、施設・事業所内において複数名の職員が同時に座学（講義、演習）を受ける研修のことをさします。

1	受講した
2	受講していない

5-16へ
お進みください

H20年度の受講回数を教えてください

合計 _____ 回

(複数回答)

1	介護経験の交流会	9	拘束防止
2	介護事例検討会	10	口腔ケア
3	ロールプレイ研修	11	栄養
4	調理実習	12	ケアマネジメント(ケアプランを含む)
5	身体介護技術指導・研修	13	人権・権利擁護
6	新任者研修	14	認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式
7	認知症に関する知識習得のための講義	15	ユニットケアに関する研修
8	虐待防止	16	その他

5-16 あなたは、平成20年度に、実践者研修以外で、認知症介護に関する外部研修を受講しましたか。あなたの外部研修の受講状況として当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

また、受講したことがある場合は、平成20年度の受講回数を記入し、受講した集合研修の内容として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

＊本調査で外部研修とは、施設・事業所以外で、複数名の研修生が同時に座学（講義、演習）を受ける研修のことをさします。

1	受講した _____	↓	H20年度の受講回数を教えてください	
2	受講していない		合計 _____ 回	

→ 5-17へお進みください

(複数回答)

1	介護経験の交流会	9	拘束防止
2	介護事例検討会	10	口腔ケア
3	ロールプレイ研修	11	栄養
4	調理実習	12	ケアマネジメント(ケアプランを含む)
5	身体介護技術指導・研修	13	人権・権利擁護
6	新任者研修	14	認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式
7	認知症に関する知識習得のための講義	15	ユニットケアに関する研修
8	虐待防止	16	その他

5-17 あなたの所属する施設・事業所においては、チューター、プリセプターなどとして他の職員に対する個別研修を行う仕組みがありますか。個別研修を行う仕組みがあるかどうかに関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	個別研修を行う仕組みがある
2	個別研修を行う仕組みはない

5-18 あなたは平成20年度に自施設・事業所において、チューター、プリセプターなどとして他の職員に対する個別研修を担当しましたか。個別研修の担当の有無に関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	個別研修を担当した
2	個別研修を担当しなかった

5-19 あなたは平成20年度に自施設・事業所において、他の職員から、個別研修を受けましたか。個別研修を受けたか、受けなかったかに関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	個別研修を受けた
2	個別研修を受けなかった

次ページへ続きます→

5－20 あなたは現在、自分自身の職務に関連する学会に所属していますか。あなたの学会の所属の有無に関する以下の項目のうち当てはまる番号一つに○をつけてください。また、学会に所属している場合は、所属学会名を記入してください。

1	実践者研修を受講する前から学会に所属している	
2	実践研修を修了した後に学会に所属した	
3	学会に所属していない	

所属学会名



5－21 あなたは今後、認知症介護実践者研修の次のステップとして「認知症介護実践リーダー研修」を受講してみたいと思いますか。あなたのリーダー研修の受講希望に関する以下の項目のうち当てはまる番号一つに○をつけてください。

1	必ず受講したい
2	できれば受講したい
3	受講したくない

質問 6 本調査票を記入しての感想や調査に関するご意見等ございましたら、以下の欄に自由に記入して下さい。

--

ご協力ありがとうございました。質問項目は以上です。

最後に記入漏れがないかもう一度確認いただき、返信用封筒にて平成 21 年 2 月 17 日(火)までにご投函下さい。

平成 20 年度 老人保健健康増進等事業

「認知症介護指導者の安定的な確保と効果的な活動のあり方に関する研究事業」

下部研究「認知症介護実践研修の効果の検証」

実践リーダー研修の効果評価に関するアンケート調査

調査票

平成〇〇年度第〇回 〇〇県受講者対象

認知症介護研究・研修東京センター
認知症介護研究・研修仙台センター
認知症介護研究・研修大府センター

質問1 以下の項目について、認知症介護実践リーダー研修を受講することで、あなた自身が日々の介護場面でどの程度考えることができるようになったと思うかをうかがいます。

以下の設問ごとに次の記号の中から、最も当てはまると考える記号一つを設問の「評価」の欄に記入してください。

なお、質問1の各設問において「職員」と表記されている場合、職員とは「自分がリーダーとして担当している職員」のことを指すこととします。

記号

1	ほとんど考えられるようにならなかった
2	少し考えられるようになった
3	だいたい考えられるようになった
4	かなり考えられるようになった
A	実践リーダー研修を受講する前から考えられる
B	考えられるようになったかどうかわからない
C	リーダー研修の効果であるかどうか判断できない

NO	設問	評価
1	職員が自分の認知症介護の理念を意識しているかどうかを考える	
2	職員が、所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識しているかどうかを考える	
3	職員が所属する施設・事業所の認知症介護の理念を意識できるためにはリーダーとしてどうしたらよいかを考える	
4	自施設・事業所での認知症介護において適切にリスクマネジメントを行っていくためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
5	認知症の人の家族を支援するためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
6	職員のメンタルヘルスやストレスマネジメントを行っていくためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
7	自施設・事業所を利用する認知症の人の支援において地域資源を適切に活用するためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
8	職員の人材育成に取り組むために、リーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
9	職員の意欲や動機付けを高めるためにカンファレンスにおいてリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	

NO	設問	評価
1 0	スーパービジョンやコーチングを適切に行っていくためにリーダーとしてどう行動したらよいのかを考える	
1 1	自施設・事業所で認知症介護の質向上をめざし、OJT（日常業務を通じての研修）を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
1 2	自施設・事業所で認知症介護の質向上をめざし、Off-JT（勤務を離れた教育の場での研修）を行うためにリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	
1 3	自分の施設・事業所で効果的なチームケアを行っていくためにはリーダーとしてどう行動したらよいのかを考える	
1 4	自施設・事業所の認知症介護にどのような課題があるのかを考える	
1 5	自施設・事業所の認知症介護の課題を克服するにはどうしたらよいのか考える	
1 6	自施設・事業所の認知症介護の課題を克服するためにはリーダーとしてどうしたらよいのかを考える	

質問2 認知症介護実践リーダー研修を修了した後、自施設・事業所において研修での学びをどのように活かしていますか。以下の欄に、実践リーダー研修での学びをどのように活かしているかを記入してください。

質問3 あなたの職場で認知症介護実践リーダー研修での学びをさらに活かすためには、どうすればいいと思いますか。あなたの考えを以下の欄に記入してください。

質問4 自施設・事業所の認知症介護実践において、リーダーとして、現在あなたが困っているケースはどのようなケースですか。以下の欄に記入してください。困っていないケースがない場合は、「なし」と記入してください。

質問 5 本調査票を記入するあなた自身とあなたの所属する施設・事業所について伺います。以下の質問にお答えください。

5－1 あなたの認知症介護の経験年数を教えてください

＊現在の職場以外の施設・事業所での経験も含みます。ただし、家族としての介護経験は含みません。

認知症介護の経験年数_____年

5－2 高齢者を対象とした施設・事業所でのあなたのリーダーとしての経験年数を教えてください。＊経験がない場合は0と記入してください。リーダーとは介護主任・副主任、看護師長、ユニットリーダー・サブリーダー、計画作成担当者等を指します。

リーダーとしての経験年数_____年

5－3 以下の項目のうち、あなたの所属する施設・事業所のサービス種別として最も当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	特別養護老人ホーム	9	小規模多機能型居宅介護支援事業所
2	老人保健施設	10	地域包括支援センター
3	病院	11	有料老人ホーム
4	グループホーム	12	ケアハウス・養護老人ホーム
5	デイサービス・デイケア	13	宅老所
6	訪問介護	14	その他
7	訪問看護		()
8	居宅介護支援事業所		

5-4 あなたの所属する施設・事業所の開設年を以下の欄に記入してください

大正・昭和・平成 _____ 年 開設

5-5 あなたの所持している資格として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

1	ホームヘルパー1級・2級	7	保健師
2	介護福祉士	8	OT（作業療法士）
3	看護師	9	PT（理学療法士）
4	准看護師	10	管理栄養士・栄養士
5	社会福祉士	11	その他 ↓具体的に
6	介護支援専門員（ケアマネジャー）	（ ）	

5-6 あなたの職位として当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	施設・事業所の管理者（施設長・副施設長、部長、ホーム長・副ホーム長等）
2	フロアやチームのリーダー・サブリーダー（介護主任・副主任、看護師長、ユニットリーダー・サブリーダー、計画作成担当者等）
3	一般職員
4	その他 * ↓具体的に ()

5-7 あなたは認知症介護実践研修（または認知症介護実務者研修基礎課程）を受講しましたか。認知症介護実践研修の受講の有無に関する以下の設問のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	受講した	受講した場合 受講した年度を教えてください 平成_____年度
2	受講していない	
3	分からない	

5－8 あなたはどのようなことをきっかけにして実践リーダー研修を知りましたか、実践リーダー研修を知った方法として当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	上司からの情報提供により知った
2	自分が以前、実践者研修を受講したことにより知った
3	実践リーダー研修を受講した同僚からの情報提供により知った
4	職場外の介護従事者からの情報提供により知った
5	行政のホームページから知った
6	職場で掲示・回覧されていた行政の実践研修の受講者募集の資料により知った
7	事業者団体・施設協会からの情報提供により知った
8	専門職団体からの情報提供により知った
9	その他 具体的に（ ）

5－9 あなたは認知症介護実践リーダー研修について、施設事業所の指示により業務の一環として受講しましたか、それとも自ら希望して受講しましたか。あなたの実践リーダー研修の受講のきっかけとして当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	施設・事業所の指示により受講した
2	自ら希望して受講した
3	その他

5－10 あなたはどのような理由で実践リーダー研修を受講しましたか。実践リーダー研修の受講理由として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

1	認知症介護に関する知識・技術の向上のため
2	自分が認知症介護の専門性を持っていることを周りに伝えるため
3	自施設・事業所の認知症をもつ困難ケースの課題解決のため
4	自分自身のリーダーとしての知識・技術の向上のため
5	グループホームでのショートステイ利用のための要件を満たすため
6	グループホームでのショートステイ利用のための要件を満たすためではないが上司からの受講の指示があったため
7	その他 * ↓当てはまる場合は以下に具体的に動機を記入してください ()

5-1.1 あなたは実践リーダー研修終了後、実践リーダー研修で学んだ内容について、自施設・事業所のスタッフにどのように伝えましたか。以下の項目のうち当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

1	レポートや報告書等文書で伝えた。
2	カンファレンスやミーティングなどの機会に口頭で伝えた。
3	伝達研修により伝えた。
4	日々の業務の中で機会があったときに個別に口頭で伝えた
5	学んだ内容は伝えていない
6	その他（具体的に：_____）

5-12 認知症介護実践リーダー研修受講当時と比較しての、現在のあなたの役職（肩書き）の変化について当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	受講当時と比較して職位が上がった
2	受講当時と比較して職位の変化はない
3	受講当時と比較して職位が下がった
4	所属施設・事業所が変わったので比較できない

5-13 貴施設・事業所には、認知症介護実践研修を受講された職員の方がいらっしゃいますか。実践研修の受講者の有無に関する以下の項目のうち、当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

*お手数ですが、受講者がいるかどうか分からない場合は、貴施設・事業所の所属長様または教育担当者様にお尋ねください。

(1) 実践者研修（旧痴呆介護実務者養成研修基礎課程を含む）

1	いない
2	いる
3	分からない

(2) 実践リーダー研修（旧痴呆介護実務者養成研修専門課程を含む）

1	いない
2	いる
3	分からない

5-14 貴事業所には、認知症介護指導者研修を受講された職員の方がいらっしゃいますか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

1	いない
2	いる
3	分からない

5－15 あなたの所属する施設・事業所には、教育担当の職員が位置づけられていますか。教育担当職員の有無に関する以下の設問のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	いない	あなた自身は教育担当者として位置付けられていますか 教育担当者がある場合	1	自分は教育担当者である
2	いる		2	自分は教育担当者ではない
3	分からない			

5－16 あなたの所属する施設・事業所では平成 20 年度に集合研修を実施しましたか。集合研修の実施の有無に関する以下の設問のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

1	集合研修を実施した	設問 5－18 に お進みください
2	集合研修を実施していない	
3	わからない	

5－17 あなたは平成 20 年度に自施設・事業所において、集合研修の企画者または講師として集合研修を担当しましたか。集合研修の担当の有無に関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	集合研修において講師を担当した
2	集合研修の企画を担当した
3	集合研修の担当はしなかった

5－18 あなたは、平成 20 年度に、自分の所属する施設・事業所の実施する集合研修を受講しましたか。自施設での集合研修の受講状況として当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。また、受講したに○をつけた場合は、平成 20 年度のあなたの受講回数を記入し、受講した集合研修の内容として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

*本調査で集合研修とは、施設・事業所内において複数名の職員が同時に座学（講義、演習）を受ける研修のことをさします。

1	受講した	H20 年度の受講回数を教えてください
2	受講していない	

**5－19へ
お進みください**

合計 _____ 回

(複数回答)

1	介護経験の交流会	9	拘束防止
2	介護事例検討会	10	口腔ケア
3	ロールプレイ研修	11	栄養
4	調理実習	12	ケアマネジメント(ケアプランを含む)
5	身体介護技術指導・研修	13	人権・権利擁護
6	新任者研修	14	認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式
7	認知症に関する知識習得のための講義	15	ユニットケアに関する研修
8	虐待防止	16	その他

5－19 あなたは、平成20年度に、実践リーダー研修以外で、認知症介護に関する外部研修を受講しましたか。外部研修を受けたか・受けていないかに関する以下の項目のうち、当てはまる項目の番号一つに○をつけてください。

また、受講したに○をつけた場合は、平成20年度のあなたの受講回数を記入し、受講した外部研修の内容として当てはまる項目の番号すべてに○をつけてください。

＊本調査で外部研修とは、施設・事業所以外で、複数名の研修生が同時に座学（講義、演習）を受ける研修のことをさします。

1	受講した	H20年度の受講回数を教えてください
2	受講していない	

5-20へ
お進みください

合計	回
----	---

(複数回答)

1	介護経験の交流会	9	拘束防止
2	介護事例検討会	10	口腔ケア
3	ロールプレイ研修	11	栄養
4	調理実習	12	ケアマネジメント(ケアプランを含む)
5	身体介護技術指導・研修	13	人権・権利擁護
6	新任者研修	14	認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式
7	認知症に関する知識習得のための講義	15	ユニットケアに関する研修
8	虐待防止	16	その他

次ページへ続きます→

5-20 あなたの所属する施設・事業所においては、チューター、プリセプターなどとして他の職員に対する個別研修を行う仕組みはありますか。個別研修を行う仕組みがあるかどうかに関する以下の項目のうち、当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	個別研修を行う仕組みがある
2	個別研修を行う仕組みはない

5-21 あなたは平成 20 年度に自施設・事業所において、(チューター、プリセプターなどとして)他の職員に対する、個別指導を担当しましたか。個別指導を担当したか・しなかったかに関する以下の項目のうち、当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	個別研修を担当した
2	個別研修を担当しなかった

5-22 あなたは平成 20 年度に自施設・事業所において、他の職員から、個別指導を受けましたか。個別指導を受けたか、受けなかったかに関する以下の項目のうち当てはまる項目の番号一つに○をつけて下さい。

1	個別指導を受けた
2	個別指導を受けなかった

5－23 あなたは現在、自分自身の職務に関連する学会に所属していますか。あなたの学会の所属の有無に関する以下の項目のうち当てはまる番号一つに○をつけてください。また、学会に所属している場合は、所属学会名を記入してください。

1	実践者研修を受講する前から学会に所属している	
2	実践研修を修了した後に学会に所属した	
3	学会に所属していない	

所属学会名

(主なものを記入してください)



5－24 あなたは今後、認知症介護実践リーダー研修の次のステップとして「認知症介護指導者養成研修」を受講してみたいと思いますか。あなたの認知症介護指導者養成研修の受講希望に関する以下の項目のうち当てはまる番号一つに○をつけてください。

1	必ず受講したい
2	できれば受講したい
3	受講したくない

次ページへ続きます→

質問 6 本調査票を記入しての感想や調査に関するご意見等ございましたら、以下の欄にご自由に記入して下さい。

ご協力ありがとうございました。質問項目は以上です。

最後に記入漏れがないかもう一度確認いただき、返信用封筒にて平成 21 年 2 月 17 日(火)までにご投函下さい。

委員名簿

「認知症介護の人材育成の効果評価に関する研究」(親委員会)

委員名簿

氏名	所属	職位
佐藤 信人	武蔵野大学	教授
西原 亜矢子	放送大学	非常勤講師
阿部 哲也	認知症介護研究・研修仙台センター	研究研修部長
矢吹 知之	認知症介護研究・研修仙台センター	主任研修研究員
合川 央志	認知症介護研究・研修仙台センター	研修指導員
藤井 滋樹	認知症介護研究・研修大府センター	研修部長
大嶋 光子	認知症介護研究・研修大府センター	主任研修指導主幹
中村 裕子	認知症介護研究・研修大府センター	研修指導主幹
今井 幸充	認知症介護研究・研修東京センター	副センター長兼研修部長
小野寺 敦志	認知症介護研究・研修東京センター	研究企画主幹
諏訪 さゆり	認知症介護研究・研修東京センター	主任研修主幹
中村 考一	認知症介護研究・研修東京センター	研修主幹
木澤 則子	認知症介護研究・研修東京センター	研修指導員

研究1「認知症介護実践研修の効果の検証」

委員名簿

氏名	所属
山宮 順子	川崎市社会福祉協議会人材開発研修センター
狩野 由子	群馬県立高齢者介護総合センター
遠藤 真一	社会福祉法人長岡三古老人福祉会老人保健施設グリーンヒル与板
松永 美根子	介護老人保健施設孔子の里
清水 修一	株式会社あんじゅう
石井 利幸	介護老人保健施設ひもろぎの園
富田 利美	グループホーム大社
小林 厚子	株式会社クロス・サービス福祉事業部・グループホームだんだん
田中 涼子	グループホーム高齢者福祉総合施設 ももやま
山田 健一郎	社会福祉法人慶徳会 静華苑
渡邊 一江	グループホームせせらぎ
小池 富士子	介護老人保健施設 朝日ホームおんせんリハビリテーションセンター
佐藤 信人	武蔵野大学
西原 亜矢子	放送大学
矢吹 知之	認知症介護研究・研修仙台センター
大嶋 光子	認知症介護研究研修大府センター
諏訪 さゆり	認知症介護研究・研修東京センター
中村 考一	認知症介護研究・研修東京センター
齊藤 祐介	認知症介護研究・研修東京センター
木澤 則子	認知症介護研究・研修東京センター

研究 2「認知症介護指導者の安定的な確保のための効果的な研修カリキュラムの開発」

委員名簿

氏名	所属	職位
阿部 哲也	認知症介護研究・研修仙台センター	研究研修部長
矢吹 知之	認知症介護研究・研修仙台センター	主任研修研究員
合川 央志	認知症介護研究・研修仙台センター	研修指導員
藤井 滋樹	認知症介護研究・研修大府センター	研修部長
大嶋 光子	認知症介護研究・研修大府センター	主任研修指導主幹
中村 裕子	認知症介護研究・研修大府センター	研修指導主幹
今井 幸充	認知症介護研究・研修東京センター	副センター長兼研修部長
諏訪 さゆり	認知症介護研究・研修東京センター	主任研修主幹
中村 考一	認知症介護研究・研修東京センター	研修主幹
齊藤 祐介	認知症介護研究・研修東京センター	研修指導員
木澤 則子	認知症介護研究・研修東京センター	研修指導員

研究3「これからの認知症介護指導者に求められる能力と活動領域の開発」

委員名簿

氏名	所属	職位
阿部 哲也	認知症介護研究・研修仙台センター	研究研修部長
矢吹 知之	認知症介護研究・研修仙台センター	主任研修研究員
合川 央志	認知症介護研究・研修仙台センター	研修指導員
藤井 滋樹	認知症介護研究・研修大府センター	研修部長
大嶋 光子	認知症介護研究・研修大府センター	主任研修指導主幹
中村 裕子	認知症介護研究・研修大府センター	研修指導主幹
今井 幸充	認知症介護研究・研修東京センター	副センター長兼研修部長
諏訪 さゆり	認知症介護研究・研修東京センター	主任研修主幹
中村 考一	認知症介護研究・研修東京センター	研修主幹
齊藤 祐介	認知症介護研究・研修東京センター	研修指導員
木澤 則子	認知症介護研究・研修東京センター	研修指導員

報告書名

平成 20 年度厚生労働省 老人保健健康増進等事業
認知症介護指導者の安定的な確保と
効果的な活動のあり方に関する研究事業
報告書

発行元

社会福祉法人浴風会
認知症介護研究・研修東京センター
TOKYO Dementia Care Research and Training Center
〒168-0071 東京都杉並区高井戸西 1-12-1
電話：03（3334）2173 Fax：03（3334）2718
URL：<http://www.dcnetwork.jp>

発行年月

平成 21（2009）年 3 月